

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-12-02

沖縄県名護市幸喜方言の擬声擬態語語彙： 和琉辞典のこころみ

かりまた, しげひさ / 宮城, 萬勇 / 仲間, 恵子

(出版者 / Publisher)

法政大学沖縄文化研究所

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

琉球の方言 / 琉球の方言

(巻 / Volume)

38

(開始ページ / Start Page)

93

(終了ページ / End Page)

155

(発行年 / Year)

2014-03-31

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00012498>

沖縄県名護市幸喜方言の擬声擬態語語彙 —和琉辞典のこころみ

かりまたしげひさ・仲 間 恵 子・宮 城 萬 勇

1. 消滅に瀕する琉球諸語とその辞典

琉球諸語は、若い世代への継承がなされず、老人の他界とともに話者の数が著しく減少して、今世紀末までに消滅してしまうのではないかと危惧され、「危機言語」に含まれる。琉球諸語のなかにもほとんど記録もされないまま消えていった下位方言がある。

辞典は、外国語をふくめ、未知の言語、方言を学習するとき、重要な役割をはたす。辞典や語彙集が刊行されれば、土地のことばや文化や習俗や社会の姿を知ることができ、たくさんのことばが残されることになる。消滅危機言語の辞典には、その土地のことばを話せるようになりたい人の道具としての役割のほかに、土地のことばを記録にのこして後世につたえるという役割もある。琉球諸語の辞典には外国人の手になるもの、日本人の手になるもの、琉球人自らがまとめたものがある。

1915（大正4）年から15年間日本に滞在したロシアの言語学者ニコライ・A・ネフスキーは、1922（大正11）年、1926（大正15）年、1928（昭和3）年の3度琉球の宮古諸島を訪れて調査を行ない、宮古諸島の言語や民俗に関する論文を日本の学術誌に発表した。ネフスキーが書き残した多くの未発表資料の中には、約5千語の宮古方言をロシア式の発音記号で書いてアルファベット順に並べ、「宮古諸島の語彙研究のための資料集」と表題をつけた辞典の草稿がある。宮古島平良市教育委員会（2005年）は、ロシア科学アカデミーに保管されていた、そのネフスキーの手書きの草稿を『宮古方言ノート複写本』として発刊している。

1177頁の『ノート』には宮古方言の見出し語の横にその語が話された地名がTa（多良間島）、Ps（平良）、Irav（伊良部）のように略号で記され、日本語とロシア語による意味記述や用例が掲載されている。ネフスキーは、日本の古代文化に深い関心を持ち、柳田国男や折口信夫らとも親交をもった。ネフスキーは、列島の周辺に日本の古い文化が残っていると考え、宮古諸島の調査を行なったのであろう。

ネフスキーの関心を反映して『ノート』には、宮古諸島の古い習俗が記録されている。「ku:fu (Irav) (Ta) 貢布」の項には「平民女ノ納ムルモノヲ二十升 (pataim) トモ御用布gujo:fu トモイヒ、絣、立縞、白ノ三種ニ分ケタリ。士族女ノ納ムルモノヲ叶 (kanaz) ト称シ、上布、中布、下布ノ三種類ナリ」と記述され、伊良部島や多良間島で琉球国時代の人民がケーフ（貢布）やカナイ（叶）などを税として納めていたことが分かる。これは琉球国時代のことを記憶する人から調査したものだろう。

「kam-zin (Sarah) 神衣」の項には「死人ニ着セル短イ白無垢。」「之ヲ作ル時ハ縫目ヲ返サズ糸ノ尻ヲ結バヌ」の記述があり、今では失われてしまった伊良部島佐良浜 (Sarah) 集落の習俗を知ることができる。「psi (Ps) (Ta) (Ja) 暗礁。」の項には「干瀬ト書ク。和訓葉ニ曰ク、隼人ノ俗ニ海中ノ洲ヲひしトイフ事、大隈ノ国風土記ニ見エタリ。干洲ノ轉ナルベシト」とあり、ネフスキーノの博学と関心が伺える。そして、「干瀬」「ひし」を宮古方言でpsi (ピシ) と発音しているのは、日本語のハ行子音が奈良時代以前にpであったことの証拠としてあげられるもので、この点にもネフスキーノの関心があったのだろう。

『ノート』には、90年以上も前の宮古方言の姿を知ることができる。中にはすでに失われた語や今の老人の記憶の底に沈んだままになった語が含まれている。

2. これまでの琉球諸語の辞典

琉球諸語の辞典の編纂についていえば、まだ刊行計画すらたっていない地域もあり、必ずしも満足できるわけではないが、1万語以上の語を収録した10以上の地域の琉球諸語の辞典が刊行されている。『沖縄語辞典』(国立国語研究所編、1963)、『奄美方言分類辞典上巻』『奄美方言分類辞典下巻』(いずれも長田須磨、須山名保子編著、上巻1977、下巻1980)、『沖縄今帰仁方言辞典』(仲宗根政善著、1983)、『浦添・小湾方言辞典』(小湾字誌編集委員会、1995)、『与那国ことば辞典』(池間苗著、1998)、『沖縄伊江島方言辞典』(生塩睦子著、1999)、『琉球語辞典』(半田一郎著、1999)、『石垣方言辞典』(宮城信勇著、2003)、『城間字誌第3巻城間の方言』(浦添市城間自治会、2003)、『宮古スマツツ辞典』(与那覇ユヌス、2003)、『伊是名島方言辞典』(伊是名村教育委員会編、2003)、『与論島方言辞典』(菊千代、高橋俊三編著、2004)、『宮古方言ノート -複写本(上)(下)』(ニコライ・A・ネフスキーノ、2005)、『沖縄語辞典 - 那覇方言を中心にして』(内間直仁、野原三義編著、2006)、『Okinawan-English Wordbook』(Mitsugu Sakihara、2006)、『竹富方言辞典』(前新透、2011)、『宮古伊良部方言辞典』(富浜定吉、2013)などがある。『琉球戯曲辞典』(伊波普猷、1938)『医学沖縄語辞典』(稻嶺盛輝、1992)、『沖縄古語大辞典』(沖縄古語大辞典編集委員会編、1995)などの特殊な語を記述の対象にした辞典や、『八重山語彙』、『宮古群島語辞典』(下地一秋著、1979)、などの複数地点の方言を記述した辞典などを除けば、どれも特定の地域(地点)の語彙を収集したものである。そして、どの辞典もかつて存在した俚言集のようなものではなく、網羅的である。

3. 危機言語の辞典

危機言語の辞典には、大言語の辞典とはちょっとことなる性格がある。

独和辞典は、ドイツ語の単語の意味や用法をしらべたり、スペルをチェックしたりするために日本人がひく。漢和辞典は、単語文字としての漢字のあらわす単語の意味をしらべ

たり漢字の字体を確認したりするためにひく。琉球諸語の辞典も、ことばの発音や意味や用法を知るために引かれるのだが、琉球諸語には固有の文字も決まった正書法もないで、綴りをチェックしたり字形を確認したりする「字引」的な使い方はない。

「国語辞典」は日本語を母語にする人、あるいは日本語に堪能な外国人が詳細な意味や用法を確認するときに使う。日本語に限らず英語やロシア語などの大言語には英英辞典、露露辞典などの辞典が存在する。ネフスキーはロシア語と日本語で書いている。おおくの琉球諸語の辞典も見出し語はローマ字か仮名文字で書かれ、説明は日本語でなされている。これまでに刊行された琉球諸語の辞典は、琉和、琉露、琉英の辞典である。

残念なことに、琉露辞典、琉和辞典などは、日本語やロシア語で説明されているので、琉球諸語モノリンガルの人は使えない。危機言語は、大言語に圧迫されてその存続を危うくしているのだが、若者は自らの母語をまなぶために辞典をひくとき、その大言語を知らなければならぬ二重の悲哀を感じることになる。幸か不幸か、ながい日本統治のおかげで琉球諸語モノリンガルの人はいなくなり、年寄りでさえ日本語とのバイリンガルであり、若者のおおくは日本語モノリンガルになっているので、琉和辞典で十分なのである。逆に、若者は琉琉辞典をよめないだろう。実用的な琉琉辞典の刊行は夢のまた夢である。

当該の土地のことばを話せるようになるために利用する琉球諸語の辞典に必要なことはいくつかあるが、ここでは多義語と類義語と慣用句についてすこしだけふれておく。

4. 多義語

琉球諸語は、日本語と姉妹語の関係にあり、琉球方言ともよばれるほど近い関係にある。音韻変化の結果、音声形式は日本語とちがうものになったが、もとの意味が基本的な意味としてあるとき、変化まえの対応語形をその意味として記述しても問題ない単語がおおい。そのため、方言語形に対応する日本語の語形が同じで意味も似ているとき、対応語形を意味のように記述したり基本的な意味だけを記述したりしているが、多義語の記述が不十分なものがおおい。辞典編纂には多義的な単語の意味の記述も重要だ。

幸喜方言のティー（手）は、「(1)人体にあってものを持ったりつかんだり握ったりする肩から指先までの器官」、「(2)手首から指先までの部分」という基本的な意味のほかに、「(3)急須や薬缶や手鍋などの鉢や取っ手」の意味もあらわすし、「(4)技芸、技術の手腕、手段、方法」などの意味や「(5)空手」、「(6)舞踊の手の所作」などの派生的な意味をあらわす。このような多義語は、基礎語彙におおい。

多義語の複数の意味は、さまざまな仕方で派生する。身体語彙は、人や動物の身体部分をあらわす基本的な意味があらわす物の形の類似性（人間の足とテーブルや椅子の脚）から派生させたり、その機能（ピサ ペーハン（足が早い、歩いたり走ったりするときの速度が早い）などから派生させたりしているものがある。

チブル【名】 頭。①動物の首から上の部分。②頭頂部から首筋にかけての髪の毛の生えている部分。③頭脳のはたらき。

チュー【名】 ①人。人間。②世間の人。③他人。

ハマンタ【名】 ①大鍋の藁製の蓋。②沖縄近海でみられるオニイトマキエイ（エイ属、魚類）。

タカハン【形】 ①高い。空間的な位置が高いさま。②声や楽器などの音程が高いさま。③社会的な地位などが上であること。

アワティンは、「あわてる」の意味をあらわし、日本語「あわてる」に対応するが、幸喜方言のアワティンは、意志動詞としての「急ぐ」の意味をあらわし、アワティレー（急げ）と命令形で使用することができる。「あわてる」の意味を記載しただけでは正確な意味と用法がつたわらない。アワティンは、無意志動詞としての「あわてる」と意志動詞としての「急ぐ」とを多義語として記述しなければならない。

基礎語彙以外にも多義語はみられる。幸喜方言のピガイウキ（左置き）には、「お膳に飯と汁を反対に置くこと」の意味がある。膳の配置だけをあらわしていたものから意味が拡大して、左右の配置の決まっているものを逆におく「あべこべ」の意味もあらわすことができる。日本語の「あべこべ」が左右の配置だけでなく、物の表裏、順序が逆になっていることについても表現できるのに対して、幸喜方言のピガイウキは、左右の配置にしかいえない。

ピガイマーイは、左回り、すなわち右側から左側にまわる「反時計回り」の意味がある。さらに派生した意味として「遠回り」の意味もある。幸喜方言で派生した意味だ。いっぽう日本語の「左回り」には「物事が順調にいかないこと、運が悪くなること」の派生的な意味があるが、幸喜方言にはその意味はないようだ。擬声擬態語にも多義語はおおい。

ソーロソーロ【副】 (1)さらさら。よどみなく流れるさま。ミジヌ ソーロソーロ ナガリン（水がさらさら流れる）。(2)するする。なめらかに移動、進行するさま。パウヌ ソーロソーロ ピニギティ イクン（蛇がするする逃げて行く）。(3)すらすら。なめらかに出るさま。アンチ パナシヌ ソーロソーロ イジティ クン ムヌヤー（そんなに話がすらすらと出て来るものだねえ）。

琉球諸語の複合語には日本語にはない多義的な意味がある。あるいは、下位方言ごとに独自の多義語をうみだした可能性もある。しかし、これまでの琉球諸語の辞典には派生的な意味の記述が必ずしも十分だったとはいえない。したがって、どのような多義語があるのか、その実態もよくわかつていない。

5. 類義語の記述

これまでの方言辞典で必ずしも十分でなかったもののひとつに類義語の記述もある。消滅危機方言であれば、方言を話せない若者にとって、その類義語間の意味のちがいの記述も重要である。しかし、どのような類義語があるのかの記述がないだけでなく、類義語とおもえるようなものであるにもかかわらずそれが類義語であるのかどうかの記述もなかった。

幸喜方言のミーワカスン（見分ける）は、ミーワキン（見分ける、区別する）の語幹に他動詞や使役動詞をつくる接尾辞-スン（-せる）をつけた他動詞だ。「見分ける」、「区別する」の意味を実現するときは、どちらも格助辞-トウを後接させて、チュートウ ウヤ ミーワカスン（他人と親を見分ける）のようにいう。そして、ミーワカスンは、格助辞のつかないハダカ格の名詞だけをしたがえ、チュー ミワカスン（人を差別する）のように、差別するという意味を実現させる。

マンキン（混ぜる）とマンジン（混ぜる）も類義語だが、両者は、したがえる名詞の格形式がちがう。マンキンは、格助辞-ニを後接させた名詞をしたがえムギヌフーニ サータマンキン（麦粉に砂糖を混ぜる）のようにつかわれ、「多くのものに少しのものを混ぜ入れる」の意味を実現する。マンジンは、格助辞-トウを後接させた名詞をしたがえて、サクムヌトウ ムチムヌ マンジン（梗と糯を混ぜる）のようにつかわれ、「同量のものを混ぜ合わせる」の意味を実現する。ハカスン（混ぜる、かき混ぜる）はハダカ格の直接対象だけをしたがえる他動詞だ。

動詞や形容詞の多義語の記述は、個々の意味が実現する条件の記述が不可欠だ。動詞は、くみあわさる名詞の語彙的な意味と格形式によって類義語の意味の違いが明確になることがある。衰退し変容していく方言の継承のためには、方言を知らないわかい人でもその語彙的な意味とその使い方がわかるような例文が必要だ。

6. 慣用句

ふたつ以上の単語がかたく結びついて、特別な意味をあらわす慣用句の記述も必要だろう。慣用句は、くみあわさった単語がもとの意味とはちがった意味をあらわしているのに、あたかもそれが自由な意味であるかのごとく記述されている単語もすくなくない。それが日本語と類似のものであれば問題はすくないかもしれないが、もし意味にずれがあれば混乱させることになるだろう。

ティーヌ グマハン（手先が器用だ。原意は「手が小さい」）

ティー ミーン（手先が器用だ。原意は「手が生える」）

ハナ プクン（いびきをかく。原意は「鼻を吹く」）

クチトウ チウィトウ アーラン（言行が一致しない。原意は「口と尻が合わない」）

また、つぎのようにいつも決まった単語のくみあわせのなかでしか使用されない単語タマス、ソーをふくむものがある。

タマス ヌギン（肝を冷やす。びっくりする）

ソー イッチュン（賢い。しっかりしている）

慣用句のなかには、特定の語形でしか使用されないものがある。たとえば、ミーヌチウイチン マン（見向きもしない）は、マン（見ない）を肯定形や命令形にして使用することがない。

7. 和琉方言辞典

動詞や形容詞などは、その多義的な意味を実現する条件を示さなければならぬし、その使い方を分かりやすく解説しながら用例をおおく掲載したものが需要だ。助詞や接尾辞、接辞などの多義的な意味の記述が豊富な和琉辞典が必要なのだ。

これまでの琉和辞典に日本語引きの索引はあったが、和琉辞典は刊行されていない。既刊の琉和辞典はそれぞれに特色のあるいい辞典だが、いずれも日本語引索引が貧弱である。琉和辞典のなかには、日本語引索引がまったくないか、あってもきわめて貧弱であり、琉球諸語を知らない若者や琉球諸語を母語としない人にとって利用しづらいものか役にたたないものであった。日本語を第一言語にする人たちが自分の考えを琉球諸語に翻訳するとき、これまでの辞典ではまったく不十分なのだ。琉球諸語のいまの状態、あるいはこれからのことかんがえるなら、和琉辞典の整備は不可欠だ。

8. 幸喜方言の和琉擬声擬態語語彙

本稿は、日本語からひけるようにした沖縄県名護市幸喜方言の擬声擬態語の語彙一覧であり¹、本格的な和琉辞典編纂のための予備的なものである。ひとつの日本語見出し語に複数の幸喜方言が対応するとき、スラッシュで区切ったあとにゴチックで方言語形をあげる。ひとつの方言単語のあらわせる多義的な意味は右矢印「➡」のあとに示した。

なお、和琉にしたことによって、一部の見出し語の内部で類義語を対照できるようになっているものがある。

むずむず【副】 ハガハガ。やりたくてたまらず落ち着かないさま。チューガ スース ミ

1 琉球語引きは、『琉球の方言』の前号にかりまたしげひさ・仲間恵子・宮城萬勇（2013）「沖縄県名護市幸喜方言の擬声擬態語」として掲載されている。幸喜方言の擬声擬態語の文法的な特徴については、かりまたしげひさ（2012）にややくわしくかいた。本稿とあわせて利用していただきたい。

チ ドゥーマディ シープサヌ ハガハガ スン (人がしているのを見て自分までやりたくてむずむずする)。➡うずうず。／ プトゥプトウ。(1)歯がゆく、もどかしがるさま。クワーガ スース プトゥプトウシ ミッチュン (子どもがするのをむずむずして見ている)。(2)何かやりたくてたまらないさま。欲しがるさま。カミブサヌ プトゥプトウスン (食べたくてむずむずしている)。➡うずうず。ぶるぶる。がたがた。／ ムジュムジュ (1)やりたくてたまらず落ち着かないさま。チューガ スース ミチ ドゥーマディ シープサヌ ムジュムジュ スン (人がしているのを見て自分までやりたくてむずむずする)。イナグヌ シーバイ シープサヌ ムジュムジュ シー タッチュン (女が小便をしたくてもぞもぞして立っている)。(2)もぞもぞ。小さな虫が着物の下などでうごくさま。➡うずうず。もぞもぞ。／ ムサムサ。小さな虫が着物の下などでうごくさま。キヌヌ ナハニ ヌーガ イッチュラ ムサムサ イジュケン (服の中に何が入ったかむずむず動く)。➡もぞもぞ。

しかし、それは結果としてそうなったのであり、類義語の記述を意図したものではないので、類義語の記述としてはきわめて不十分なものである。類義語の意味のちがいの記述は、今後の課題である。

ああああ【副】 アーアー。ため息をつくさま。シワグトゥ マンディ メーナチ アー アースン (心配事が多く毎日ああああとしている)。アヌ チューヤ クチ パラチ アーアーンカ スン (あの人は口を開いてああああばかりする)。／ インガー。赤ん坊が発するまだことばになっていない声。あうあう。ウヌ クワーヤ イングーディチ ヒー イジャスン (その子はインガーと声を出す)。➡あうあう。

あうあう【副】 インガー。赤ん坊が発するまだことばになっていない声。ああああ。ウヌ クワーヤ イングーディチ ヒー イジャスン (その子はインガーと声を出す)。➡ああああ。

あつあつ。【名・副】 アチコーコー。(1)あつあつ。料理などができたてで熱いこと。煮えたばかりのさま。(2)熱々のもの。できたてであつあつの飲食物。コーヒーヤ アチコーコー イリレー (コーヒーは熱々を入れろ)。

あっぷあっぷ【副】 アブアブ。おぼれて水の中でもがいでいるさま。アヌ クワーヤ ブックティ アブアブシー ブラ ブクン (あの子は溺れてアップアップと泡を吹いている)。

いひひ【副】 イヒヒー。ごまかし、きまずさ、はじらいなどを含んでわらう声。イヒヒーディチ ワレイン (いひひと笑う)。イヒヒーシ ワライン (いひひと笑う)。

うかうか【副】 ウカウカ。行動をおこす時に注意の足りないさま。うっかりしているようす。うっかり。そわそわ。ウカウカ ウンテン シーネ アブナハトゥ キー シキ

ティ ムッター (うかうか運転したら危ないから気をつけて持て)。➡うっかり。そわそわ。

うじうじ【副】 ウジウジ。ためらい迷うさま。ウジウジンカ シー ヤク タタン (うじうじばかりして役に立たない)。

うじゃうじゃ【副】 グワサグワサ。虫などがたくさんいるさま。たくさんのがうごめくさま。うようよ。ウジムシ グワサグワサ イジュクン (うじ虫がうじゃうじゃ動く)。➡がやがや。どやどや。ごちゃごちゃ。／ グワサナイ。虫などがたくさんいるさま。たくさんのがうごめくさま。ウジムシ グワサナイ イジトゥン (うじ虫がうじゃうじゃ発生している)。

うずうず【副】 ハガハガ。やりたくてたまらず落ち着かないさま。むずむず。チューガースース ミチ ドゥーマディ シープサヌ ハガハガ スン (人がしているのを見て自分までやりたくてうずうずする)。／ プトウプトウ。歯がゆく、もどかしがるさま。むずむず。クワーガ スース プトウプトウシ ミッチュン (子どもがするのをうずうずして見ている)。➡うずうず。ぶるぶる。がたがた。／ ムジュムジュ。やりたくてたまらず落ち着かないさま。むずむず。もぞもぞ。チューガ スース ミチ ドゥーマディ シープサヌ ムジュムジュ スン (人がしているのを見て自分までやりたくてうずうずする)。イナグヌ シーバイ シープサヌ ムジュムジュ シー タッチュン (女が小便をしたくてもぞもぞして立っている)。

うっかり【副】 ウカウカ。行動をおこす時に注意の足りないさま。うっかりしているようす。そわそわ。どきどき。ウカウカ ウンテン シーネ アブナハトウ キー シキティ ムッター (うかうか運転したら危ないから気をつけて持て)。

うっすら【副】 スースー。目を細めること。ハタミー スースー シール パカイル (片目をうっすら細めて測るんだ)。

うつらうつら【副】 トゥルトゥル。眠気がさしているさま。テレビ マーガチー トゥルトゥル ニーブイ スン (テレビを見ながらうつらうつら眠気がさしている)。➡とろとろ。

うようよ【副】 グワサグワサ。虫などがたくさんいるさま。たくさんのがうごめくさま。うじゃうじゃ。ウジムシ グワサグワサ イジュクン (うじ虫がうじゃうじゃ動く)。➡がやがや。どやどや。ごちゃごちゃ。／ グワサナイ。虫などがたくさんいるさま。たくさんのがうごめくさま。うじゃうじゃ。ウジムシ グワサナイ イジトゥン (うじ虫がうじゃうじゃ発生している)。➡がやがや。どやどや。ごちゃごちゃ。➡がやがや。どやどや。わんさと。どっさり。／ グワジヤグワジヤ。虫などがたくさんいるさま。たくさんのがうごめくさま。うじゃうじゃ。グワサグワサとも言う。／ グワジヤナイ。虫などがたくさんいるさま。たくさんのがうごめくさま。うじゃうじゃ。

うじや。グワサナイとも言う。イッタ ヤーヤ カイゴ グワジャナイ ウイトウ イ カラン（君の家は蚕がうじやうじやいるので行けない）。

うろうろ【副】ウロウロ。あちこち歩きまわるさま。アマンマン ウロウロ サクシガ アヤシムヌ アランガヤー（あちこちうろうろ歩くが怪しいものではないだろうか）。／ ウロナイ。目的もなくうろつくさま。シグトゥン サングトゥ ウロナインカ サクン（仕事もせずにうろついてばかりいる）。／ ホロナイ。人や生き物がうろつくさま。うろちょろ。ぞろぞろ。トービーラーガ ホロナイ イジタクン（ゴキブリがぞろぞろでている）。トービーラーガ ホロナイシー ムヌー カマラン（ゴキブリがうろちょろして食事ができない）。／ ホロホロ。人や生き物がうろつくさま。うろちょろ。ぞろぞろ。トービーラーガ ホロホロ イジタクン（ゴキブリがうろちょろでている）。トービーラーガ ナイス パタナガシ ホロホロ アックン（ごきぶりが鍋の脇をうろちょろあるく）。

うろちょろ【副】ホロナイ。人や生き物がうろつくさま。うろうろ。ぞろぞろ。トービーラーガ ホロナイ イジタクン（ゴキブリがぞろぞろでている）。トービーラーガ ホロナイシー ムヌー カマラン（ゴキブリがうろちょろして食事ができない）。／ ホロホロ。人や生き物がうろつくさま。うろうろ。ぞろぞろ。トービーラーガ ホロホロ イジタクン（ゴキブリがうろちょろでている）。トービーラーガ ナイス パタナガシ ホロホロ アックン（ごきぶりが鍋の脇をうろちょろあるく）。

おぎゃあ【副】ンガー。赤ん坊の泣き声。またそのさま。ナーマ タチキル エトウ ヌー ガーチ ナクン（まだふた月なのでおぎゃあと泣いている）。

おぎゃあおぎゃあ【副】グエーグエー。半年過ぎた頃の赤ん坊のしきりに泣くさま。／ シーガーンーガー。赤ん坊のしきりに泣くさま。シーガーンーガー ナクタン（おぎゃあおぎゃあと泣いた）。

おどおど【副】シカシカ。不安、おそれ、自信のなさなどで落ち着かないさま。シカシカ シーネ ヌーン ナラン（おどおどしたら何も出来ない）。ヌ チューヤ シワグトゥガ アイラ、シカシカシ ウティシキ ネーン（その人は心配事があるのか、おどおどと落ち着きがない）。／ シカムカ。不安、おそれ、自信のなさなどで落ち着かないさま。シカムカ シーネ ヌーン ナラン（おどおどしては何も出来ない）。

おほほ【副】オホホー。女性が口をすぼめて笑う声。オホホーシ ワライン（おほほと笑う）。／ オホホーナイ。女性が口をすぼめて笑う声。オホホーナイ ワライン（おほほと笑う）。

かあかあ【副】カーカー。からすの鳴き声。ガラサース カーカーシ ナクン（からすがかあかあと鳴いている）。➡ ひりひり。ぴりぴり。かつか。はあはあ。かあつと。

があがあ【副】ガーガー。カラスなど鳥が騒がしく鳴くさま。クース ガラサーヤ ガー

ガー ナチ ヤガマハヌ (今日のカラスはがあがあ鳴いてうるさい)。➡がやがや。ペ
ちゃくちゃ。

かあかあ【副】 カーナイ。からすの鳴き声。➡かっか。かあっと。

かあっと【副】 カーカー。口を大きくひらいて痰や魚の小骨などの喉の異物を出すさま。
かっか。ユース ギー ハカティ ヌディ カーカースン (魚のとげがかかるて喉を
かかるてする)。カスガイ カーカー イジャスン (痰をかあっと出す)。➡ひりひり。び
りびり。かっか。はあはあ。かあかあ。／ カーナイ。口を大きくひらいて痰などの喉
の異物を出すさま。カスガイ カーナイ イジャスン (痰をかあっと出す)。➡かあか
あ。

かあっとはく【動】 カーミカスン。口を大きくひらいて痰などの喉の異物を出す。カーミ
カチ カスガイ イジャスン (かあっと痰をだす)。ヌディニ ギー ハカティ キーキ
ストウ カーミカシェー (喉に小骨がかかるてかっかとしているから、かあっと吐
け)。➡かあと鳴く。

かあとなく【動】 カーミカスン。からすがかあと鳴く。➡かあっと吐く。

があんがあん【副】 グワングワン。銅鑼や太鼓など鳴り物の音。祭り・綱引き・村芝居な
どで、太鼓など鳴り物を鳴らした。幸喜には銅鑼鉦がなかった。パタガシラ タティン
ディチ チジミ グワングワン ナラスン (旗頭を立てようと太鼓をがあんがあん鳴ら
す)。／ グワンナイ。太鼓などの打楽器を激しくたたくさま。パタガシラ タティン
ディチ チジミ グワンナイ ナラスン (旗頭を立てようと太鼓をがあんがあん鳴ら
す)。➡ぐんぐんと。ざあざあ。ごうごう。どんどん。

がくがく【副】 ガクガク。体の一部が怖さや寒さ、緊張などのために、ふるえるさま。ピ
サ ガクガクシ アッカラン (足ががくがくして歩けない)。タカハヌ パララ シチャ
ミーネー ウベーハヌ ピサ ガクガク スン (高いところから下を見ると怖くて足が
がくがくする)。➡べらべら。

がさがさ【副】 ガサガサ。物のふれ合う音。ねずみが物を引く時の音など。ユナガトウ
エンチュガ ガサガサ スン (一晩中ネズミががさがさする)。／ ガサガサ。らんぼう
にするさま。アリヤ ガサガサ ストウ マシェク ネン (彼は荒っぽくするから良
くない)。／ キーキー。嗄れたり、しわがれた声のさま。ヒー ハリティ、キーキー
スン (声が嗄れて、きいきいする)。➡ごとごと。ずるずる。ぎこぎこ。ぎしきし。ぎ
ちぎち。ざらざら。がさがさ。きいきい。かっか。

がさつな【形】 ガサガサ。アレー ガサガサ エトウ アリニヤ シミラン (あいつはが
さつだから彼にはさせない)。➡がさがさ。

がたがた【副】 ガタガタ。恐れ、寒さなどで体がふるえるさま。アミニ ディーティ
ピーハヌ ガタガタ ワンミクン (雨に濡れて寒くてがたがた震える)。ピーハヌ

ドゥー ブル ガタガタ プリン (寒くて体中がたがた震える)。ウトゥルハス チンシ
ガタガタスン (恐ろしくて膝ががたがたする)。／ ガチガチ。寒さや憤りなどで、体や
体の一部が小刻みに震えること。ピーハス ガチガチ ワンミクン (寒くてがたがた身
震いする)。ピーハス ハマチー ガチガチ シチャン (寒くてあごががたがたした)。
／ ゴトゴト。安定が悪く音が出るさま。センタク ウワイラ ゴトゴトスン (洗濯が
終わるのか、がたがたする)。ゴトゴト イジュクン (がたがた動く)。／ プトウプ
トウ。寒さ・恐怖などで身を震わせるさま。ピーハス プトウプトウ ワンミクン (寒
くてがたがた震える)。プトウプトウシー クチビル カムン (がたがたと唇を噛む)。
➡ぶるぶる。がちがち。むずむず。うずうず。／ プトウナイ。寒さ・恐怖などで身を
震わせるさま。ドゥク ピーハス プトウナイ クチビル カムン (とても寒くてがた
がた唇を噛む)。

がたがたする【動】 ガタミカスン。 (1)恐れ、寒さなどで体がふるえる。(2)安定が悪く音が
出る。チャ一 ガタミカスウートウ ヤードウ カギ イリレー (ずっとがたがたする
から、戸に鍵を入れろ)。ハジョホヌ ヤードウ ガタミカストウ サーシンクワ ハ
キレー (風が強くて戸ががたがたするので鍵を掛けろ)。／ ゴトミカスン。安定が悪く
音が出る。ゴトミカスースガ センタクヌ ウワイガ スーラ (がたがたしているが、
洗濯が終わるのだろうか)。➡がたがたする。どきっとする。はっとする。びくっとす
る。

がたがたと【副】 ガタナイ。 恐れ、寒さなどで体がふるえるさま。アミニ ディーテイ
ガタナイ スーワン (雨に濡れてがたがたしてしまう)。ドゥク ピーハス ガタナイ
ワンミクン (とても寒くてがたがた震える)。ドゥク ピーハス クチビル ガタナイ
カムサ (あんまり寒くて唇をがたがたと噛む)。

がちがち【副】 ガチガチ。 (1)上下の歯を連続してかみ鳴らすさま。ニントゥティ パー
ガチガチ ナラスタン (寝ていて歯をがちがち鳴らした)。(2)寒さや憤りなどで、体や
体の一部が小刻みに震えるさま。ピーハス ガチガチ ワンミクン (寒くてがちがち身
震いする)。ピーハス ハマチー ガチガチ シチャン (寒くてあごががちがちした)。
➡がたがた。

がちゃんがちゃんと【副】 ガーラナイ。 マカイヌ ガーラナイ ワリティ ヒティタン
(お椀ががちゃんと割れて捨てた)。ドゥー サクー イジティ マカイサラ ガーラナ
イ ワタン (八つ当たりして食器をがちゃんと割った)。

がちゃんと【副】 ガーラナイ。 がちゃんとがちゃんと。マカイヌ ガーラナイ ワリティ
ヒティタン (お椀ががちゃんと割れて捨てた)。ドゥー サクー イジティ マカイサラ
ガーラナイ ワタン (八つ当たりして食器をがちゃんと割った)。

がちゃんとする【動】 ガーラミカスン。 (他) がちゃんと割る。(自) がちゃんと割れる。

アギジャビヨー マカイ ウトウチ ガーラミカチ ワリタン（あらまあ。お椀を落としてがちゃんと割れた）。

かつか【副】 カーカー。(1)辛みを感じるさま。ひりひり。ぴりぴり。ハラグソ カミネヌディガ ピーラチ カーカー シン（唐辛子を食べると、のどが疼いてひりひりする）。➡はあはあ。かあかあ。かつか。かあっと。(2)口を大きくひらいて痰や魚の小骨などの喉の異物を出すさま。かあっと。ユース ギー ハカティ ヌディ カーカースン（魚のとげがかかって喉をかつかする）。カスグイ カーカー イジャスン（痰をかあっと出す）。➡ひりひり。ぴりぴり。かつか。はあはあ。かあかあ。／ カーナイ。口を大きくひらいて痰などの喉の異物を出すさま。かあっと。カスグイ カーナイ イジャスン（痰をかあっと出す）。➡かあかあ。／ キーキー。異物が喉につかえるさま。ユース ギー ハカティ ヌディ キーキースン（魚のとげがかかって喉がかつかする）。➡きいきい。がさがさ。

かつかかつかと【副】 キーキカーカー。喉につかえる食物や異物を口を大きく開いてかあっと出すさま。ヌディニ ギー ハカティ キーキーカーカー シン（喉にとげがかかってかつかかつかとする）。

かつかと【副】 パーパー。体などが熱をもっているさま。また、暑さのために室内が蒸すさま。ドゥーブル パーパーシ クチハン（全身が（熱で）かつかとして苦しい）。チラー パーパー スースガ ニチヤ ネーンシェー（顔がかつかとしているが熱でもあるんじゃないいか）。ヤース ナハ パーパーシー プミクトゥ ヤードウ シキアキレー（家の中がかつかと蒸しているから戸を開け放て）。／ パンナイ。体などが熱をもっているさま。また、暑さのために室内が蒸すさま。チラ パンナイ シン（顔がぼっぽとする）。チラー アカディ ニチヤ パンナイ シン（顔が赤らんで熱がぼっぽとしている）。／ パンパン。体などが熱をもっているさま。また、暑さのために室内が蒸すさま。ニチヌ パンパン イジトゥ サージ ダーチ ピグラスン（熱がかつかとでるので手拭いをぬらして冷やす）。➡とんとん。ぱちぱち。ほんほん。／ フアーフア。体などが熱をもっているさま。ぼっぽ。ほかほか。また、暑さのために室内が蒸すさま。むっと。パーパーとも言う。ワッタ クワーヤ パナシキ ハカティ ニチ フアーフアーシ ニントウン（うちの子は風邪をひいて熱がかつかとして寝ている）。チューガニンティヌ アトヤ ウードウ フアーフアースン（人が寝たあとはふとんがほかほかしている）。ぼっぽ。むっと。ぼっぽ。➡ぼうぼう。ほんほん。むっと。

がばがば【副】 ダブダブ。大すぎる着物やたくさんの着物を着た時のさま。トゥシートゥティ キヌヤ ブル ダブダブ ナティ キララン（年をとって服は全部がばがばになって着られない）。／ ダブナイ。大すぎる着物やたくさんの着物を着た時のさま。ウヌ キヌヤ ダブナイ ナティ キーブサクネン（その服はがばがばになって着たく

ない)。／ ワブワブ。大すぎる着物やたくさんの着物を着た時のさま。ウヌ キヌヤ ワブワブ スン (この着物はがばがばする)。➡だぶだぶ。ぶかぶか。

がぶがぶ【副】 ガブガブ。水や酒などを勢いよくたくさん飲むさま。サキジョーグヤ ガブガブ ヌムン (上戸はがぶがぶ飲む)。／ ガブナイ。水や酒などを勢いよくたくさん飲むさま。サキジョーグヤ ガブナイ ヌムン (上戸はがぶがぶ飲む)。➡ごくごく。

がやがや【副】 ガーガー。騒がしいようす。チュー アチマティ ガーガー ムゲイスガ、ヌー エガヤー (人が集まってがやがや騒いでいるが、何だろう)。➡があがあ。ペちゃくちゃ。／ ガヤガヤ。騒がしいようす。大勢の人々が口々に何かをいうようす。チュー ガ ウポホヌ ガヤガヤシ ヤガマハン (人が多くて、がやがやとうるさい)。イッタガ ガヤガヤ アウイトウ、ムヌン キカラン (おまえたちががやがや騒ぐので、何も聞こえない)。／ グワサグワサ。大勢の人が集まってそうぞうしいさま。大勢の人がそうぞうしく出入りするさま。どやどや。グワサグワサ チュース アチマトゥン (がやがやと人が集まっている)。シバヤーラ グワサグワサ チュース イジティ クン (芝居からどやどや人が出て来る)。➡うようよ。うじゅうじゅ。ごちゃごちゃ。／ グワサナイ。大勢の人が集まってそうぞうしいさま。大勢の人がそうぞうしく出入りするさま。どやどや。チュース グワサナイ イッチ クン (人がどやどや入ってくる)。➡うようよ。うじゅうじゅ。わんさと。どっさり。ごちゃごちゃ。／ ムタナイ。大勢でさわがしいさま。わいわい。ケッサヌ チューガ ムタナイ サワゲン (大勢の人ががやがやと騒いでいる)。／ ムタムタ。大勢でさわがしいさま。わいわい。ケッサヌ チューガ ムタムタ サワジュン (大勢の人ががやがや騒いでいる)。／ ワサナイ。大勢で騒がしいさま。ざわざわ。ワライタガ ドゥク ワサナイ サワジュトゥ ニンバラン (子ども達があまりにがやがや騒いでいるので眠れない)。／ ワサワサ。大勢で騒がしいさま。ざわざわ。ワライタガ ワサワサ サワジ ニンバラン (子供たちががやがや騒いで眠れない)。➡そわそわ。

からから【副】 カラカラー。乾燥しているさま。干からびているさま。動物の骨などが骸骨になっているさま。カラカラー ナトゥン (からからになっている)。

からころ【副】 パカナイ。かたいもの同士が打ち当たるさま。ばかばか。ぽかぽか。どんどん。ミーアシジヤ クディ パカナイ ナラチアックン (新下駄を履いてからころ鳴らして歩く)。パカナイ ウッチュン (ばかぽか打つ)。マーガ パカナイ アックン (馬がばかぽか歩く)。テーク パカナイ ウッチュン (太鼓をどんどん打つ)。／ パカパカ。かたいもの同士が連続して打ち当たるさま。ばかばか。ぽかぽか。どんどん。テーク パカパカ タタクン (太鼓をどんどん叩く)。ウマーガ パカパカシー アックン (馬がばかぽか歩く)。

がらん【副】 ガーガー。家や部屋、器などの中になにもないさま。がらんどう。➡ぼつか

り。→すかすか。

からんからん【副】 ケレンケレン。鈴やちいさな鉦などが連續してなる音。ちりんちりん。

トープウヤガ ケレンケレン ナラチャクン（豆腐売りがちりんちりんと鳴らしている）。／ ケンケン。鉦の音。幸喜には鉦はなかった。

がらんと【副】 ウーガーガー。中に何もなく、広く感じられるさま。タイクカンヌ ナハヤ ウーガーガー ナトゥン（体育館の中はがらんどうになっている）。→がらんどうに。／ ガンガラー。からっぽのようす。アマヌ ヤーヤ ヤーウティー シー ガンガラー ナティ シカラーハン（むこうの家は引越をしてがらんとなって寂しい）。ガンガラー ナティ チュイタインカル ヌクトゥル（がらんとなって一人二人しか残っていない）。→がらんどうな。／ バンバラ。家具などがなく空虚で寂しく広いさま。ヤーヤ マギハスガ ドーグ ネース バンバラ ナトゥン（家は大きいが、家具がなくてがらんとなっている）。

がらんどう【副】 ガーガー。家や部屋、器などの中になにもないさま。→がらん。ぽっかり。すかすか。

がらんどうな【形容詞】 ガンガラー。からっぽのようす。ナーマ ヤードーグ ハヤハン トゥ ガンガラー エン（まだ家具を運んでいないのががらんどうだ）。→がらんと。

がらんどうに【副】 ウーガーガー。中に何もなく、広く感じられるさま。がらんと。タイクカンヌ ナハヤ ウーガーガー ナトゥン（体育館の中はがらんどうになっている）。

かんかん【副】 クワチャクワチャ。ひどく腹を立てて機嫌の悪いさま。クサミチ クワチャクワチャ スン（腹が立ってぶんぶんしている）。→ぶんぶん。

がんがん【副】 ブーナイ。勢い良く連續して行われるさま。イシ ブーナイ ナギン（石をじゃんじゃん投げる）。→じゃんじゃん。どんどん。／ ワーナイ。勢い良く連續して行われるさま。バケツチ ミジ ワーナイ ハヤスン（バケツで水をじゃんじゃん運ぶ）。サンシン ワーナイ ナラスン（三味線をじゃんじゃん鳴らす）。バンナイともいう。イシ ワーナイ ナギン（石をどんどん投げる）。→じゃんじゃん。どんどん。ざあざあ。どんどん。びゅうびゅう。

きいきい【副】 キーキー。連續して発する甲高い音。門の開く音。硬いものが軽く何度もすれあう音。ジョンター アキーネー キーキー ナイン（門扉を開けると、きいきい鳴る）。→がさがさ。かっか。

ぎいぎい【副】 ギーギー。木などのきしむ音。ヤードウ アキネー ギーギー ナイン（戸を開けると、ぎいぎい鳴る）。／ ギーナイ。木などのきしむ音。ヤードウ アキネー ギーナイ ナイン（戸を開けると、ぎいぎい鳴る）。

きいきいと【副】 キーナイ。連續して発する甲高い音。硬いものが軽く何度もすれあう音。キーナイ スートウ アンダ クワーシェー（きいきいと（音が）するから油を注せ）。

ぎいっとなる【動】 ギーミカスン。木などがぎいっときしむ。ヤードゥ アキネー ギーミカチ ナイン（戸を開けると、ぎいっと鳴る）。

ぎこぎこ【副】 ガサガサ。のこぎりで木を切るなど硬いものが互いにこすれあってたてる音。ぎしきし。ぎちぎち。ヌクギリチ キー ガサガサ キーン（のこぎりで木をぎこぎこ切る）。ガサガサ キース ウトゥ スン（ぎしきし木の擦れる音がする）。➡ごとごと。がさがさ。ずるずる。ざらざら。がさがさ。さっさと。／ ガサナイ。のこぎりで木を切るなど硬いものが互いにこすれあってたてる音。ぎしきし。ぎちぎち。ヌクギリチ キー ガサナイ キーン（のこぎりで木をぎこぎこ切る）。➡さっさと。

ぎざぎざ【副】 ギジャギジャ。のこぎりの刃のように細かい刻み目が並んでいるさま。アダニヌ パーヤ ギジャギジャシー ティー シクン（阿旦の葉はぎざぎざしていて手を刺す）。

ぎしきし【副】 ガサガサ。のこぎりで木を切るなど硬いものが互いにこすれあってたてる音。ぎこぎこ。ぎちぎち。ヌクギリチ キー ガサガサ キーン（のこぎりで木をぎこぎこ切る）。ガサガサ キース ウトゥ スン（ぎしきし木の擦れる音がする）。➡ごとごと。がさがさ。ずるずる。ざらざら。がさがさ。さっさと。／ ガサナイ。のこぎりで木を切るなど硬いものが互いにこすれあってたてる音。ぎこぎこ。ぎちぎち。ヌクギリチ キー ガサナイ キーン（のこぎりで木をぎこぎこ切る）。➡さっさと。／ ギシギシ。ものがきしむ音。ウヌ イスヤ ギシギシ ナイン（その椅子はぎしきし鳴る）。➡ぎりぎり。

ぎしっとなる【動】 ギシミカスン。メービサ アトビサ アタランガ アタラ ギシミカスタン（四脚が合わなかつたのかぎしっとなつた）。➡ぎしっときしむ。

ぎちぎち【副】 ガサガサ。のこぎりで木を切るなど硬いものが互いにこすれあってたてる音。ぎこぎこ。ぎしきし。ヌクギリチ キー ガサガサ キーン（のこぎりで木をぎこぎこ切る）。ガサガサ キース ウトゥ スン（ぎしきし木の擦れる音がする）。➡ごとごと。がさがさ。ずるずる。ざらざら。がさがさ。さっさと。

ぎちぎち【副】 ガサナイ。のこぎりで木を切るなど硬いものが互いにこすれあってたてる音。ぎこぎこ。ぎしきし。ヌクギリチ キー ガサナイ キーン（のこぎりで木をぎこぎこ切る）。➡さっさと。

きょろきょろ【副】 グルグル。落ち着かず、あたりを見回すさま。ミー グルグルシ ハメイン（目をきょろきょろして探す）。ヌーガ ハメイラ ミー グルグル スン（何を探しているのか目をきょろきょろしている）。ミーグルグルと一語のようにも言う。➡ごろごろ。ぐるぐる。ぱっちり。

きらきら【副】 キラキラ。星などが光かがやくさま。ティンヌ プシガ キラキラ ピカイン（空の星がきらきら光る）。／ クワーラナイ。まぶしく光輝くさま。ぴかぴか。

耿々（こうこう）と。煌々と。ぎらぎら。デントー クワーラナイシ ミー ピカラハン（電灯ががこうこうとしてまばゆい）。ティーダ クワーラナイ スン（太陽がぎらぎらしている）。クース ティントーヤ プシヌ クワーラナイ イジトゥン（今日の空は星がきらきらでている）。／ クワラクワラ。光り輝くさま。ぴかぴか。ピカピカより明るい。ランプなどにはいわない。デンキヌ クワラクワラ シカトゥン（電気がぴかぴか点灯している）。ピカラピカラとも言う。／ ピカナイ。光り輝くさま。ぴかぴか。ピシヌ ピカナイ ピカイン（星がぴかぴか光る）。➡ぴかぴか。／ ピカピカ。光り輝くさま。ぴかぴか。クース ティントーヤ プシヌ ピカピカ スン（今日の空は星がきらきらしている）。ピカナイ、ピカラピカラ、キラキラともいう。／ ピカラピカラ。光り輝くさま。ぴかぴか。ピカピカより明るい。ピシヌピカラピカラスン。デンキガピカラピカラ シカトゥン（電気がぴかぴか点灯している）。

ぎらぎら【副】 ギラギラ。太陽が強く照り輝くさま。ティダヌ ギラギラ ピカティ ミーピカラハン（太陽がぎらぎら光ってまぶしい）。／ ギラナイ。太陽が強く照り輝くさま。ティダヌ ギラナイ ピカティ ミーピカラハヌ アッカラン（太陽がぎらぎら光ってまぶしくて歩けない）。／ クワーラナイ。まぶしく光輝くさま。きらきら。ぴかぴか。耿々（こうこう）と。煌々と。デントー クワーラナイシ ミー ピカラハン（電灯ががこうこうとしてまばゆい）。ティーダ クワーラナイ スン（太陽がぎらぎらしている）。クース ティントーヤ プシヌ クワーラナイ イジトゥン（今日の空は星がきらきらでている）。

ぎりぎり【副】 ギシギシ。怒りや悔しさのために歯ぎしりをするさま。また、睡眠時に歯ぎしりするさま。パー ギシギシ クサミチュン（歯をぎりぎりと憤る）。ユルー ニントゥティ パー ギシギシ ナラスン（夜寝ていて、歯をぎりぎり鳴らす）。➡ぎしぎし。

ぎりっとする【動】 ギシミカスン。ぎりぎり歯ぎしりする。➡ぎしっと鳴る。

ぐうぐう【副】 グーグー。ぐっすり眠るさま。グーグー ニンブン（ぐうぐう眠る）。／ グーナイ。ぐっすり眠るさま。グーナイ ニントゥン（ぐうぐう寝ている）。／ グタグタ。よく眠るさま。グタグタ ニントゥヌ チューヤ ムヌウトゥー ワカラン（ぐうぐう寝ている人は物音を気がつかない）。➡ぐつぐつ。ぐしょぐしょ。こんこん。／ グタナイ。グタナイ ニントゥヌ チューヤ ムヌウトゥー ワカラン（ぐうぐう寝ている人は物音を気がつかない）。➡こんこん。ぐしょぐしょ。ぐっしょり。／ ゴーゴー。ぐっすり。ぐうぐう。よく眠るさま。グーグーとも言う。ゴーゴー ニンティ パナーナラスン（ぐっすりと寝ていびきをかく）。／ ゴーナイ。ぐっすり。ぐうぐう。よく眠るさま。グーナイとも言う。ゴーナイ ニンティ ワカラン（ぐっすりと寝て気がつかない）。／ ゴロゴロ。空腹で腹がなるさま。ヤーハネン ゴロゴロ スータン（空腹な

時にもぐうぐう鳴った)。ヤーハヌ ワタ ゴロゴロ ナイン (空腹で腹がぐうぐう鳴る)。➡ごろごろ。／ ゴロナイ。空腹で腹がなるさま。ヤーハヌ ワター ゴロナイ スン (空腹で腹がぐうぐうしている)。➡ごろごろ。／ コンコン。いびきをかくさま。パナー コンコン プクン (鼻をぐうぐうふく)。➡こんこん。／ コンナイ。いびきをかくさま。ヤクミヌ パナー コンナイ プチ ニンバラン (兄がいびきをぐうぐうかいて寝られない)。➡こんこん。

ぐうっとなる【動】 ゴロミカスン。空腹で腹がぐうっと鳴る。アッタニ ワター ゴロミ カスタン (急に腹がぐうっと鳴った)。

くさくさ【副】 クサクサ。思うようにことが進まなかったり、腹立たしかったり、気がめいったりしているさま。アサラ ユーサンディマディ クサクサンカ スン (朝から晩までくさくさばかりしている)。ピッチー アミ プティ クサクサ シー クラハラン (一日中雨が降ってくさくさして無為に過ごす)。

ぐしゃぐしゃ【副】 クワンクワン。物がひどく壊れて形がそこなわれているさま。ぼろぼろ。めちゃくちゃ。ドーグヌ ヤンビティ クワンクワン ナティ シカララン (道具が壊れてぼろぼろで使えない)。ドーグヌ クワンクワン ナイヤカ ヤンビトゥン (道具がぼろぼろになるほど壊れている)。ヤンビ (破れ) と組合わさってヤンビクワンクワンと使われることがある。／ ヤンビクワンクワン。物がひどく壊れて形がそこなわれているさま。ぼろぼろ。めちゃくちゃ。ドーグヌ ヤンビティ ヤンビクワンクワン ナトゥン (道具が壊れてぼろぼろになっている)。

ぐしょぐしょ【副】 グタグタ。ひどく濡れているさま。ぐっしょり。アミー プティ ハリバーガ グタグタ ナトゥン (雨が降って枯葉がぐちゃぐちゃになっている)。➡ぐうぐう。こんこん。ぐつぐつ。／ グタナイ。ひどく濡れているさま。ぐっしょり。アミー プティ ハリバーガ グタナイ ナトゥン (雨が降って枯葉がぐしょぐしょになっている)。➡ぐうぐう。こんこん。／ バタナイ。ひどく濡れているさま。ぐっしょり。ウードゥガ アミニ ディーティ バタナイ ナトゥン (布団が雨に濡れてぐしょぐしょになっている)。グタグタともいう。／ バタバタ。ひどく濡れているさま。ぐっしょり。びしょびしょ。グタグタともいう。アミハジヌ チューハヌ バタバタ ディートゥン (風雨が強くてびしょびしょに濡れている)。

くすくす【副】 クスクス。声をたてずに笑うさま。ヒー イジャサンゲトゥ クスクス ワレイン (声を出さずにくすくす笑う)。／ ヒーヒー。ひそかに笑うさま。小さな声で笑うさま。ヒーヒー シナガテングワ ワライン (くすくすとこっそり笑う)。

くたくたに【副】 グッタトゥ。疲れて手足の力が抜けたさま。ぐったりと。ウタティ グッタトゥ ナトゥン (疲れてくたくたになっている)。

くちゃくちゃ【副】 タクタク。口の中で音を出して食べ物などを噛むさま。ガム タクタ

ク カダクン (ガムをくちゃくちゃ噛んでいる)。タクタク シーヤ カムナ (くちゃくちゃさせて食べるな)。タクタク ウトゥ ナラハングトゥ カメー (くちゃくちゃ音を立てずに食べろ)。／ タクナイ。口の中で音を出して食べ物などを噛むさま。ガムンカ タクナイ カドゥン (ガムばかりくちゃくちゃ噛んでいる)。アヌチューヤ クチタクナイシー カムン (あの人は口をくちゃくちゃして食べる)。／ タンタン。口の中で音を出して食べ物などを噛むさま。タンタンシ ムヌ カマンケー (くちゃくちゃ食事をするな)。

ぐちゃぐちゃ【副】 ジャクジャク。水分を多く含んで濡れたり、ぬかるんでいるさま。びしょびしょ。アミブイヌ アトゥヤ ミチヌ ジャクジャク ナティ アッキゴロホン (雨降りのあとは道がぐちゃぐちゃになって歩きにくい)。シブイヨーハヌ シル ジャクジャク スン (絞り足りなくてびしょびしょだ)。／ ジャクナイ。水分を多く含んで濡れたり、ぬかるんでいるさま。ミチヌ ジャクナイ スン (道がぐちゃぐちゃしている)。アミブイヌ アトゥヤ ミチヌ ジャクナイシ アッキゴロホン (雨降りのあとは道がぐちゃぐちゃして歩きにくい)。

くっくつ【副】 コッコーコッコー。鶏の鳴き声。雛を呼ぶ鳴き声。コッコーコッコーシクワー ユウン (くっくつと雛を呼ぶ)。

ぐつぐつ【副】 グタグタ。ものがよく煮立っているさま。ふつふつ。グタグタ タンガシワル マーハル (ぐつぐつたぎらせたらおいしい)。→ぐうぐう。こんこん。ぐしょぐしょ。ぐっしょり。／ クトウクトウ。ものがよく煮えるさま。ふつふつ。ピー チューケ シ クトウクトウ タンガシェー (火を強くしてぐつぐつ煮なさい)。グトウグトウともいい、こちらをよく使う。／ グトウグトウ。ものがよく煮えるさま。ふつふつ。ピーチューケ シ グトウグトウ タンガシェー (火を強くしてぐつぐつ煮なさい)。クトウクトウともいう。／ クトウナイ。ものがよく煮えるさま。ふつふつ。ピーチューケ シ クトウナイ タンガシェー (火を強くしてぐつぐつ煮なさい)。グトウナイともいい、こちらをよく使う。／ グトウナイ。ものがよく煮えるさま。ふつふつ。グトウナイ タングン (ぐつぐつとたぎる)。クトウナイともいう。／ クワタクワタ。湯などのたぎるさま。ぐらぐら。クトウクトウより泡立ちが大きい。アリアリ、シルー クワタクワタ タングン (ほらほら、汁がぐらぐらたぎっている)。／ グワタグワタ。ものの煮え立つ音。クワタクワタとも言う。／ クワンナイ。湯などのたぎるさま。ぐらぐら。ヤクワン クワンナイ ムゲーイン (やかんがぐらぐら沸騰している)。クワタナイともいう。クワンナイをよく使う。→ざあざあ。ごうごう。

ぐつぐつに【副】 クタクタ。よく煮込んださま。ウブサーヤ クタクタ ニリワル マーハル (炒め煮はぐつぐつに煮たらおいしい)。

ぐっしょり【副】 グタグタ。ひどく濡れているさま。ぐしょぐしょ。アミー プティ ハ

リバーガ グタグタ ナトゥン (雨が降って枯葉がぐっしょりなっている)。➡ぐうぐう。こんこん。ぐつぐつ。／ グタナイ。ひどく濡れているさま。ぐしょぐしょ。アミープティ ハリバーガ グタナイ ナトゥン (雨が降って枯葉がぐしょぐしょになっている)。➡ぐうぐう。こんこん。／ スプトウ。ひどくぬれたさま。びっしょり。スプトウディーティ イキシルー ナトゥン (ぐっしょり濡れてずぶ濡れになった)。／ スプナイ。ひどくぬれたさま。びっしょり。スプナイ ディーティ イキシルー ナトゥン (びっしょり濡れてずぶ濡れになった)。／ バタナイ。ひどく濡れているさま。ぐしょぐしょ。びしょびしょ。びっしょり。ウードゥガ アミニ ディーティ バタナイ ナトゥン (布団が雨に濡れてぐしょぐしょになっている)。グタグタともいう。／ バタバタ。ひどく濡れているさま。➡ぐしょぐしょ。びしょびしょ。びっしょり。アミハジヌ チューハヌ バタバタ ディートゥン (風雨が強くてびしょびしょに濡れている)。

ぐっすり【副】 ゴーゴー。よく眠るさま。ぐうぐう。グーグーとも言う。ゴーゴー ニンティ パナー ナラスン (ぐっすりと寝てびきをかく)。／ ゴーナイ。よく眠るさま。ぐうぐう。グーナイとも言う。ゴーナイ ニンティ ワカラ (ぐっすりと寝て気がつかない)。

ぐったりと【副】 グッタトウ。疲れて手足の力が抜けたさま。くたくたに。ウタティ グッタトウ ナトゥン (疲れてぐったりとなっている)。

ぐにゃぐにゃ【副】 ビラビラ。体に力が入らず柔らかいさま。へなへな。ふにゃふにゃ。プープヤ ヨーガリティ ビラビラ アックン (祖父は痩せてへなへな歩く)。➡べろべろ。ふにゃふにゃ。

ぐにゃぐにゃ【副】 ヨーガピーガ。曲がりくねったさま。くねくね。➡くねくねの。ぐにゃぐにゃの。／ ヨーガピーゲ。曲がりくねったさま。くねくね。➡くねくねの。ぐにゃぐにゃの。／ ヨーゲーピーゲー。曲がりくねったさま。くねくね。ナグヌ ナナマガイヤ ヨーゲーピーゲー マガトゥタン (名護の七曲はくねくね曲がっていた)。➡くねくねの。ぐにゃぐにゃの。

ぐにゃぐにゃの【形】 ヨーガピーガ。曲がりくねったさま。ぐにゃぐにゃの。ナグマガイヤ ヨーガピーガ (名護曲はくねくねだ)。➡ぐにゃぐにゃ。くねくね。／ ヨーガピーゲ。曲がりくねったさま。くねくねの。➡ぐにゃぐにゃ。くねくね。／ ヨーゲーピーゲー。曲がりくねったさま。くねくねの。ムカシヌ ナゲンガティヌ ミチヤ ヨーゲーピーゲ エタン (昔の名護への道はくねくねだった)。➡ぐにゃぐにゃ。くねくね。

くねくね【副】 ヨーガピーガ。曲がりくねったさま。ぐにゃぐにゃ。➡くねくねの。ぐにゃぐにゃの。／ ヨーガピーゲ。曲がりくねったさま。ぐにゃぐにゃ。➡くねくねの。ぐにゃぐにゃの。／ ヨーゲーピーゲー。曲がりくねったさま。ぐにゃぐにゃ。ナグヌ ナナマガイヤ ヨーゲーピーゲー マガトゥタン (名護の七曲はくねくね曲がってい

た)。→くねくねの。ぐにゃぐにゃの。

くねくねの【形】 ヨーガピーガ。曲がりくねったさま。ぐにゃぐにゃの。ナグマガイヤ ヨーガピーガ (名護曲はくねくねだ)。→ぐにゃぐにゃ。くねくね。／ ヨーガピーゲ。曲がりくねったさま。ぐにゃぐにゃの。→ぐにゃぐにゃ。くねくね。／ ヨーゲーピーゲー。曲がりくねったさま。ぐにゃぐにゃの。ムカシヌ ナグンガティヌ ミチヤ ヨーゲピーゲ エタン (昔の名護への道はくねくねだった)。→ぐにゃぐにゃ。くねくね。

くねっと【副】 ヨーゲー。ゆがんださま。形などがゆがんださま。歪 (ゆが) に。ヨーゲー、ヨーガーともいう。ヨーゲー セン ピッヂェン (くねっと線を引いてある)。

ぐらぐら【副】 グーラクワッタイ。不安定で揺れ動くさま。よろよろ。アヌ チューヤ サキ ヌディ ミチラ グーラクワッタイ アックン (あの人は酒を飲んで道をぐらぐら歩いている)。／ グーラバッタイ。不安定で揺れ動くさま。よろよろ。アヌ チューヤ サキ ヌディ ミチラ グーラバッタイ アックン (あの人は酒を飲んで道をぐらぐら歩いている)。／ グラグラ。ものが揺れ動くさま。今はゴトゴトともいう。ナウイ グラグラ イジュクトゥ、ハマドゥ ノーシェ (鍋がぐらぐら動くから、かまどを直せ)。ハンダイヌ ピサヌ グラグラシ アタラン (飯台の脚がぐらぐらしてかみ合わない)。ネー ユティ ヤー グラグラ スン (地震が来て家がぐらぐらする)。／ グラグラ。ものが固定せず不安定なさま。クイ グラグラシ ウグクトゥ ナーピン ゲンノーチ ウッチャー (杭がぐらぐらと動くのでもっとげんのうで打て)。パース グラグラ ウグクン (歯がぐらぐら動く)。／ クワタクワタ。湯などのたぎるさま。クトゥクトゥより泡立ちが大きい。アリアリ、シルー クワタクワタ タンゲン (ほらほら、汁がぐらぐらたぎっている)。→ぐつぐつ。／ クワンナイ。湯などのたぎるさま。ぐつぐつ。ヤクワン クワンナイ ムゲーイン (やかんがぐらぐら沸騰している)。クワタナイともいう。クワンナイをよく使う。→ざあざあ。ごうごう。／ ユラユラ。ゆっくり揺れ動くさま。ヤー ユルユル ウグクスガ スー エガヤー (家がぐらぐら動くがなんだろう)。→ゆらゆら。

ぐらぐらと【副】 クワタナイ。湯などのたぎるさま。ぐつぐつ。クワタナイ タンゲン (ぐらぐらとたぎる)。／ クワンナイ。湯などのたぎるさま。ヤクワン クワンナイ ムゲーイン (やかんがぐらぐら沸騰している)。→ぐつぐつ。

ぐるぐる【副】 グルグル。(1)物の回転するさま。ごろごろ。バスヌ ヒャーガガ グルグル マーイン (バスの車輪がぐるぐる回る)。(2)目の回るさま。ミー グルグルシ タタラン (目がぐるぐるして立てない)。ミーグルグルと一語のようにも言う。→ごろごろ。ぐるぐる。きょろきょろ。ぱっちり。

ぐんぐん【副】 ドンドン。勢いよく進むさま。どんどん。ドンドン アッケー (ぐんぐん

歩け)。ドンドン トゥーレー (ぐんぐん走れ)。《参》 ドンナイともいうが、ドンドンよりドンナイの方がやや強くてはげしい。／ ドンナイ。勢いよくつぎつぎ進むさま。ヨンナー サングトゥ ドンナイ シーワ (ゆっくりしないでどんどんしろ)。マンドゥ トゥ ドンナイ カメー (たくさんあるからどんどん食べろ)。➡どんどん。どきどき。

ぐんぐんと【副】 グワンナイ。勢いよくつぎつぎ進むさま。グワンナイ トゥーレー (ぐんぐん走れ)。➡どんどん。があんがあん。ざあざあ。ごうごう。

げえげえ【副】 ウェーウェー。嘔吐を催し、飲食物をもどす時の声。またはそのまま。ヌーガ カダラ ウェーウェー・シ ムヌー パクン (何を食べたのか。げえげえ吐いている)。／ ウェーナイ。嘔吐を催し、飲食物をもどす時のさま。ウェーナイ ムヌー パクン (げえげえと吐いている)。／ オー・オー。人が嘔吐するさま。／ オーナイ。人が嘔吐するさま。オーナイ ムヌー パクン (げえげえ食べ物を吐く)。オーナイ パクスガ ヌー カダガ (げえげえ吐いているけど何を食べたの)。／ ゲー・ゲー。人が嘔吐するさま。ヌーガ カダラ ゲー・ゲー パクン (何をたべたか、げえげえ吐く)。ユフナムヌー カディ ゲー・ゲー パクン (変なものを食べてげえげえ吐く)。／ ゲーナイ。人が嘔吐するさま。ヌーガ カダラ ゲーナイ パクン (何をたべたか、げえげえ吐く)。カダス ブル ゲーナイ パッチャン (食べたのを全部げえげえ吐いた)。

げらげら【副】 ウームタムタ。大勢で笑いざわめくさま。どっと。ケッサヌ チューガ ウームタムタシ ワラトゥン (大勢の人がげらげらと笑っている)。

げりをする【動】 ピリピリスン。腹をくだす。ヌーガ カダラ ウヌ クワー クスー サギティ ピリピリスン (何を食べたのかその子は腹をくだしている)。

けろけろ【副】 ガークガーク。蛙の鳴き声。アタビチャガ ガークガークシ ナクン (ヌマガエルがけろけろと鳴く)。

けんけん【名】 ガテガテ。片足跳びのあそび。クーヤ ガテガテ サーヤ (今日はけんけんをしようね)。➡ひょこひょこ。ぴょこぴょこ。➡ぴょんぴょん。

ごうごう【副】 クワンナイ。水がはげしく流れるさま。ざあざあ。ミジヌ クワンナイ ナガリン (水がごうごう流れる)。➡ぐつぐつ。ぐらぐら。／ グワンナイ。水がはげしく流れるさま。ざあざあ。ウプアミー プティ ハーラヌ ミジ グワンナイ ナガリン (大雨が降って川の水がざあざあ流れる)。➡どんどん。があんがあん。ぐんぐんと。／ ゴー・ゴー。海なりの音。または、大雨の後の川の流れの音。アミ プイ・ジューハヌ ハーラヌ ミジ ゴー・ゴー ナガリトゥン (雨が強く降って川の水がごうごうと流れている)。／ ゴーナイ。海なりの音。または、大雨の後の川の流れの音。アミ プイ・ジューハヌ ハーラヌ ミジ ゴーナイ ナガリトゥン (雨が強く降って川の水がごうごうと流れている)。ピガ ゴーナイ ナイトゥ ハジ プクン (東(宜野座の方)がごうごうと鳴るので台風がくる)。

こうこうと【副】 クワーラナイ。まぶしく光り輝くさま。デントー クワーラナイシ ミーピカラハン（電灯が煌々としてまばゆい）。ティーダ クワーラナイ スン（太陽がぎらぎらしている）。クース ティントーヤ プシヌ クワーラナイ イジトゥン（今日の空は星がきらきらでている）。きらきら。ぴかぴか。耿々と。ぎらぎら。

ごくごく【副】 ガブガブ。水や酒などを勢いよくたくさん飲むさま。サキジョーグヤ ガブガブ ヌムン（上戸はごくごく飲む）。／ ガブナイ。水や酒などを勢いよくたくさん飲むさま。サキジョーグヤ ガブナイ ヌムン（上戸はごくごく飲む）。➡がぶがぶ。

ごくっとのむ【動】 ガブミカスン。水や酒などを一気に飲む。ガブミカチ スケインティヌムン（ごくっと一度に飲む）。

こけこっこう【副】 キッキリッキー。矮鶲（ちやば）の鳴き声。チャーマガ キッキリッキー ナクトゥ ユー アキサ（矮鶲がコケコッコーと鳴くから夜が明けるよ）。／ クックルーウー。おんどりが夜明け前に鳴く鳴き声。クックルーウーチ ウードウイガナクン（こけこっこうとおんどりが鳴く）。イチバンドウイ（一番鳥）、ニバンドウイ（二番鳥）、サンバンドウイ（三番鳥）の鳴き声。／ ケーケー。めんどりの鳴き声。ケーケー ナクスガ パウ イッチュンテー（こけこっこうと鳴いているがハブが入っているだろう）。／ ケッケレーケー。めんどりの鳴き声。ケッケレーケー ナクスガ パウ イッチュンテー（こけこっこうと鳴いているがハブが入っているだろう）。／ コーコーコー。雌鳥が雛を呼ぶときの鳴き声。／ コケーコッコー。鶏の鳴き声。アリ、コケーコッコー ナクンドー（ほら、こけこっこうと鳴いているよ）。／ コテーコッコ。雌鳥が卵をうんだときの鳴き声。

ごしごし【副】 シリシリ。(1)大根やにんじんなどを千切りのように細くおろすさま。クーヤ デークニ シリシリシ オカズ スコティ カムン（今日は大根をごしごしおろしておかずを作つて食べる）。(2)すつたりこすつたりしてものを軽くこすりあわせるさま。ミー シリシリ シーン（目をごしごし擦る）。ミーシリシリのように一語にもいう。(3)足などを擦るようにして移動したり、引きずつたりするさま。➡ずるずる。

ごちゃごちゃ【副】 グワサグワサ。ものが雑多に入り混じつて整理されていないさま。パクニ グワサグワサ イッチュス イジャセー（箱にごちゃごちゃ入つてゐるのを出せ）。／ グワナナイ。ものが雑多に入り混じつて整理されていないさま。オシレヌ ナハラ イジャチ グワサナイ スン（押入れの中から出してごちゃごちゃしている）。➡がやがや。どやどや。うようよ。うじゅうじゅ。わんさと。どっさり。

こちよこちよ【副】 グチュグチュ。人をくすぐる時にいう語。ワーキンチャ グチュグチュスン（腋の下をこちよこちよする／こちよこちよくすぐる）。

こっくりこっくり【副】 ウンブイウンブイ。居眠りなどのさま。アギジャビヨー、チブル ウンブイウンブイ スン（あらまあ、頭をこっくりこっくりしている）。ウンブイウン

ブイ プニ フーグン (こっくりこっくり居眠りをする)。➡ふらふら。／ ウンブイ コーブイ。首を前後左右に曲げるさま。居眠りなどのさま。ウンブイウンブイともいう。イッチュティ ウンブイコーブイ プニ フーグン (座ったままこっくりこっくりと船をこいでいる)。

こっこ 【副】 クックー。親鶏がひなを呼びよせる声。ウヤドウイガ クックーシー クワー ユウン (親鶏がこっこひなを呼ぶ)。

ごつんごつん 【副】 ゴンゴン。硬いもの同士が打ち当たるときの音。また、そのさま。クサミチ ツクエ ゴンゴン ウッチュン (腹を立てて机をごつんごつん打つ)。／ ゴンナイ。硬いもの同士が打ち当たるときの音。また、そのさま。クサミチ ボーチ ゴンナイ スグイン (腹を立てて棒でごつんごつん殴る)。

ごつんとたたく 【動】 ゴンミカスン。ボーチ チブル ゴンミカスン (棒で頭をごつんと叩く)。

ごとごと 【副】 ガサガサ。物のふれ合う音。がさがさ。ねずみが物を引く時の音など。ユナガトウ エンチュガ ガサガサ スン (一晩中ネズミががさがさする)。➡ずるずる。ぎこぎこ。ぎしぎし。ぎちぎち。ざらざら。がさがさ。さっさと。

ごほごほ 【副】 オホオホ。つづけて大きく咳をする音。ごほんごほん。こんこん。オホオホ サックインカ スースガ アンマサル アインナ (ごほんごほん咳ばかりしているが具合でもわるいのか)。

ごほんごほん 【副】 オホオホ。つづけて大きく咳をする音。ごほんごほん。こんこん。オホオホ サックインカ スースガ アンマサル アインナ (ごほんごほん咳ばかりしているが具合でもわるいのか)。／ ゴホンゴホン。咳の声。アマサガ アイラ サックイゴホンゴホン スン (調子が悪いのか咳をごほんごほんとする)。

ごほんとする 【動】 オホミカスン。ごほんと大きく咳をする。

こまごまと 【副】 クマグマ。詳細に。ワッタ マーガヤ ガッコース クトゥー クマグマ パナシー スン (うちの孫は学校のことをこまごまと話をする)。

ころころ 【副】 コロコロ。ボールなどが転がるさま。ボールヌ コロコロ マーイン (ボールがころころ回る)。／ コーロナイ。ボールなどが転がるさま。ボールヌ コーロナイ マーイン (ボールがころころ転がる)。

ごろごろ 【副】 ガーラガラ。(1)雷の鳴る音。ハンナミー ガーラガラ ナイトゥ アミ プイサ (雷がごろごろ鳴っているから雨が降るよ)。(2)重いものがころがり動く音。ニーバサー アッカシネー ガーラガラ ナイン (荷馬車を進めるとごろごろ鳴る)。／ ガーラナイ。(1)雷の鳴る音。ハンナミー ガーラナイ ナイトゥ アミ プイサ (雷がごろごろ鳴っているから雨が降るよ)。(2)重いものがころがり動く音。／ グルグル。物の回転するさま。ぐるぐる。バスヌ ヒヤーガガ グルグル マーイン (バスの車輪が

ぐるぐる回る)。→ぐるぐる。きょろきょろ。ぱっちり。／ クワーラナイ。雷の鳴る音。ハンナミ クワーラナイ シー ナイン (雷がごろごろと鳴っている)。／ クワラクワラ。雷の鳴る音。ハンナミー クワラクワラ ナイン (雷がごろごろ鳴っている)。／ グワラグワラ。雷の鳴る音。ハンナミヌ グワラグワラ ナティ タマス ヌギタン (雷がごろごろ鳴って腰をぬかした)。グワーラグワーラとも言う。／ グワラナイ。雷の鳴る音。ハンナミヌ グワラナイ ナティ タマス ヌギタン (雷がごろごろ鳴って腰をぬかした)。グワーラナイとも言う。／ ゴロゴロ。(1)腹の調子が悪いさま。ウムー カダトウ ワタ ゴロゴロスン (芋を食べたからおなかがごろごろする)。シーダトウス カディ ワター ゴロゴロシ ワタヤンビ スン (籠えたものを食べて腹がごろごろと腹痛がする)。ムヌ クエージョーホヌ ワター ゴロゴロ スン (飯を食いすぎたのか腹がごろごろ鳴る)。→ぐうぐう。(2)物が転がる音。ゴール ゴロゴロー マーシー (輪をごろごろ回せ)。ゴロゴロ ミグイジャーハン (ごろごろよく回せる)。／ ゴロナイ。(1)腹の調子が悪いさま。ワタヌ ゴロナイ ナイタン (腹がごろごろ鳴った)。→ぐうぐう。(2)物が転がる音。ゴール ゴロナイ マーシー (輪をごろごろ回せ)。

ころつところがる【動】 コロミカスン。ポールヌ スケイ コロミカスン (ボールが一度ころつと転がる)。

ごろっとなる【動】 ガーラミカスン。雷がごろっと鳴る。ハンナミー ガーラミカストウ アミ プイサ (雷がごろごろ鳴っているから雨が降るよ)。

ごわごわ【副】 ピッパイカッパイ。糊などがかたくくっついて離れないさま。ヌーイン シキジャーハヌ ピッパイカッパイ タックワティ アカハラン (糊もつけすぎてごわごわにくっついて引き剥がせない)。パナ ヌグタトウ スディニ シカティ ピッパイカッパイ ナトゥン (漬を拭ったら袖について、ごわごわになっている)。ヌーイ タックワーチャトウ ピッパイカッパイシー ノーシゴロホン (糊をつけたので、ごわごわになって直しにくい)。

こんこん【副】 オホオホ。つづけて大きく咳をする音。オホオホ サックインカ スースガ アンマサル アインナ (ごほんごほん咳ばかりしているが、具合でもわるいのか)。→ごほんごほん。ごほごほ。／ グタグタ。よく眠るさま。グタグタ ニントウヌ チューヤ ムヌウトゥー ワカラン (こんこん寝ている人は物音を気がつかない)。→ぐうぐう。ぐつぐつ。ぐしょぐしょ。ぐっしょり。／ グタナイ。よく眠るさま。グタナイ ニントウヌ チューヤ ムヌウトゥー ワカラン (ぐうぐう寝ている人は物音を気がつかない)。→ぐうぐう。ぐしょぐしょ。ぐっしょり。／ コンコン。つづけて咳をするさま。サックイ コンコンスン (咳をこんこんする)。→ぐうぐう。／ コンナイ。(1)つづけて咳をするさま。(2)ぐうぐう。いびきをかくさま。

こんとせきをする【動】 コンミカスン。コンミカスースガ ヌディ カシマラハル アイ

ンナー（こんと咳をしているが喉がおかしいのか）。

ざあざあ【副】 グワーラナイ。水が勢いよく流れるさま。じゃあじゃあ。スイドース ミジ グワーラナイ パラハングトゥ ピシク パラシェー（水道の水をざあざあ流さずに細く流せ）。／ クワンナイ。水がはげしく流れるさま。ミジヌ クワンナイ ナガリン（水がごうごう流れる）。➡ごうごう。ぐつぐつ。ぐらぐら。／ グワンナイ。水がはげしく流れるさま。ウプアミー プティ ハーラヌ ミジ グワンナイ ナガリン（大雨が降って川の水がざあざあ流れる）。➡ごうごう。どんどん。があんがあん。ぐんぐんと。／ サーラサーラ。水などがよどみく流れるさま。ミジヌ サーラサーラ ナガリトゥン（水がざあざあ流れている）。➡じゃあじゃあ。／ サーラナイ。(1)水が勢いよく流れるさま。ミジ サーラナイ パイン（水がざあざあ流れる）。ハーラヌ ミジガサーラナイ ナガリン（川の水がさらさらと流れる）。➡じゃあじゃあ。(2)雨が激しく降るさま。ウプアミー サーラナイ プイン（大雨がざあざあ降っている）。➡すいすい。さらさら。すらすら。ぱらぱら。／ ソーソー。水が勢いよく流れるさま。ミジヌ ソーソー ナガリン（水がざあざあ流れる）。➡だくだく。ぼろぼろ。／ ソーナイ。水が勢いよく流れるさま。スイドース ミジ ソーナイ パラスン（水道の水をざあざあ流す）。➡ずるずる。だらだら。／ ソーロナイ。よどみなく流れるさま。じゃあじゃあ。さらさら。アミ プティ ハーラヌ ミジ ソーロナイ ナガリン（雨が降って川の水がさらさら流れる）。ミジ ピチピチ サンゴト ソーロナイ イジャシェー（水をちょびちょび出さずにじゃあじゃあ出せ）。➡するする。すらすら。／ パーラナイ。雨などがばらばらと降るさま。アギジャビヨー ウッピヌ アミー パーラナイ プトゥン（あらまあ大きな雨がざあざあ降っている）。／ パラパラ。雨が激しく降るさま。マギアミー パラパラ プトゥン（大雨がざあざあ降っている）。／ ワーナイ。水が勢い良く流れるさま。タキヌ ミジガ ワーナイ ナガリン（滝の水がざあざあ流れる）。アミブイジョーホヌ ハーラヌ ミジ ワーナイ ナガリン（土砂降りで川の水がどんどん流れる）。➡どんどん。じゃんじゃん。がんがん。びゅうびゅう。

さくさく【副】 スタスタ。適切な固さのものをつづけて切るさま。デークニ スタスタ キーン（大根をさくさく切る）。／ スタナイ。適切な固さのものをつづけて切るさま。デークニ スタナイ キーン（大根をさくさく切る）。／ ホロホロ。一塊のものが乾燥し容易に崩れたり碎けたりしやすいさま。マース パタキヤ ホロホロシー ウチヤッセン（その畑はさくさくして耕しやすい）。ムルサー ホロホロシー ワックイヤッセン（土塊がさくさくと潰れやすい）。➡ぼろぼろ。／ ホロナイ。一塊のものが乾燥し容易に崩れたり碎けたりしやすいさま。➡ぼろぼろ。

ぎくぎく【副】 グスグス。野菜など、物を切るさま。ポーチャチ タマナ グスグス キーン（包丁でキャベツをぎくぎく切る）。タマナ キーネヤ グスグス スン（キャ

ベツを切るときざくざく音がする)。／ グスナイ。ザクザク。野菜など、物をつづけて切るさま。ポーチャチ タマナ グスナイ キーン (包丁でキャベツをざくざく切る)。さくっと【副】 スタマカチ。適切な固さのものを一気に切るさま。デークニ スタマカチ キーン (大根をさくっと切る)。

ざくっときる【動】 グスミカスン。野菜など、物を一気に切るさま。ポーチャチ タマナ グスミカチ ターチングタイ キーン (包丁でキャベツをざくっと二つに切る)。

さっさと【副】 ガサガサ。さっさと。ぐずぐずしないで。せきたてるとき用いる。ガサガサ アッケー (さっさと歩け)。➡ごとごと。がさがさ。ずるずる。ぎこぎこ。ぎしきし。ぎちぎち。ざらざら。がさがさ。／ ガサナイ。ものごとや動作を手早くおこなうさま。ぐずぐずしないで。せきたてるとき用いる。ガサナイ アッケー (さっさと歩け) ガサナイ シェーワ (さっさとしなさい)。ムタムタ ハタジキラングトゥ ガサナイ シジミレー (もたもた片付けないでさっさと片付けろ)。➡ぎこぎこ。ぎしきし。ぎちぎち。／ ガシガシ。ものごとや動作を手早くおこなうさま。手早く。ガシガシ アッケー (さっさと歩け)。ガシガシ ハク サーニ (さっさとしないか)。ガシガシ セー (さっさとやれ)。➡ざらざら。

さらさら【副】 サーラナイ。(1)水が勢いよく流れるさま。また、雨が激しく降るさま。ざあざあ。じゃあじゃあ。ハーラヌ ミジガ サーラナイ ナガリン (川の水がさらさらと流れる)。ミジ サーラナイ パイン (水がざあざあ流れる)。ウプアミー サーラナイ プイン (大雨がざあざあ降っている)。➡ざあざあ。じゃあじゃあ。(2)ことばや文字などがよどみなくでてくるさま。アリヤ ワカイジャーハヌ サーラナイ ピントースン (あいつはよく分かるので、すらすら返答する)。➡すいすい。さらさら。すらすら。ぱらぱら。すいすい。ぱらぱら。／ サラサラ。ことばや文字などがよどみなくでてくるさま。➡すらすら。／ ソーロソーロ。よどみなく流れるさま。ミジヌ ソーロソーロ ナガリン (水がさらさら流れる)。➡するする。すらすら。／ ソーロナイ。よどみなく流れるさま。ざあざあ。じゃあじゃあ。アミ プティ ハーラヌ ミジ ソーロナイ ナガリン (雨が降って川の水がさらさら流れる)。ミジ ピチピチ サンゴトソーロナイ イジャシェー (水をちょびちょび出さずにじゃあじゃあ出せ)。➡するする。すらすら。

ざらざら【副】 ガサガサ。口ざわりの悪いさま。食物に砂がはいった時などに云う。クチヌ ナハンティ シナ ガサガサ スン (口の中で砂がざらざらする)。ニリガ イッチガサガサ パーニ アタティ カマラン (砂が入ってざらざらと歯にあたって食べられない)。➡ごとごと。がさがさ。ずるずる。ぎこぎこ。ぎしきし。ぎちぎち。がさがさ。さっさと。／ ガシガシ。口ざわりの悪いさま。食物に砂がはいった時などに云う。ヌイヤ アライワッサガ アイタラ ガシガシスン (ふのりは洗い方が悪かったのか、

ざらざらする)。➡さっさと。

ざわざわ【副】ダクダク。期待、不安、恐怖のためにおちつかないさま。どきどき。

ドゥース バン ミグティ チュートゥ ミニ ダクダク スン (自分の出番が回ってくるので、胸がどきどきする)。シワグトゥ アイネ シワシ ミニ ダクダク スン (心配事があると、心配で胸がざわざわする)。➡むかむか。／ ワサナイ。大勢で騒がしいさま。がやがや。ワライタガ ドゥク ワサナイ サワジュトゥ ニンバラン (子ども達があまりにざわざ騒いでいるので眠れない)。／ ワサワサ。大勢で騒がしいさま。ワライタガ ワサワサ サワジ ニンバラン (子供たちががやがや騒いで眠れない)。➡がやがや。➡そわそわ。

さんざん【副】サンジャンクンジャン。こまかくばらばらになるさま。ばらばら。めちゃくちゃ。ワライヌ カビ サンジャンクンジャン ヤイン (子どもが紙をさんざんにやぶる)。ヤーンチュガ ドーグ サンジャンクンジャン チラカチエン (家族が道具をさんざんに散らかしてある)。

さんざんに【副】サンジャン。ひどく。チャーチャニ サンジャン ヌララッタン (父にひどくおこられた)。サンジャン フルハッタン (さんざんになぐられた)。

じいじい【副】ジージー。クロイワニイニイの鳴き声。

じいわじいわ【副】ジーワジーワ。クロイワツクツクの鳴き声。

しくしく【副】シクシク。声をあげずにすすりあげて泣くさま。アンマーガ ケーティ カントゥ クワース シクシク ナクン (お母さんが帰ってこないので、子どもがしくしく泣く)。／ シクナイ。声をあげずにすすりあげて泣くさま。ウヌ クワーヤ ヤハガ アイラ シクナイ ナクン (その子は腹がすいているのか、しくしく泣く)。

じたばた【副】パッタラゲー。人や生き物がある状態から逃れようと体や手足などを動かしてもがくさま。ばたばた。イキユース パッタラゲーシ ハシミララン (生魚がばたばたして捕まえられない)。ウヌ チューヤ パッタラゲー スースガ ヌー エガヤー (その人はばたばたしているが、何だろうか)。

しとしと【副】チヤチヤ。小雨が降りつづくさま。アミー チヤチヤ プトゥン (雨がしとしと降る)。／ チヤナイ。小雨が降りつづくさま。チヤチヤを多く使う。／ チラチラ。小雨が降りつづくさま。アミー チラチラ プイトゥ ヤマニ イカラ (雨がしとしと降るので、山に行けない)。／ チラナイ。小雨が降りつづくさま。チラチラを多く使う。

じとじと【副】シプシプ。ぬれて湿っているさま。アシー パティ キヌー シプシプシケーリワル エル (汗をかいて服がじめじめして替えなければいけない)。／ シプナイ。ぬれて湿っているさま。アシー パティ キヌー シプナイ ディートゥン (汗をかいて服がじとじとになっている)。➡じめじめ。

しなしな【副】 ビタビタ。木や竹などの弾力があるさま。人については言わない。ウヌ キーヤ ビタビタシ グサニ ナラン (その木はしなしなして杖にできない)。ウマヌ パシヤ ビタビタ ウグクトゥ ワタイネ ウトウラハン (その橋はしなしなと揺れるから、渡ると怖い)。／ ビタナイ。木や竹などの弾力があるさま。人については言わない。→ふわふわ。

しなっと【副】 ピチピチ。木製のものに力が加わり、たわんだりきしんだりするさま。ニーガ ウボホヌ ボーガ ピチピチ タマトゥン (荷が重くて、棒がしなっとたわんでいる)。ネー ユティ ヤーガ ピチピチシ ウグクン (地震で家がみしみしうごく)。→みしみし。

じめじめ【副】 ジタジタ。水を含んでひどく濡れているさま。道などのぬかるんでいるさま。アミー プティ ミチ ジタジタシ アッキゴロホン (雨が降って道がべちゃべちゃと歩きにくい)。／ シプシップ。ぬれて湿っているさま。アシー パティ キヌーシプシプシ ケーリワル エル (汗をかいて服がじめじめして替えなければいけない)。／ シブナイ。ぬれて湿っているさま。アシー パティ キヌー シブナイ ディートゥン (汗をかいて服がじとじとに濡れている)。／ ジャカジャカ。水を含んでひどく濡れているさま。道などのぬかるんでいるさま。→べちゃべちゃ。じとじと。

しゃあしゃあ【副】 サーサー。クマゼミの鳴く声。また、そのさま。アーサンサガ サーサー ナクン (クマゼミがしゃあしゃあ鳴く)。／ サーナイ。クマゼミの鳴く声。また、そのさま。アーサンサガ サーナイ ナクン (クマゼミがしゃあしゃあ鳴く)。／ サンサン。クマゼミの鳴く声。また、そのさま。ナチヤ アーサンサガ サンサン ナクン (夏はクマゼミがしゃあしゃあ鳴く)。

じゃあじゃあ【副】 グワーラナイ。水が勢いよく流れるさま。ざあざあ。スイドース ミジ グワーラナイ パラハングトゥ ピシク パラシェー (水道の水をじゃあじゃあ流さずに細く流せ)。／ サーラサーラ。水などがよどみく流れるさま。ミジヌ サーラサーラ ナガリトゥン (水がじゃあじゃあ流れている)。→ざあざあ。／ サーラナイ。水が勢いよく流れるさま。また、雨が激しく降るさま。ミジ サーラナイ パイン (水がざあざあ流れる)。ハーラス ミジガ サーラナイ ナガリン (川の水がさらさらと流れる)。ウプアミー サーラナイ プイン (大雨がざあざあ降っている)。→すいすい。さらさら。すらすら。ぱらぱら。／ ソーロナイ。よどみなく流れるさま。さらさら。ざあざあ。アミ プティ ハーラス ミジ ソーロナイ ナガリン (雨が降って川の水がさらさら流れる)。ミジ ピチピチ サンゴト ソーロナイ イジャシェー (水をちょびちょび出さずにじゃあじゃあ出せ)。→するする。すらすら。／ チャーラナイ。油で炒めたり揚げたりするさま。チャーラナイ イリチ カメー (じゃあじゃあ炒めて食べろ)。ティンプラ チャーラナイ ヤチ カムン (天ぷらをじゃあじゃあ揚げて食べる)。

→じゅうじゅう。／ チャラチャラ。油で炒めたり揚げたりするさま。じゅうじゅう。
チャラチャラ イリチ カメー (じゃあじゃあと炒めて食べろ)。

じゃんじゃん【副】 バンナイ。勢い良く連續して行うさま。どんどん。バケツチ ミジ
バンナイ ハヤシュー (バケツで水をじゃんじゃん運べ)。／ ブーナイ。勢い良く連續
して行われるさま。どんどん。がんがん。イシ ブーナイ ナギン (石をじゃんじゃん
投げる)。／ ワーナイ。勢い良く連續して行われるさま。どんどん。がんがん。バケツ
チ ミジ ワーナイ ハヤスン (バケツで水をじゃんじゃん運ぶ)。サンシン ワーナイ
ナラスン (三味線をじゃんじゃん鳴らす)。イシ ワーナイ ナギン (石をじゃんじゃ
ん投げる)。→ざあざあ。どんどん。びゅうびゅう。

じゅうじゅう【副】 チャーラナイ。油で炒めたり揚げたりするさま。チャーラナイ イリ
チ カメー (じゅうじゅうと炒めて食べろ)。ティンプラ チャーラナイ ヤチ カム
ン (天ぷらをじゃあじゃあ揚げて食べる)。／ チャラチャラ。油で炒めたり揚げたりす
るさま。じゅうじゅう。チャラチャラ イリチ カメー (じゃあじゃあ炒めて食べろ)。
じゅくじゅく【副】 ミジャミジヤ。食物などが水気の多いさま。ハンダバジューシ サー
トウ ミジャミジヤ ナトウタン (サツマイモの葉の雑炊をしたらじゅくじゅくになっ
ていた)。

じゅくじゅくいも【名】 ミジャミジャウンム。水分が多くておいしいさつまいも。ミジャ
ミジャウンムヤ マーハン (じゅくじゅく芋はおいしい)。

しょうさいな【形】 クマグマ。詳しい。クマグマヌ パナシ (詳しい話)。

しょぼしょぼ【副】 クークー。まぶたを開くことができず、まばたいたりするさま。テレ
ビ ミージューハヌ ミー クークー ナトゥン (テレビを見すぎて目がしょぼしょぼ
になっている)。ミーチンデー イジティ ミー クークー ナトゥン (ものもらいが
できて目がしょぼしょぼになっている)。／ スースー。目がはっきりと開かないさま。
ミークスー タティ ミーヤ スースー ナトゥン (目やにがでて目はしょぼしょぼに
なっている)。→すうすう。／ ミークークー。目がしょぼしょぼで開きにくいさま。し
まりふさがっていること。ミークークーシー マーラン (目がふさがって見えない)。
ミークークーシー ミーゴロホン (目がしょぼしょぼして見えにくい)。ミークークー
ナティ ミーゴロホン (目がしょぼしょぼになって見えにくい)。

しりすぼみ【副】 クークー。ウヌ ミチヤ クークー ナティ アッキゴロホン (その道
は尻すぼみになって歩きにくい)。

しわくちゃ【副】 マグイピーグイ。しわだらけのさま。ウヌ キヌヤ マグイピーグイシ
キララン (その着物はしわくちゃで着られない)。トウスイヌ チラヤ マグイピーグ
イシ マーラン (年寄りの顔はしわくちゃで見られない)。

じんじん【副】 ジージー。病気や怪我などで患部が痛むさま。ジージーシ ハタチブル

ヤムン（じんじんと偏頭痛がする）。／ ジーナイ。病気や怪我などで患部が痛むさま。ティー ジーナイシ ヤムン（手がじんじんと痛む）。チブル ジーナイ ヤムン（頭がじんじん痛む）。／ ジンジン。患部が絶え間なく痛むさま。（頭などを強打して）目から火が出ること。チブル ウッチ、ミージンジン スン（頭を打ってじんじんする）。ミージンジンのように一語のようにもいう。

すいすい【副】 サーラナイ。滞りなくすんでいくさま。コーソクドーロンティヤ クルマヌ サーラナイ パトゥン（高速道路では車がすいすい流れている）。→ざあざあ。じゃあじゃあ。さらさら。すらすら。ぱらぱら。

すうすう【副】 スースー。すきまなどから風が入るさま。ダーラガラ ハジヌ スースーイッチ ピーハン（どこからか風がひゅうひゅう入って寒い）。→ひゅうひゅう。しょぼしょぼ。

ずうずう【副】 クンクン。鼻がつまつたさま。パナー チマティ クンクン スン（鼻が詰まってずうずうする）。

すかすか【副】 ガーガー。すき間の多いさま。キャク イキラハヌ イース パラガガーガー アチュン（客が少なくて座るところがすかすかに空いている）。→がらん。がらんどう。ぼっかり。／ ミーガーガー。穴だらけに。節穴などが多く、あるいは大きく空いているさま。ウヌ イタヤ プシダカラ エトゥ ミーガーガー ナトゥン。ケーレー（その板は節穴だらけで穴だらけになっている。替えろ）。

ずきずき【副】 ピシピシ。脈打つように痛むさま。パース ピシピシ ヤムン（歯がずきずき痛む）。／ ピシナイ。脈打つように痛むさま。パース ピシナイ ヤムン（歯がずきずき痛む）。→ひしひし。びしひし。びしひし。ひりひり。ぴくぴく。

ずきずきいたみ【名】 ピシピシヤミー。脈打つような痛み。ティース ピシピシヤミースン（手がずきずき痛みする）。

すたすた【副】 ゴンゴン。滞りなく、勢いよく足早に進むさま。健脚のさま。どんどん。とことこ。ゴンゴン アックン（すたすた歩く）。ゴンゴン ウーイン（どんどん追いかける）。タンカー ウワティ ゴンゴン アックン（1才になってとことこ歩く）。／ ゴンナイ。滞りなく、勢いよく足早に進むさま。健脚のさま。ゴンナイ アックン（すたすた歩く）。ゴンナイ ウーイン（すたすた追いかける）。→どんどん。とことこ。

すらすら【副】 サーラナイ。ことばや文字などがよどみなくでてくるさま。アリヤ ワカ イジヤーハヌ サーラナイ ピントースン（あいつはよく分かるので、すらすら返答する）。→さらさら。ざあざあ。じゃあじゃあ。すいすい。ぱらぱら。／ サラサラ。ことばや文字などがよどみなくでてくるさま。／ ソーロソーロ。ことばや文字などがなめらかにでてくるさま。アンチ パナシヌ ソーロソーロ イジティ クン ムヌヤー（よく、そう話がすらすらと出て来るものだねえ）。→さらさら。するする。／ ソーロ

ナイ。ことばがなめらかにでてくるさま。アリガ パナシ シーワカラヤ パナシヌ ソーロナイ イジン (あいつが話をしたら話がすらすら出てくる)。➡さらさら。ざあざあ。じゃあじゃあ。するする。

するする【副】 スルスル。なめらかにすべり動くさま。イーチュヌ スルスル パンディン (糸がするするはざれる)。➡つるつる。によろによろ。／ ソーロソーロ。なめらかに移動、進行するさま。パウヌ ソーロソーロ ピニギティ イクン (蛇がするする逃げて行く)。／ ソーロナイ。するする。なめらかに移動、進行するさま。パウヌ ソーロナイ アックン (蛇がするする這いあるく)。➡さらさら。ざあざあ。じゃあじゃあ。すらすら。

ずるずる【副】 ガサガサ。ものをひきずる音。また、そのさま。ニー ガサガサ スンカンケー (荷物をずるずるひきずるな)。➡ごとごと。がさがさ。ぎこぎこ。ぎしきし。ぎちぎち。ざらざら。がさがさ。さっさと。／ シリシリ。足などを擦るようにして移動したり、引きずったりするさま。マニ シリシリ シー アックン (お尻をずるずる引きずって歩く)。ピサ シリシリ シー アックン (足をずるずるひきずって歩く)。ピサシリシリのように一語にもいう。➡ごしごし。／ ソーナイ。液体のたれるさま。だらだら。パナダイ ソーナイ パイン (涙がずるずる流れる)。➡ざあざあ。／ ピーピー。風邪をひいたときなどの涙の鳴る音。パナ ピーピー スースガ カジェル ヒチュンナ (涙がずるずるしているが風邪をひいたのか)。イヤー パナ ピーピースースガ、アンマサル アインナ (君は涙がずるずるしているが、具合悪いのか)。アヌチュー パナ ピーピースートゥ アリガ パラニヤ ウランケ (あの人涙をずるずるしているので、彼のそばにはいるな)。

ぜえぜえ【副】 グスグス。喘息などで咳こむさま。ブミキ グスグス スン (喘息でぜえぜえする)。

ぞろぞろ【副】 ホロナイ。人や生き物がうろつくさま。トービーラーガ ホロナイ イジタクン (ゴキブリがぞろぞろでている)。トービーラーガ ホロナイシー ムヌー カマラン (ゴキブリがぞろぞろして食事ができない)。／ ホロホロ。人や生き物がうろつくさま。トービーラーガ ホロホロ イジタクン (ゴキブリがぞろぞろでている)。トービーラーガ ナイス パタナガシ ホロホロ アックン (ごきぶりが鍋の脇をうろちょろあるく)。➡うろうろ。うろちょろ。

そわそわ【副】 ウカウカ。行動をおこす時に注意の足りないさま。うっかりしているようす。ウカウカ ウンテン シーネ アブナハトゥ キー シキティ ムッテー (そわそわ運転したら危ないから、気をつけて持て)。➡うかうか。うっかり。／ サーサー。<慣用句>キム サーサー (気持ちがそわそわ)。キム サーサーシ ワサミクン (気持ちがそわそわしていらっしゃる)。キム サーサーシ イチソウ タッソウ ウララン (気持ちがそわそわしていらっしゃる)。

ちがそわそわして居ても立ってもいられない)。／ サンサン。気になることなどがあつて落ち着きのないさま。ウヌ クワーヤ サンサン シー ウティシキ ネーン (その子はそわそわして落ち着きがない)。サンサン シー マッチュン (そわそわして待っている)。／ ワサワサ。気になることがあり、気持ちや動作の落ち着かないさま。胸さわぎするさま。キム ワサワサシー ドゥース バン マッチュン (気持ちがそわそわと自分の番を待っている)。シワグトゥヌ アイヌ バーヤ キムー ワサワサシ ウティシカン (心配のあるときは気持ちがそわそわして落ち着かない)。マーガガ ケティカントゥ シワシ ミニ ワサワサシ ウティシカン (孫が帰ってこないので心配で胸がざわざわして落ち着かない)。キム (心、気持ち) やミニ (胸) と組合わさって、キムワサワサ、ミニワサワサと一語のようにいう。➔がやがや。ざわざわ。

だくだく【副】 ソーソー。汗や涙などがさかんに流れるさま。アシヌ ソーソー パイン (汗がだくだく流れる)。ウヌ パナシヤ ナチカハヌ ナダー ソーソー パイン (その話は悲しくて涙がぽろぽろ出る)。➔ぽろぽろ。ざあざあ。

たっぷりと【副】 プガブガトゥ。量的に十分なさま。容器にたっぷりといれたさま。メーマカイニ プガブガトゥ イリレー (飯碗にたっぷりと入れろ)。ユフルヌ ミジ プガブガトゥ イリレー (風呂の水をたっぷり入れろ)。／ プガナイ。量的に十分なさま。容器にたっぷりといれたさま。ユフルヌ ミジ プガナイ イリレー (風呂の水をたっぷり入れろ)。➔なみなみと。

たぷたぶ【副】 コットンコットン。たくさんの水が容器の中で揺れ動くさま。また、その音。ウーキヌ ミジガ コットンコットン ナイン (桶の水がたぷたぶ鳴る)。／ ボンボン。液体が容器などに多量にあるさま。水などが満ちあふれているさま。シルヌ ミーヤ ネース ボンボンシ マークネン (汁の具はなくてだぶだぶしておいしくない)。ナーシルヌ ミジ ボンボン スン (苗代の水がたぷたぶ満ちあふれている)。チャ一 ヌミジユーハヌ ワタ ボンボン スン (茶を飲みすぎて腹がたぷたぶしている)。／ ユッタイクワッタイ。池や容器などのたくさんの水が揺れ動くさま。ウーキヌ ミジヌ ユッタイクワッタイシ ハヤハラン (桶の水がたぷたぶして運搬できない)。➔だぶだぶ。

だぶだぶ【副】 ジェージェー。水気が多すぎるさま。ウヌ オカズヤ シル ジェージェー シ マークネン (そのおかげは汁がだぶだぶしておいしくない)。➔べちゃべちゃ。だらだら。／ ダブダブ。大すぎる着物やたくさんの着物を着た時のさま。トゥシー トゥティ キヌヤ ブル ダブダブ ナティ キララン (年をとって服は全部だぶだぶになって着られない)。➔ぶかぶか。がばがば。／ ダブナイ。大すぎる着物やたくさんの着物を着た時のさま。ウヌ キヌヤ ダブナイ ナティ キープサクネン (その服はだぶだぶになって着たくない)。／ ボンボン。液体が容器などに多量にあるさま。水など

が満ちあふれているさま。シルヌ ミーヤ ネース ボンボンシ マークネン (汁の具はなくてだぶだぶしておいしくない)。ナーシルヌ ミジ ボンボン スン (苗代の水が満ちあふれている)。チャー ヌミジユーハヌ ワタ ボンボン スン (茶を飲みすぎて腹がだぶだぶしている)。➡たぶたぶ。／ ワブワブ。大すぎる着物やたくさんの着物を着た時のさま。ウヌ キヌヤ ワブワブ スン (この着物はだぶだぶする)。➡ぶかぶか。がばがば。

たぶんとゆれる【動】 コットンミカスン。たくさんの水が容器の中で揺れ動く。

たらたら【副】 タラタラ。(1)粘り気のある液体が連續してしたたるさま。ユダイ タラタラ イジトウ ユダイ パキハキタン (よだれがたらたらと出るのでよだれを吐きかける)。アンダー タラタラ タラスン (油をたらたらと垂らす)。(2)あくびや不平などを続けるさま。／ タラナイ。粘り気のある液体が連續してしたたるさま。アンダー タラナイ パラスン (油をたらたらと流す)。ロースクヌ アンダー タラナイ タリトゥン (ろうそくの油がたらたらと垂れている)。

だらだら【副】 グエンナイ。よだれや汗などが垂れながれるさま。アシー グエンナイ パイン (汗がだらだらと流れでる)。➡びしょびしょ。どろどろ。／ ゴロゴロ。これといったことをせず、怠けていたり、体を横たえたりするさま。シグトゥン サン ヤンティ ゴロゴロ テレビンカ ムン (仕事をしないで家でごろごろテレビばかり見る)。／ ジエージェー。よだれや汗などが垂れながれるさま。ウリヤ ユダイ ジエージェー タリトゥン (そいつはよだれがだらだらと垂れている)。アシヌ ジエージェー パイン (汗がだらだら流れる)。➡べちゃべちゃ。だぶだぶ。／ ジエーナイ。よだれや汗などが垂れながれるさま。ウリヤ ユダイ ジエーナイ タイン (そいつはよだれがだらだらと垂れる)。／ ソーナイ。液体のたれるさま。ずるずる。パナダイ ソーナイ パイン (涙がだらだら流れる)。➡ざあざあ。／ ダーラクワーラ。ものごとのきりをつけず、しまりなく続けるさま。シグトゥ ダーラクワーラ サングトゥ ガサナイシェー (仕事をだらだらとしないで、さっさとしろ)。／ ダーラクワッタイ。ものごとのきりをつけず、しまりなく続けるさま。ダーラクワッタイ サングトゥ ハクシェー (だらだらしないで、さっさとしろ)。／ ダラダラ。(1)液体がだらだら続いて流れるさま。アシヌ ダラダラ ナガリン (汗がだらだら流れる)。チース ダラダラースガ ヤマシル サンナー (血がだらだらしているが、怪我したのか)。(2)ものごとのきりがつかずに続くさま。クーマディヌ ヒガリ エトゥ ダラダラ サングトゥ パラレー (今日までの日限だから、だらだらしないで払え)。ヤンメーヤ チャー ダラダラシ ノーラン (病気はずっとだらだらして治らない)。アリニ シミネヤ ダラダラストゥ アリニヤ シミララン (彼にさせるとだらだらするので、彼にはさせられない)。キヌヤ ダラダラ アミヌ プイタスガ クーヤ パリトゥン (昨日はだらだら

と雨が降ったが、今日は晴れている)。(3)液体がだらだら続いて流れるさま。／ ナガダラダラ。ものごとのきりがつかずに長く続くさま。ナガダラダラシー ハク ノーラン(だらだらと早く治らない)。

ちいん【副】 ヒン。涙をかむさま。ヒン シェー(涙をかめ)。

ちかちか【副】 シカシカ。目が刺激されて断続的に痛むさま。ミンチャウ イッチャトウ シカシカシー ヤムン(目にごみが入ったので、ちかちかと痛む)。➡ちくちく。ぱちぱち。／ チカチカ。強い光が目を刺激するさま。ティダヌ チューハヌ ミー チカチカ スン(日差しが強くて目がちかちかする)。このばあい、ミーチカチカと一語のようにもいう。➡ちくちく。／ チラチラ。強い光が目を刺激するさま。ミーピカラハヌ ミー チラチラ スン(眩しくて目がちかちかする)。

ちくちく【副】 シカシカ。目が刺激されて断続的に痛むさま。ミンチャウ イッチャトウ シカシカシー ヤムン(ごみが入ったので、ちかちかと痛む)。➡ちかちか。ぱちぱち。／ チカチカ。(1)目が刺激されて断続的に痛むさま。チブル ヤムスガ ミーマディ チカチカ スン(頭が痛いが、目までちかちかする)。(2)強い光が目を刺激するさま。／ チカナイ。目が刺激されて断続的に痛むさま。チブル ヤムスガ ミーマディ チカナイ スン(頭が痛いが、目までちかちかする)。／ チクチク。つづけて刺激を感じたり、あたえたりするさま。何回も小刻みに刺すさま。針の先で何度も刺されるような痛みを感覚的にまたは心情的に感じるさま。

ちくつとする【動】 チクマカスン。刺激を感じたり、あたえたりする。

ちっちつ【副】 カッカー。ホオグロヤモリ(別名ナキヤモリ)の鳴き声。ヤーソージマヤヤ ユーアキガタニ カッカーシ ナクン(ヤモリは夜明けにちっちつと鳴く)。

ちびちび【副】 ピチピチ。お金やものを少しずつ出すさま。アヌ チューヤ イビサー ナティ ジニー ピチピチ イジャスン(あの人はけちでお金をちびちび出す)。ミジピチピチ サンゴト ソーロナイ イジャシェー(水をちびちび出さずにざあざあ出せ)。➡ちょびちょび。／ ピチャピチャ。お金やものを少しずつ出すさま。ワッタ オッカヤ クジケー ピチャピチャ トゥラスン(うちの母は小遣いをちびちび渡す)。アマヌ ヤーヤ クワッキー ピチャピチャ イジャスン(あそこの家はごちそうをちびちび出す)。➡ちょびちょび。

ちゃかちゃか【副】 チャクチャク。行儀が悪くて落ち着きがないさま。そそっかしいさま。おっちょこちょいなさま。チャクチャクンカ シー ウティシキ ネーン(ちゃかちゃかばかりして落ち着きがない)。

ちゅうちゅう【副】 チューチュー。(1)口に含んでしゃぶるさま。吸うようにしてなめるさま。トウビカ フパハヌ チューチュー スプレー(するめいかは堅いので、ちゅうちゅうしゃぶれ)。(2)ちゅうちゅう。ねずみの鳴き声。チューチュー ナクスガ ヌー

エガヤー (ちゅうちゅう鳴くが、なんだろう)。

ちゅうとなく【動】 チンミカスン。ジャコウネズミがちゅうと鳴く。チンミカチ ナクタスガ ヌー エガヤー (ちゅうと鳴いたが何だろう)。

ちよこちよこ【副】 グマガサガサ。仕事などが間隔をおいて連続し、忙しいさま。シグトウヌ ウポホヌ グマガサガサ イチユナハン (仕事が多くてちよこちよこ忙しい)。

ちょびちょび【副】 スーイスターイ。少しづつ。数量は少ないが何度も繰り返されるさま。アタラハシー スーイスターイ カマスン (もったいながってちょびちょび食べさせる)。

ステーシ スーイスターイ ジニー トゥラスン (僨約して少しづつ金を渡す)。→ちょ

びりちょびり。／ ピチピチ。お金やものを少しづつ出すさま。アヌ チューヤ イビ

サー ナティ ジニー ピチピチ イジャスン (あの人はけちでお金をちょびちょび出

す)。ミジ ピチピチ サンゴト ソーロナイ イジャシェー (水をちょびちょび出さ

ずにざあざあ出せ)。ピチャピチャともいう。→ちびちび。／ ピチャピチャ。お金やも

のを少しづつ出すさま。ワッタ オッカヤ クジケー ピチャピチャ トゥラスン (う

ちの母は小遣いをちょびちょび渡す)。アマヌ ヤーヤ クワッキー ピチャピチャ

イジャスン (あの家はごちそうをちょびちょび出す)。→ちびちび。／ ピッキリピッキ

リ。細かく。少しづつ。小さく。わずかずつ何度もするさま。いくつにも小さく切るさ

ま。こまぎれにすること。小刻み。ムチ エティン ピッキリピッキリシー カムン

(餅もちびょちょびと食べる)。ムチ エティン ピッキリピッキリ ポーチャチ キチ

カマチャン (餅でもちびょちょび包丁で切って食べさせた)。カタヌ ジニヤ ピッキ

リピッキリ ステーシ パライン (借りた金はちびょちょびやりくりして払う)。

→ちびちび。

ちょびりちょびり【副】 スーイスターイ。少しづつ。数量は少ないが何度も繰り返されるさま。アタラハシー スーイスターイ カマスン (もったいながってちょびりちょびり食べさせる)。ステーシ スーイスターイ ジニー トゥラスン (僨約してちょびりちょび

り金を渡す)。→ちょびちょび。

ちりぢりばらばら【副】 チリチリバラバラ。離散したさま。ヤーニンジュ ブル チリチ

リバラバラ ナタン (家族がみんなちりぢりばらばらになった)。→ばらばら。

ちりんちりん【副】 ケレンケレン。鈴やちいさな鉦などが連続してなる音。トープウヤガケレンケレン ナラチャクン (豆腐売りがちりんちりんと鳴らしている)。→からんからん。／ ケンケン。鉦の音。幸喜には鉦はなかった。→からんからん。

ちんちん【副】 チンチン。チンチナー (ひばり) のさえずる声。→ひいちく。

チンピー【副】 チンピー。さしばの鳴き声。チンピーディチ ナクタヌ トウイヤ ナマヤ キチマン (ちんぴいと鳴いた鳥は近頃は来ない)。

つるっとすべる【動】 スタマカスン。ナンブラハヌ スタマカチ ドゥゲリタン (すべっ

こくてつるっと滑って転んだ)。／ スッタミカスン。ナンプラハヌ スッタミカチ アパケーリタン (すべっこくてつるっと滑ってひっくり返った)。

つるつる【副】スルスル。物がなめらかにすべるさま。ローソク ヌイネ ヤードゥ スルスル アキジャーハタン (ろうそくを塗ると戸がつるつると開けやすかった)。スルスルシ ナンプラハン (つるつるとなめらかだ)。スルスルシ シンディリン (つるつるとする)。➡するする。によろによろ。／ ツルツル。なめらかなさま。チブルヌ パギティ ツルツル ピカトゥン (頭が禿げてつるつるにひかっている)。チブルヤ ツルツルシー テンパギ ナトゥン (頭はつるつると丸禿げになっている)。ナンブテー ミ ナティ ツルツル ナトゥン (滑らかになってつるつるになっている)。

でっぷり【副】ブテブテトウ。太っているさま。ブテブテトウ クエートゥン (でっぷりと太っている)。ウヌ クワーヤ ブテブテトウ クエーティ ウジラーハン (この子はぽっちゃりと太っていてかわいい)。➡ぽっちゃり。／ ブテナイ。太っているさま。ウヌ クワーヤ ブテナイ クエーティ ウジラーハン (この子はぽっちゃりと太っていてかわいい)。➡ぽっちゃり。

どきっとする【動】ガタミカスン。アッタニ チュース チー ガタミカチャン (急に人が来たのでどきっとした)。➡はっとする。びくっとする。がたがたする。

どきどき【副】ダクダク。どきどき。ざわざわ。期待、不安、恐怖のためにおちつかないさま。ドゥース バン ミグティ チュートゥ ミニ ダクダク スン (自分の番が回ってくるの胸がどきどきする)。➡むかむか。／ ドンドン。驚いたり緊張したりして胸がどきどきするさま。マーガガ ニチ イジティ シワシ ミニ ドンドン スン (孫が熱を出して心配で胸がどきどきする)。トゥーティジャトウ イキ プチ ミニマディ ドンドン スン (走ってきたので息が上がって胸までどきどきする)。ミニドンドンと一語のようにもいう。➡どんどん。ぐんぐん。

とくとく【副】ピクピク。体の一部がふるえ動くさま。マクヌ ピクピク ウグクン (脈がとくとく打つ)。シンゾー ピクピク ウグクン (心臓がとくとく動く)。／ ピクナイ。体の一部がふるえ動くさま。シンゾー ピクナイ ウグクン (心臓がとくとく動く)。ピクピクより強い。➡ぴくぴく。

とこここ【副】ゴンゴン。滞りなく、勢いよく足早に進むさま。健脚のさま。タンカーウワティ ゴンゴン アックン (1才になってとこここ歩く)。ゴンゴン アックン (すたすた歩く)。ゴンゴン ウーイン (どんどん追いかける)。➡どんどん。すたすた。／ ゴンナイ。滞りなく、勢いよく足早に進むさま。健脚のさま。➡どんどん。すたすた。ゴンナイ アックン (すたすた歩く)。ゴンナイ ウーイン (どんどん追いかける)。／ ヌクヌク。小刻みでおぼつかなく歩くさま。無意志的な動作をあらわす。ワライヌ ヌクヌク アックン (子どもがとこここ歩く)。プープガ アマラ ヌクヌク クンドー

(おじいちゃんが向こうからとここ来るよ)。➡よちよち。

どさどさ 【副】 ドウサドウサ。大勢の人が歩くさま。チューガ カッサン アッチ ドウサドウサ ピサウトウ スン (人が大勢歩いてどさどさ足音がする)。／ ドウサナイ。大勢の人が歩くさま。チューガ カッサン ドウサナイ アックン (人が大勢どさどさ歩く)。

どしんとおとをたてる 【動】 ドウサミカスン。ウボホヌ ドウサミカチ ウトウチャン (重くてどしんと音を立てて落とした)。

どっさり 【副】 グワサナイ。ものがたくさんあるさま。スクー グワサナイ トウティジェトウ ハラス サーヤ (アイゴをどっさり取ったので塩辛にしよう)。➡わんさと。がやがや。どやどや。うようよ。うじゃうじゃ。ごちゃごちゃ。

どっと 【副】 ウームタムタ。大勢で笑いざわめくさま。ケッサヌ チューガ ウームタムタシ ワラトゥン (大勢の人がどっと笑っている)。➡げらげら。

どやどや 【副】 グワサグワサ。大勢の人が集まってそうぞうしいさま。大勢の人がそうぞうしく出入りするさま。グワサグワサ チュース アチマトゥン (がやがやと人が集まっている)。シバヤーラ グワサグワサ チュース イジティ クン (芝居からどやどや人が出て来る)。／ グワサナイ。大勢の人が集まってそうぞうしいさま。がやがや。大勢の人がそうぞうしく出入りするさま。チュース グワサナイ イッチ クン (人がどやどや入ってくる)。➡がやがや。うようよ。うじゃうじゃ。ごちゃごちゃ。わんさと。どっさり。

とろとろ 【副】 トゥルトゥル。火の勢いが弱いさま。ナンシキ サングトゥ トゥルトゥル メーシー (焦げないようにとろとろ燃やせ)。➡うつらうつら。／ ブトウブトウ。粘り気のある液状のもののさま。シミー ブトウブトウ タレリワル ジーヤ ハカイル (墨をとろとろに練ったら字は書ける)。ミジヌ イキラハヌ ブトウブトウ スートゥ テインプラヤ ヤカラン (水が少なくてねとねとしているから、天ぷらは揚げられない)。➡ねとねと。／ ブトウナイ。粘り気のある液状のもの。ミリкиングニ ミジイッティ ブトウナイ タレレー (メリケン粉に水を入れてねとねとに混ぜ合わせよ)。ブトウナイ スース ワーユーヤ マーハン (とろとろしている重湯はおいしい)。ワーアンダヤ アチラシネヤ ブトウナイ ナイン (ラードは熱したらとろとろになる)。シミー イミシキ シーネヤ ブトウナイ スン (墨を思いっきり磨るととろとろする)。➡ねとねと。／ ボロボロ。お粥や雑炊の水の多いさま。クース ジューシヤ ミジヌ ウポホヌ ボロボロ ナトゥン (今日の雑炊は水が多くてとろとろになっている)。クース メーヤ ミジヌ ウポホヌ ボロボロ ナティ カマラン (今日の飯は水が多くてとろとろになって食べられない)。／ ヌルントゥルン。寝起きでぼうっとしているさま。気持ちが集中していないさま。ウキティチャーキヤ ミー チューラヌ

ヌルントゥルン スン (起きたばかりは目がさえず、とろとろする)。シーヨー ワカラヌ ヌルントゥルン スン (やり方がわからなくてぼうっとしている)。➡ほんやり。ぼうっと。のろのろ。のそのそ。

どろどろ【副】 グエングエン。ぬかるみのさま。ミチヌ グエングエン スン (道がどろどろである)。クーヤ ウーアミー プティ ミチ グエングエンシ アッカラン (今日は大雨が降って道がどろどろで歩けない)。➡びょびょ。どろどろな。／ グエンナイ。ぬかるみのさま。➡だらだら。びょびょ。／ ドウルドウル。泥のように軟らかいさま。水分が多く、粘り気のあるさま。ミジヌ ウポホヌ ドウルドウルシーティンプラー アギララン (水が多くてどろどろして天ぷらが揚げられない)。アミー プティ ミチー ドウルドウル ナティ アッキゴロホン (雨が降って道がどろどろになって歩きにくい)。

どろどろな【形】 グエングエン。ぬかるんでいるさま。どろどろの。ミチヤ グエングエン エン (道はどろどろだ)。➡どろどろ。びょびょ。

どん【副】 ポン。太鼓をたたく音。また、そのさま。チジミヌ スケイ ポンディチ ナイタン (太鼓が一度ぽんと鳴った)。➡ぽん。

とんからり【副】 パタンパタン。布を織るさま。ヌヌ パタンパタン ウイン (布をとんからりと織る)。➡とんとん。

とんとたたく【動】 ポンマカスン。／ ポンミカスン。➡とんと鳴る。ぼちゃんと落とす。ぼちゃんと落ちる。

とんとん【副】 カンカン。まな板の上で調子よくものを刻むさま。ポーチャウトゥ カンカンスースガ ヌー キーガ (包丁の音がとんとんするが、何を切っているの)。アンマヤ カンカン キッチュスガ ヌー キーガ (お母さんはトントンと切っているが、何を切っているの)。カンナイとも言う。／ カンナイ。まな板の上で調子よくものを刻むさま。／ テンテンパチパチ。繰り綿をやわらかくするために綿打ち弓で打つ音。ウジミグワース タンメーガ テンテンパチパチ ウードゥ ウッチュタン (大宜味の爺さんがとんとん布団を打った)。➡ぱちぱち。とんとんぱちぱち。／ トントン。つづけて軽く叩いたり打ったりするさま。ダルガラ ヤードゥ トントン タタクスガ ダルヤガヤー (誰か戸をとんとん叩くが、誰だろう)。マクー トントン ウッチュン (脈がとんとん打っている)。／ パタンパタン。布を織るさま。ヌヌ パタンパタン ウイン (布をとんからりと織る)。➡とんからり。／ パンパン。平たいものを軽く続けて打つさま。ダルガラ ヤードゥ パンパン ウチュン (誰か戸をどんどん打つ)。ティー パチパチ ウチュン (手をぱちぱち打つ)。➡ぱちぱち。ぼっぽ。かっかと。むっと。ぽんぽん。／ パンナイ。平たいものを軽く続けて打つさま。イター パンナイ タタクン (板をとんとん叩く)。ダルガ ヤラ ヤードゥ パンナイ ウチュン (誰やら戸

をどんどん打つ)。→ぱちぱち。ぱっぽ。かっかと。むつと。ぼうぼう。ほんほん。

どんどん【副】 グワングワン。銅鑼や太鼓など鳴り物の音。祭り・綱引き・村芝居などで、太鼓など鳴り物を鳴らした。幸喜には銅鑼鉦がなかった。パタガシラ タティンディチチジミ グワングワン ナラスン (旗頭を立てようと太鼓をどんどんと鳴らす)。→があんがあん。／ グワンナイ。銅鑼や太鼓などの鳴り物の音。パタガシラ タティンディチチジミ グワンナイ ナラスン (旗頭を立てようと太鼓をどんどんと鳴らす)。→があんがあん。ぐんぐんと。ざあざあ。ごうごう。／ ゴンゴン。滞りなく、勢いよく足早に進むさま。健脚のさま。ゴンゴン アックン (どんどん歩く)。ゴンゴン ウーイン (どんどん追いかける)。タンカー ウワティ ゴンゴン アックン (1才になつてとことこ歩く)。→すたすた。とことこ。／ ゴンナイ。滞りなく、勢いよく足早に進むさま。健脚のさま。ゴンナイ アックン (どんどん歩く)。ゴンナイ ウーイン (どんどん追いかける)。→すたすた。とことこ。／ ドンドン。つづけて強く叩いたり打ったりして音のできるさま。チジミ ドンドン ウテー (太鼓をどんどんと打て)。→どきどき。ぐんぐん。／ ドンナイ。つづけて強く叩いたり打ったりして音のできるさま。チジミガ ドンナイ ナトゥン (太鼓がどんどんと鳴っている)。《参》ドンドンよりドンナイの方がやや強くてはげしい。→ぐんぐん。／ パカパカ。かたいもの同士が連續して打ち当たるさま。テーク パカパカ タタクン (太鼓をどんどん叩く)。マーガ パカパカシー アックン (馬がばかばか歩く)。→ばかばか。ぽかぽか。からころ。／ パカナイ。かたいもの同士が打ち当たるさま。テーク パカナイ ウッチュン (太鼓をどんどん打つ)。→ばかばか。ぽかぽか。からころ。パカナイ ウッチュン (ぽかぽか打つ)。マーガ パカナイ アックン (馬がばかばか歩く)。ミーアシジャ クディ パカナイ ナラチアックン (新下駄を履いて、からころ鳴らして歩く)。／ パチナイ。とどこおりなくものごとが進むさま。次々に。パチナイ ウビン (どんどん覚える)。／ バンナイ。勢い良く連續して行うさま。バケツチ ミジ バンナイ ハヤシエ (バケツで水をじゃんじゃん運べ)。→じゃんじゃん。／ ブーナイ。勢い良く連續して行われるさま。イシ ブーナイ ナギン (石をじゃんじゃん投げる)。→じゃんじゃん。がんがん。／ ポンナイ。太鼓をたたく音。チジミ ポンナイ ウッチュヌ ウトウ キカイン (太鼓をどんどん打つ音が聞こえる)。テーク ポンナイ ウッチュスガ ハクイカナ (太鼓をどんどん打っているが、早く行こうよ)。→ほんほん。／ ワーナイ。(1)勢い良く連續して行われるさま。イシ ワーナイ ナギン (石をどんどん投げる)。バケツチ ミジ ワーナイ ハヤスン (バケツで水をじゃんじゃん運ぶ)。サンシンワーナイ ナラスン (三味線をじゃんじゃん鳴らす)。バンナイともいう。(2)水が勢い良く流れるさま。ざあざあ。アミブイジョーホヌ ハーラヌ ミジ ワーナイ ナガリン (土砂降りで川の水がどんどん流れる)。タキヌ ミジガ ワーナイ ナガリン (滝

の水がざあざあ流れる)。➡じゃんじゃん。がんがん。ざあざあ。びゅうびゅう。

とんとんぱちぱち【副】 テンテンパチパチ。繰り綿をやわらかくするために綿打ち弓で打つ音。とんとん。ぱちぱち。ウジミグワース タンメーガ テンテンパチパチ ウードウ ウッチュタン (大宜味の爺さんがとんとん布団を打った)。

とんとおる【動】 パタンミカスン。とんと織る。ヌヌ スケインカ パタンミカスン (布を一度だけとんと織る)。

どんとならす【動】 ドンミカスン。どんと鳴らす。スケイ ドンミカチ ナラサワ トゥーレー (一度どんと鳴らしたら走れ)。➡どんと鳴る。

どんとなる【動】 ドンミカスン。ヤードウ ドンミカスタシガ ヌー エガヤー (戸がどんと鳴ったが何だろう)。ムイラ イシガ ウティティ ドンミカスン (杜から石が落ちてどんと鳴った)。➡どんと鳴らす。／ ポンマカスン。／ ポンミカスン。➡どんとたたく。ぼちゃんと落とす。ぼちゃんと落ちる。

なみなみと【副】 プガブガトウ。量的に十分なさま。容器にたっぷりといれたさま。メーマカイニ プガブガトウ イリレー (飯碗になみなみと入れろ)。ユフルヌ ミジ プガブガトウ イリレー (風呂の水をたっぷり入れろ)。／ プガナイ。量的に十分なさま。容器にたっぷりといれたさま。ユフルヌ ミジ プガナイ イリレー (風呂の水をたっぷり入れろ)。➡たっぷりと。

なんご【名】 イングー。喃語。赤ん坊がまだことばにならない声を発すること。ウヌ クワーヤ イングー パジマトゥン (この子は喃語が始まっている)。

にゃんとなく【動】 ミヤーミカスン。

にゃんにゃん【副】 ミヤーウミヤーウ。猫の鳴くさま。ダンガティガラ ミヤーウミヤーウ マヤガ ナクン (どこかでにゃんにゃん猫が鳴いている)。マヤヤ ミヤーウミヤーウシ ナクン (猫はにゃんにゃんと鳴く)。

によろによろ【副】 スルスル。(1)蛇などがくねりうごくさま。すばやくなめらかに移動進行する様子。パウヌ キーラ スルスル ウリン (蛇が木からによろによろおりる)。(2)物がなめらかにすべるさま。➡するする。つるつる。

ぬるぬる【副】 ヌルヌル。ぬめりや油気などすべるさま。アンダヌ シカティ ケーウチ ヌルヌル スン (油を付いて小皿がぬるぬるしている)。アンダー ヌルヌルシユーチル アラライル (油がぬるぬるして湯でしか洗えない)。

ねとねと【副】 ブトウブトウ。粘り気のある液状のもののさま。シミー ブトウブトウ タレリワル ジーヤ ハカイル (墨をとろとろに練ったら字は書ける)。ミジヌ イキラハヌ ブトウブトウ ストゥ テインプラヤ ヤカラン (水が少なくてねとねとしているから、天ぷらは揚げられない)。➡とろとろ。／ ブトウナイ。粘り気のある液状のさま。ミリкиングニ ミジ イッティ ブトウナイ タレレー (メリケン粉に水を入れ

れてねとねとに混ぜ合わせよ)。ブトゥナイ スース ワーユーヤ マーハン (とろとろしている重湯はおいしい)。ワーアンダヤ アチラシネヤ ブトゥナイ ナイン (ラードは熱したら、とろとろになる)。シミー イミシキ シーネヤ ブトゥナイ スン (墨を思いつきり磨ると、とろとろする)。➡とろとろ。／ ムチャムチャ。粘りつくさま。ミークヌ ムチャムチャシ ミー アキゴロホン (目やにがねとねとして目を開けづらい)。サータティンプラ スコインチ ティー ムチャムチャ スン (砂糖てんぶらを作ろうと手がねばねばしている)。ムチ アーシネ ティー ムチャムチャ スン (餅をこねると手がべたべたする)。➡ねばねば。べとべと。べたべた。／ ムッチャクワッタイ。粘りつくさま。べたべた。ムチャムチャより一層粘りつくさま。ティンプラーアースヌ バーヤ ミリキングース ティーニ ムッチャクワッタイ タックワトウン (天ぷらの衣をこねるとき、小麦粉が手にねとねとくついている)。➡ねばねば。べとべと。

ねばねば【副】 ムチャナイ。粘りつくさま。ムチ アーシネ ティー ムチャナイ スン (餅をこねると手がねばねばする)。／ ムチャムチャ。粘りつくさま。ミークヌ ムチャムチャシ ミー アキゴロホン (目やにがねばねばして目を開けづらい)。サータティンプラ スコインチ ティー ムチャムチャ スン (砂糖てんぶらを作ろうと手がねばねばしている)。ムチ アーシネ ティー ムチャムチャ スン (餅をこねると手がべたべたする)。➡べとべと。べたべた。ねとねと。／ ムッチャクワッタイ。粘りつくさま。ティンプラーアースヌ バーヤ ミリキングース ティーニ ムッチャクワッタイ タックワトウン (天ぷらの衣をこねるとき、小麦粉が手にねばねばくつついでいる)。ムチャムチャより一層粘りがある。➡べとべと。べたべた。ねとねと。

のそのそ【副】 ヌルントゥルン。動作ののろいさま。トゥシー トゥイネ ブル ヌルントゥルン ナイサ (年をとるとみんなのろのろになるよ)。➡のろのろ。ほんやり。ぼうっと。とろとろ。

のろのろ【副】 ヌルントゥルン。動作ののろいさま。トゥシー トゥイネ ブル ヌルントゥルン ナイサ (年をとるとみんなのろのろになるよ)。➡のそのそ。ほんやり。ぼうっと。とろとろ。

のんびり【副】 ユーヨートウ。精神的に落ち着いているさま。ユーヨートウ モーチン アタイサ (のんびりいらっしゃっても間に合うよ)。楽に。ゆったり。

はあはあ【副】 ハーハー。大きく息をするさま。イキ ハーハー スン (息をはあはあする)。トゥーティ イジャトウ イキ ハーハー プクン (走って行ったので、息をはあはあ吹いている)。アワタティ チャートウ イキ プチ ハーハースン (あわてて來たので息をはあはあしている)。アマラ トゥーティジャトウ、ハーハーシ イキ プクン (むこうを走ってきたのではあはあと息をする)。／ カーカー。辛いものをたべ

て口を大きく開けて息をはくさま。カーカー スースガ ハラハル アインナ（はあはあしているが辛いのか）。➡ひりひり。ぴりぴり。かっか。かあかあ。かあっと。／ フェーフェー。息をきらしてあえぐさま。トゥーティイジャトゥ イキ フェーフェースン（走って行ったので、はあはあ息が切れる）。

ばかばか【副】 パカパカ。かたいもの同士が連續して打ち当たるさま。マーガ パカパカシー アックン（馬がばかばか歩く）。テーク パカパカ タタクン（太鼓をどんどん叩く）。➡ぽかぽか。からころ。どんどん。／ パカナイ。かたいもの同士が打ち当たるさま。マーガ パカナイ アックン（馬がばかばか歩く）。パカナイ ウッチュン（ばかぽか打つ）。ミーアシジヤ クディ パカナイ ナラチアックン（新下駄を履いてからころ鳴らして歩く）。テーク パカナイ ウッチュン（太鼓をどんどん打つ）。➡ぽかぽか。からころ。どんどん。

ぱくぱく【副】 パクパク。(1)大きく口を開閉するさま。クチ パクパク アキン（口をぱくぱく開ける）。(2)ものの食べ方がさかんなさま。アリガ ムヌ カミカタヤ クチ パクパク ナラスン（あいつのものの食べ方は口をぱくぱくならす）。➡べらべら。ぶかぶか。ぶかぶか。／ パクナイ。大きく口を開閉するさま。ウヌ クワーヤ クチ パクナイ スン（その子は口をパクパクしている）。➡べらべら。ぶかぶか。

ぱさぱさ【副】 サパサパ。食べ物などの粘り気、水分のないさま。イクサ アトゥヌ アミリカグミヤ サパサパシ マークネンタン（戦争の後のアメリカ米はぱさぱさしておいしくなかった）。ウヌ クワーシヤ サパサパシ マークネン（そのお菓子はぱさぱさしておいしくない）。

ばたばた【副】 バタバタ。忙しく慌しくことをおこなうさま。イヤーヤ イチュナハヌチャー バタバタ スン（お前は忙しくてずっとばたばたしている）。／ パタパタ。何かをしようとしてあせるさま。シコイ ワッサヌ パタパタ ウティシカン（準備が悪くてばたばた落ち着かない）。➡ばたばた。／ パッタラゲー。人や生き物がある状態から逃れようと体や手足などを動かしてもがくさま。じたばた。イキユース パッタラゲーシ ハシミララン（生魚がばたばたして捕まえられない）。ウヌ チューヤ パッタラゲー スースガ ヌー エガヤー（その人はばたばたしているが何だろう）。／ パタパタ。手足や羽が早く動くさま。軽いものがうちあたるさま。またその時の音。サワ クディ パタパタ アックン（ぞうりを履いてばたばた歩く）。トウイガ パニゲー パタパタ ナラスン（鳥が羽をばたばた鳴らす）。ハジガ チューハヌ アライムヌ パタパタ トゥウン（風が強くて洗濯物がばたばたはためく）。ユーヤ トウティチャーキヤ パタパタ ウグクン（魚は捕ったばかりはばたばた動く）。➡ばたばた。／ パタナイ。手足や羽が早く動くさま。軽いものがうちあたるさま。またその時の音。プカグミアッキー スースガル パタナイ ナラスン（がに股歩きをする人がばたばた鳴

らす)。ハジガ チューハヌ アライムヌ パタナイ トゥウン (風が強くて洗濯物がぱたぱたはためく)。ユーヤ トゥティ チャーキヤ パタナイ ウグクン (魚は捕つたばかりはぱたぱた動く)。ティーピサ パタナイ ウグカスン (手足をぱたぱた動かす)。／ パッタイパッタイ。軽いものがうちあたるさま。またその時の音。ハジガ チューハヌ アライムヌ パッタイパッタイ トゥウン (風が強くて洗濯物がぱたぱたはためく)。／ パッタンパッタン。何度も連続してものがうちあたるさま。また、その音。ぱたんぱたん。パッタンパッタン ヌヌ ウタン (ぱたんぱたんと機を織った)。ハジヌ チューハヌ パタ パッタンパッタン スーワン (風が強くて旗がぱたぱたとしている)。／ ピチピチ。元気で勢いよく動くさま。ウヌ ユーヤ ピチピチシ ナーマ イキチュン (その魚はぱたぱたしてまだ生きている)。ワカハヌ ムヌヤ ピチピチシー イキウイー アイン (若い者はピチピチして勢いがある)。➔ぴちぴち。

ぱたんぱたん【副】 パッタンパッタン。何度も連続してものがうちあたるさま。また、その音。ぱたぱた。パッタンパッタン ヌヌ ウタン (ぱたんぱたんと機を織った)。ハジヌ チューハヌ パタ パッタンパッタン スーワン (風が強くて旗がぱたぱたとしている)。

ぱちぱち【副】 シカシカ。しきりに目を閉じたり開いたりするさま。アヌ チューヤ ピッチー ミー シカシカ スン (あの人はしょっちゅう目をぱちぱちさせる)。➔ちかちか。ちくちく。／ テンテンパチパチ。繰り綿をやわらかくするために綿打ち弓で打つ音。とんとん。とんとんぱちぱち。ウジミグワース タンメーガ テンテンパチパチ ウードゥ ウッチュタン (大宜味の爺さんがとんとん布団を打った)。／ パチパチ。(1)小さく軽いものが連続して合わさるさま。シバイガ ウワタトゥ ブルガ ティーパチパチ タタチャン (芝居が終わったのでみんなが手をぱちぱち叩く)。(2)あわただしく瞬きをするさま。(3)薪などが勢いよく燃えるさま。(4)枯れ枝などが折れるさま。➔ぱっちり。ぼきぼき。／ パチナイ。(1)小さく、軽いものが連続して合わさるさま。(2)あわただしく上下のまぶたをあわただしくあけたり閉じたり、瞬きをするさま。(3)薪などが勢いよく燃えるさま。タムヌガ パチナイ メートゥン (薪がぱちぱち燃えている)。(4)枯れ枝などが折れるさま。➔ぱっちり。ぼきぼき。／ パチャナイ。(1)小さく、軽いものが連続して合わさるさま。(2)あわただしく瞬きをするさま。(3)枯れ枝などが折れるさま。➔ぼきぼき。

ぱっちり【副】 グルグル。ぱっちり。小児などの目のさま。ウヌクワーヤ ミー グルグルシ ウジラーハン (その子は目がぱっちりしてかわいい)。➔ごろごろ。ぐるぐる。きょろきょろ。／ パチナイ。目を大きくみひらくさま。ニーブイ サングトゥ ミー パチナイ アキレー (居眠りしないで目をぱっちりあけろ)。➔ぱちぱち。ぼきぼき。枯れ枝などが折れるさま。／ カパカパ。途中で目が覚めたり、あるいは起こされたり

して寝られず、寝足りないさま。目があいて寝られないさま。また寝られないさま。ハタジャー ヌミネヤ ミー カパカパシー ミーグパイ スン（濃い茶を飲んだら目がぱっちりして目冴えする）。ミー カパカパシー ミー パラカラーン（目がぱっちり冴えて目があけられない）。／ カパナイ。途中で目が覚めたり、あるいは起こされたりして寝られず、寝足りないさま。目があいて寝られないさま。また寝られないさま。ハタジャー ヌミネヤ ミー カパナイシ ニンバラン（濃い茶を飲んだらぱっちり冴えて眠れない）。／ ウカウカ。目がさえてねむれないさま。ハタジャー ヌミネ ウカウカシ ニンバラン（濃い茶を飲んだらぱっちり冴えて眠れない）キニ ナティ ウカウカニンビゴロホン（気になってぱっちり冴えて寝付けない）。

はっとする【動】 ガタミカスン。アッタニ チュース チー ガタミカチヤン（急に人が来たのではっとした）。→どきっとする。びくっとする。がたがたする。

はなをかむ【動】 ヒンミカスン。パナ チマトゥトゥ ヒンミカシェー（鼻がつまっているので涙をかめ）。

はらはら【副】 パラパラ。木の葉、花びらなどが散り落ちるさま。サクラヌ パーガ パラパラ ウティン（桜の葉がはらはら落ちる）。→ぱらぱら。／ フアラファラ。小さな木の葉などが散り落ちるさま。ファラファラ ウティン（はらはら落ちる）。→ぱらぱら。

ぱらぱら【副】 サンジャンクンジャン。こまかくぱらばらになるさま。さんざん。めちゃくちゃ。ワライヌ カビ サンジャンクンジャン ヤイン（子どもが紙をめちゃくちゃにやぶる）。ヤーンチュガ ドーグ サンジャンクンジャン チラカチエン（家族が道具をぱらばらに散らかしてある）。／ バラバラ。離散したさま。乱れちらばっているさま。ヤーンチュガ ドーグ バラバラ チラチエン（家族が道具をぱらばらに散らかしている）。ワライガ トケインクワー バラバラ ナチエン（子どもが腕時計をぱらばらにしている）。／ サーラナイ。小さなものが連続して落ちるさま。ハジヌ チューハヌ キースパース サーラナイ ウティン（風が強くて木の葉がぱらばら落ちる）。→ざあざあ。じゃあじゃあ。すいすい。さらさら。すらすら。／ パーラナイ。銃弾などを連続してぱらばらと発射するさま。銃弾などが連続してぱらばらと発射するさま。

ぱらぱら【副】 パラパラ。木の葉など小さなものがまばらに散らばっているさま。アサウキティ ミーネー サクラヌ パーガ パラパラ ウティトゥン（朝起きて見ると桜の葉がぱらぱらに落ちている）。→はらはら。／ フアラファラ。(1)木の葉など小さなものがまばらに散らばっているさま。グナパーや フアラファラシー ウティトゥン（小さい葉はぱらぱらと落ちている）。(2)木の葉、花びらなどが散り落ちるさま。(3)よくほぐれているさま。クース イリキメーヤ フアラファラシー マーハンヤー（今日の焼飯はぱらぱらしておいしいね）。→はらはら。

はらをくだす【動】 ピリピリスン。腹をくだす。下痢をする。ヌーガ カダラ ウヌ

クワー クスー サギティ ピリピリスン (何を食べたのかその子は腹をくだしている)。

ぴいちく【副】 チンチン。チンチナー (ひばり) のさえずる声。

ぴいぴい【副】 ピーピー。笛の音。ティーブラー ピーピー ナラスン (指笛をぴいぴい鳴らす)。／ ピーナイ。笛の音。ティーブラー ピーナイ ナラスン (指笛をぴいぴい鳴らす)。／ ピーピー。生活が苦しいさま。貧乏なさま。アッタ ヤーヤ ナマ ピーピーシー クマトゥン (彼らの家は今ぴいぴいして困っている)。ジニー ネース ピーピースン (金がなくてぴいぴいしている)。／ ピーピカーカ。生活が苦しいさま。貧乏なさま。アッタ ヤーヤ ナマ ピーピカーカーシ クマトゥン (彼らの家は今ぴいぴいして困っている)。アッターヤ ナマ ピーピカーカスン (彼らは今ぴいぴいしている)。ピーピカーカヌ ナゲ ナイン (貧乏が長い)。ピーピカーカヌ ナガハヌ クマトゥサヤー (ぴいぴいが長くて困っているね)。

ピーポー【副】 ピーポーピーポー。救急車などのサイレンの音。ピーポーピーポー ナイスガ ダース ヤー ヤガヤー (ピーポーピーポー鳴っているが、どこの家だろう)。

ひえびえの【名】 ピグルコーコー。食物などが冷めたさま。ウヌ チャンブルヤ ピグルコーコー ナティ。アチュラチ カメー (その炒め物は冷え冷えだ。温めて食べろ)。

ぴかぴか【副】 ピカピカ。(1)光り輝くさま。クース ティントーヤ プシヌ ピカピカスン (今日の空は星がきらきらしている)。(2)艶があって光るさま。ピカピカ ナイマディ ススレー (ぴかぴかになるまで拭け)。ピカナイ、ピカラピカラともいう。／ ピカナイ。(1)光り輝くさま。プシヌ ピカナイ ピカイン (星がぴかぴか光る)。(2)艶があって光るさま。ミードケイ エトゥ ピカナイ ピカイン (新しい時計だからぴかぴか光っている)。クラク ススタトゥ ピカナイ ピカトゥン (きれいに拭いたのでぴかぴかになっている)。／ ピカラピカラ。(1)光り輝くさま。ピカピカより明るい。プシヌ ピカラピカラ スン (星がぴかぴかしている)。デンキガ ピカラピカラ シカトゥン (電気がぴかぴか点灯している)。(2)艶があって光るさま。ミームヌヤ ブル ピカラピカラ ピカトゥン (新品は何でもぴかぴか光っている)。シナ ハキティ ワラジャラチ アライネ ピカラピカラ ナイン (砂をかけて藁だわしで洗うと、ぴかぴかになる)。／ クワラクワラ。光り輝くさま。ピカピカより明るい。ランプなどにはいわない。デンキヌ クワラクワラ シカトゥン (電気がぴかぴか点灯している)。／ クワーラナイ。まぶしく光輝くさま。デントー クワーラナイシ ミー ピカラハン (電灯ががこうこうとしてまばゆい)。ティーダ クワーラナイ スン (太陽がぎらぎらしている)。クース ティントーヤ プシヌ クワーラナイ イジトゥン (今日の空は星がきらきらでている)。➡きらきら。耿々 (こうこう) と。煌々と。ぎらぎら。

びくつとする【動】 ガタミカスン。アッタニ チュース チー ガタミカチャン (急に人が来てどきっとした)。➡どきっとする。はっとする。がたがたする。

ぴくぴく【副】 ピクピク。体の一部がふるえ動くさま。マクヌ ピクピク ウグクン（脈がぴくぴくうつ）。シンゾー ピクピク ウグクン（心臓がとくとく動く）。／ ピクナイ。体の一部がふるえ動くさま。シンゾー ピクナイ ウグクン（心臓がとくとく動く）。ピクピクより強い。／ ピシピシ。体の一部がふるえ動くさま。ミーガー ピシピシ スン（まぶたがぴくぴくする）。➡とくとく。ひしひし。びしひし。ぴしひし。ずきずき。ひりひり。

びしっと【副】 パチナイ。(1)厳しく容赦なくおこなうさま。ウヌ クワーヤ ムヌイーシキー キカントウ パチナイ イーシキレー（その子はいいつけを聞かないから、びしひし命令しろ）。パチナイ ナラストウ ウビヤッセン（びしひし教えるから、覚えやすい）。(2)とどこおりなくものごとが進むさま。次々に。➡びしひし。どんどん。

ひしひし【副】 ピシピシ。非難などが胸にこたえるさま。アリガ クトウバヤ ピシピシ ミニニ アタイン（彼の言葉はひしひし胸にあたる）。ピシピシ スクン（びしひし指摘する）。➡びしひし。ぴしひし。ずきずき。ひりひり。ぴくぴく。

びしひし【副】 パチパチ。厳しく容赦なくおこなうさま。ウヌ クワーヤ ユース キカントウ パチパチ イーシキレー（その子は言うことをきかないからびしひし命令しろ）。／ パチナイ。厳しく容赦なくおこなうさま。ウヌ クワーヤ ムヌイーシキー キカントウ パチナイ イーシキレー（その子はいいつけを聞かないからびしひし命令しろ）。パチナイ ナラストウ ウビヤッセン（びしひし教えるから覚えやすい）。➡びしっと。どんどん。／ ピシピシ。(1)非難などが胸にこたえるさま。ぴしひし。アリガ クトウバヤ ピシピシ ミニニ アタイン（彼の言葉は胸にひしひしめたる）。ピシピシ スクン（びしひし指摘する）。(2)罰を与えて何度も打つさま。ピシピシ スグレー（びしひしと殴れ）。➡ずきずき。ひりひり。ぴくぴく。ひしひし。／ ヒタヒタ。罰を与えて何度も打つさま。チュー ヒタヒタ ピーゲン（人をびしひし打つ）。➡ぴしひし。／ ヒタナイ。罰を与えて何度も打つさま。チュー ヒタナイ ピーゲン（人をびしひし殴る）。

びょびょ【副】 グエングエン。ひどくぬれているさま。ぬかるみのさま。➡どろどろな。どろどろ。どろどろの。／ グエンナイ。ずぶ濡れになったさま。グエンナイ ディータン（びょびょに濡れた）。クーヤ マギアミ プティ グエンナイ ディータン（今日は大雨が降ってびょびょに濡れた）。➡だらだら。どろどろ。／ ジャクジャク。水分を多く含んで濡れたり、ぬかるんでいるさま。シブイヨーハヌ シルジャクジャク スン（絞り足りなくてびょびょだ）。アミブイス アトウヤ ミチヌジャクジャク ナティ アッキゴロホン（雨降りのあとは道がぐちゃぐちゃになって歩きにくい）。➡ぐちゃぐちゃ。／ ウーバタバタ。水にひどく濡れた様子。ずぶ濡れになったさま。アミヌ マギサヌ ウーバタバタ ナタン（雨がひどくて、びょびょになった）。アミヌ マギサヌ ウーバタバタ ディートウン（雨がひどくて、びょ

びしょに濡れている)。／ ウーバタナイ。水にひどく濡れた様子。ずぶ濡れになったさま。アミヌ マギサヌ ウーバタナイ ディータワン (雨がひどくて、びしょびしょに濡れてしまった)。

びちびち【副】 ピリピリ。水気のある柔らかいものがひねり出されるさま。びりびり。カミジユーハヌ クスー ピリピリ マイン (食べ過ぎて便をびりびり出す)。ウヌ マヨネーズヤ チューク ウサーシネ ピリピリ イジン (そのマヨネーズは強く押すとびちびちと出る)。／ ピーリナイ。水気のある柔らかいものがひねり出されるさま。びりびり。カミジユーハヌ クスー ピーリナイ マイン (食べ過ぎて便をびりびり出す)。ウヌ マヨネーズヤ チューク ウサーシネ ピーリナイ イジン (そのマヨネーズは強く押すとびちびちと出る)。

ぴちぴち【副】 ピチピチ。元気で勢いよく動くさま。ワカハヌ ムヌヤ ピチピチシイキウイー アイン (若い者はぴちぴちして勢いがある)。ウヌ ユーヤ ピチピチシナーマ イキチュン (その魚はぱたぱたしてまだ生きている)。➡ぱたぱた。

びっしょり【副】 スプトゥ。ひどくぬれたさま。スプトゥ ディーティ イキシルー ナトゥン (びっしょり濡れてずぶ濡れになっている)。➡ぐっしょり。／ スプナイ。ひどくぬれたさま。スプナイ ディーティ イキシルー ナトゥン (びっしょり濡れてずぶ濡れになっている)。➡ぐっしょり。

ひひん【副】 ミーヒン。馬のいななく声。マーヌ ミーヒンディチ ナクスガ ダース マーガヤー (馬がひひんと鳴くが、どこの馬だろう)。

ひゅうっと鳴らす【動】 ヒューミカスン。口笛などをひゅうっと鳴らす。アマカラ チュース チュー スーキチ ヒューミカチ ユウン (向こうから来る人を口笛でひゅうっと鳴らして呼ぶ)。

ひゅうひゅう【副】 スースー。すきまなどから風が入るさま。すうすう。ダーラガラ ハジヌ スースー イッチ ピーハン (どこからか風がひゅうひゅう入って寒い)。➡しょぼしょぼ。／ バーバー。風が激しく吹くさま。またその音。ハジヌ バーバー プクン (風がびゅうびゅう吹く)。クーヤ ハジ バーバーシ ワジャー ナラン (今日は風がびゅうびゅうで仕事ができない) ➡びゅうびゅう。ぴゅうぴゅう。ぼうぼう。／ ヒューヒュー。口笛の音。ヒューヒューシー ユウン (口笛でひゅうひゅうと呼ぶ)。／ ヒュールヒュール。風の吹くさま。カジヌ チューハヌ ヒュールナイ プクン (風が強くてひゅうひゅうと吹いている)。➡ぴゅうぴゅう。／ ヒュールナイ。風の吹くさま。カジヌ チューハヌ ヒュールナイ プクン (風が強くてひゅうひゅうと吹いている)。➡ぴゅうぴゅう。／ フィーフィー。口笛の音。スーキー フィーフィー ナラスン (口笛をひゅうひゅう鳴らす)。／ フィーナイ。口笛の音。スーキー フィーナイ ナラスン (口笛をひゅうひゅう鳴らす)。／ ブーブー。風の吹くさま。カジヌ チューハヌ

ブーブー プクン (風が強くてひゅうひゅうと吹いている)。➡もくもく。／ ブーナイ。風の吹くさま。カジヌ チューハヌ ブーナイ プクン (風が強くてひゅうひゅうと吹いている)。➡もくもく。／ フューフュー。口笛の音。アマカラ チュース チュースキチ フューフュー ユウン (向こうから来る人を口笛でひゅうひゅう呼ぶ)。

びゅうびゅう【副】 バーバー。風が激しく吹くさま。またその音。ハジヌ バーバー プクン (風がびゅうびゅう吹く)。クーヤ ハジバーバーシ ワジャー ナラン (今日は風がびゅうびゅうで仕事ができない)。➡ぴゅうぴゅう。ひゅうひゅう。ぼうぼう。／ ワーナイ。激しく風の吹くさま。ハジガ チューハヌ ワーナイ プクン (風が強くてびゅうびゅう吹いている)。➡じゃんじゃん。どんどん。がんがん。ざあざあ。どんどん。／ ヒュールヒュール。風の吹くさま。カジヌ チューハヌ ヒュールナイ プクン (風が強くてひゅうひゅうと吹いている)。➡ひゅうひゅう。ぴゅうぴゅう。／ ヒュールナイ。風の吹くさま。カジヌ チューハヌ ヒュールナイ プクン (風が強くてびゅうびゅう吹いている)。➡ひゅうひゅう。ぴゅうぴゅう。

ひょこひょこ【副・名】 ガテガテ。何回も上下左右に動かしたり揺れたりするようす。ピサガ ヤムラ、ガテガテ アックン (足が痛むのか、ひょこひょこ歩く)。➡ぴょこぴょこ。ぴょんぴょん。けんけん。

ぴょこぴょこ【副・名】 ガテガテ。(1)ひょこひょこ。何回も上下左右に動かしたり揺れたりするようす。ピサガ ヤムラ、ガテガテ アックン (足が痛むのか、ひょこひょこ歩く)。(2)何度も跳びはねるようす。(3)けんけん。片足跳びのあそび。➡ぴょんぴょん。

ぴよぴよ【副】 ピヨピヨ。ひよこの鳴き声。主として鶏の雛の鳴き声。ウヤ ウーティ ピヨピヨ ナチャクン (親を追ってぴよぴよと鳴いている)。

ぴょんぴょん【副・名】 ガテガテ。(1)何度も跳びはねるようす。アタビチャガ ガテガテシ トウディ アックン (カエルがピヨンピヨン跳び回っている)。(2)何回も上下左右に動かしたり揺れたりするようす。(3)けんけん。片足跳びのあそび。➡ひょこひょこ。ぴょこぴょこ。

びらびら【副】 ベレベレ。とさかのゆれるさま。ウードゥイス カンジュー ベレベレ ウグクン (雄鶏のとさかがびらびら動く)。びろびろ。

ひりひり【副】 カーカー。ぴりぴり。かつか。辛みを感じるさま。ハラグソ カミネ ヌディガ ピーラチ カーカー スン (唐辛子を食べると、のどがひりひりとする)。➡はあはあ。かあかあ。／ ピシピシ。皮膚が持続的に痛むさま。ドゥゲーリティティー ハー パジ ピシピシ ヤムン (転んで手の皮を剥いてひりひり痛む)。➡ひしひし。びしひし。ぴしひし。ぴくぴく。

びりびり【副】 ビリビリ。布や紙などが裂けやすいさま。破れやすいさま。ブクターヤ プルディ ビリビリ ナティ ヤリジャーハン (檻櫻 (ぼろ) は古んでびりびりで破れ

やすい)。／ ピーリナイ。布や紙などが裂けやすいさま。破れやすいさま。プクタギヌヤ ピーリナイ ヤリジャーハン (檻樓 (ほろ) 服はびりびりに破れやすい)。ティッシュヤ ピーリナイ ヤリヤッサン (ティッシュはびりびりに破れやすい)。／ ピリピリ。びちびち。水気のある柔らかいものがひねり出されるさま。カミジューハヌ クスー ピリピリ マイン (食べ過ぎて便をびりびり出す)。ウヌ マヨネーズヤ チューケウサーシネ ピリピリ イジン (そのマヨネーズは強く押すとびりびりと出る)。／ ピーリナイ。びちびち。水気のある柔らかいものがひねり出されるさま。カミジューハヌ クスー ピーリナイ マイン (食べ過ぎて便をびりびり出す)。ウヌ マヨネーズヤ チューケウサーシネ ピーリナイ イジン (そのマヨネーズは強く押すとびりびりと出る)。

ぴりぴり 【副】 カーカー。辛みを感じるさま。ハラグソ カミネ ヌディガ ピーラチ カーカー スン (唐辛子を食べるとのどが疼いてひりひりする)。➡ひりひり。かっか。はあはあ。かあっと。

びろびろ 【副】 ベレベレ。とさかのゆれるさま。ウードウイヌ カンジュー ベレベレ ウグクン (雄鶏のとさかがびろびろ動く)。➡びらびら。

ひろびろと 【副】 ワーワートウ。ゆとりがあって窮屈でないさま。コーミンカンヤ ワーワートウ アイトウ イーヤッシュン (公民館はひろびろとしているので座りやすい)。ピルハヌ ワーワートウ イッチュン (広いのでひろびろと座っている)。キヌヤ ワーワートウ ノーレー (着物はゆったりと縫え)。➡ゆったり。ゆうゆうと。

ふうっとふく 【動】 プーマカスン。➡ふうっと鳴らす。／ プーミカスン。ふうっと吹く。プーミカチ ピー カースン (ふうっと吹いて火を消す)。プーミカチ プクシミー ピキトウワスン (ふうっと吹いて埃を吹き飛ばす)。ミーニ グミ イッチャトウ プーミカチャトウ ノータン (目にゴミが入ったので、ふうっと吹いたら治った)。➡ふうっと鳴らす。

ぶうっとなく 【動】 グーミカスン。ワーニントゥス チンヌチャートウ グーミカチ ウキタン (豚が寝ているのを突ついたら、ぶうっと鳴いて起きた)。／ ブッタマカスン。ワーニントゥス チンヌチャートウ ブッタマカチ ウキタン (豚が寝ているのを突ついたら、ぶうっと鳴いて起きた)。／ ブッタミカスン。ワーニントゥス チンヌチャートウ ブッタミカチ ウキタン (豚が寝ているのを突ついたら、ぶうっと鳴いて起きた)。

ぶうっとならす 【動】 プーマカスン。ピー プーマカチ ピータン (屁をぶうっと放った)。➡ふうっと吹く。／ プーミカスン。ピー プーミカチ ピッチャン (屁をぶうっと放った)。➡ふうっと吹く。

ふうふう 【副】 プーナイ。唇をすぼめて息を勢いよく吹くさま。イキ プーナイ プクン

(息をふうふう吹く)。ミーニ グミ イッチャトゥ プーナイ プチャトゥ ノータン (目にゴミが入ったので、ふうふう吹いたら治った)。➡ふうふう。／ フーフー。口をすぼめてくりかえし息をふきかけるさま。イキ フーフー プチ ノースタン (息をふうふう吹いて治した)。小児などが痛がる箇所へ痛くないまじないとして親などがフーフーと息を吹きかけてやった。メーガ アチハヌ フーフーシ サマチ カムン (ご飯があついので、ふうふう冷まして食べる)。ナマ イリパナ エトゥ フーフーシ ヌメー (今淹ればなだから、ふうふうして飲め)。／ プープー。口をすぼめてくりかえし息をふきかけるさま。イキ プープー プクン (息をふうふう吹く)。➡ふうふう。

ぶうぶう【副】 ガウェーガウェー。豚の鳴き声。騒がしく鳴きたてる時の声をいう。／ グーグー。豚の鳴き声。鳴き叫ぶ時の声はガウェーガウェーと言う。ウワー グーグー ナクンドー (豚がぶうぶう鳴いているよ)。／ グーナイ。豚の鳴き声。ウワーヌ グーナイ ナクトゥ ムヌー クワーシェー (豚がぶうぶう鳴いでいるので、餌を食わせろ)。／ パッパー。自動車の警笛の音。クルマヌ パッパーーディチ ナラチ エージュスン (車がぶうぶうと鳴らして合図する)。

ふうふう【副】 プープー。屁の音。プープー ピー ピースヤ ハジャサン (ふうふうと屁を放るのは臭わない)。➡ふうふう。／ プーナイ。屁の音。プーナイ ピー ピーン (ふうふう屁を放る)。➡ふうふう。

ふかふか【副】 プカブカ。やわらかく膨らんでいるさま。ウードゥ プチャトゥ プカブカシー ニンビヤッセン (布団を干したので、ふかふかして眠りやすい)。ウードゥ プシネ プカブカスン (布団を干したらふかふかする)。➡ぼこぼこ。

ぶかぶか【副】 ゴロゴロ。ものに隙間があってゆるいさま。ウヌ イービガニヤ シナラヌ ゴロゴロ スン (その指輪は合わないので、ゆるゆるしている)。ズボンヌ ゴムガヌディ ゴロゴロ スン (ズボンのゴムがのびてぶかぶかだ)。➡ごろごろ。ゆるゆる。／ ダブダブ。大すぎる着物やたくさんの着物を着た時のさま。トゥシー トゥティキヌヤ ブル ダブダブ ナティ キララン (年をとて服は全部だぶだぶになって着られない)。➡だぶだぶ。がばがば。／ ダブナイ。大すぎる着物やたくさんの着物を着た時のさま。ウヌ キヌヤ ダブナイ ナティ キーブサクネン (その服はだぶだぶになって着たくない)。➡だぶだぶ。がばがば。／ ワブワブ。大すぎる着物やたくさんの着物を着た時のさま。ウヌ キヌヤ ワブワブ スン (この着物はぶかぶかする)。➡だぶだぶ。がばがば。

ぶかぶか【副】 パクパク。ぶかぶか。しきりに煙草をぶかすさま。タワク パクパク プクトゥ クサハン (煙草をぶかぶか吸うので臭い)。➡ぱくぱく。べらべら。／ パクナイ。しきりに煙草をぶかすさま。タワク パクナイ プクン (煙草をぶかぶか吸う)。➡ぱくぱく。べらべら。

ぶくぶく【副】 ブクブク。泡立つさま。ガニガ アー ブクブク プチュン（蟹が泡をぶくぶくと吹いている）。ビール コップニ チギネ アー ブクブク イジン（ビールをコップに注ぐと泡がぶくぶく出る）。／ プルプル。ぶくぶく。ものなどが水中に沈んでいくさま。ワライヌ ブックティ プルプル シンクン（子どもが溺れてぶくぶく沈んでいく）。アキビン ハーランガティ ウトウチャトゥ プルプル シンクン（空き瓶を川に落としたらぶくぶく沈んでいく）。

ふくぶくしく【副】 クワンクワン。上品で威厳のあるさま。中年以上の男の、ゆったりとして立派なさま。アヌ チューヤ クワンクワントウシ ウブラーハン（彼は福福しくて威厳がある）。

ふつふつ【副】 クトウクトウ。ものがよく煮えるさま。ピー チューク シ クトウクトウ タンガシェー（火を強くしてふつふつ煮なさい）。グトウグトウよりこちらをよく使う。➔ぐつぐつ。／ クトウナイ。ものがよく煮えるさま。ピー チューク シ クトウナイ タンガシェー（火を強くしてふつふつ煮なさい）。グトウナイよりこちらをよく使う。➔ぐつぐつ。／ グトウグトウ。ものがよく煮えるさま。ピー チューケシ グトウグトウ タンガシェー（火を強くしてふつふつ煮なさい）。➔ぐつぐつ。／ グトウナイ。ものがよく煮えるさま。グトウナイ タングン（ふつふつとたぎる）。➔ぐつぐつ。

ぶつぶつ【副】 グーグー。不平を言うさま。クーン グーグーンカ アウイトウン（今日もぶつぶつばかり言っている）。トウナイス オジサンヤ チャー グーグー サクン（隣のおじさんは何時もぶつぶつ言っている）。

ぶちぶち【副】 プチナイ。ユダダムヌ プチナイ ウーティ メーシェー（柴薪をぶちぶち折って燃やせ）。➔ぼきぼき。

ぶちん【副】 プチン。物が折れたり、または切れたりする音。

ふにやふにや【副】 ビラビラ。(1)体に力が入らず柔らかいさま。プープヤ ヨーガリティ ビラビラ アックン（祖父は痩せてへなへな歩く）。(2)物に張りがなく柔らかいさま。チョコレート ティダニ トウラティ ビラビラ トウキトウン（チョコレートが日に当たってふにやふにやに溶けている）。タードーシウムヤ クガリティ ビラビラ ヤ パラハヌ マーハン（休耕田で作った甘藷はふにやふにや糖化して柔らかくておいしい）。➔へなへな。べろべろ。

ふへいか【名】 クサクササーや。いつも不平ばかり言う人。ゴーグチャーとも言う。

ふらふら【副】 ブラブラ。よろめいて歩くさま。サキ ヌディ イーティ ブラブラ アックン（酒を飲んで酔ってふらふら歩いている）。➔よちよち。ぶらぶら。ふらふら。よろよろ。／ ブラナイ。よろめいて歩くさま。サキ ヌディ イーティ ブラナイ アックン（酒を飲んで酔ってふらふら歩いている）。➔よろよろ。よちよち。ぶらぶら。／ ウンブイウンブイ。首を前後左右に揺れ動かすさま。サキ ヌディ ウンブイウン

ブイシ チブル プティ アッチャクン（酒を飲んでふらふら頭を振って歩いている）。
 ➔こっくりこっくり。／ ブーラバッタイ。ふらふら。よろめいて歩くさま。サキ ヌディ ブーラバッタイシ アックン（酒を飲んでふらふら歩いている）。➔よろよろ。／ ブラナイ。よろめいて歩くさま。サキ ヌディ イーティ ブラナイ アックン（酒を飲んで酔ってふらふら歩いている）。➔よろよろ。よちよち。ぶらぶら。／ ブラブラ。よろめいて歩くさま。サキ ヌディ イーティ ブラブラ アックン（酒を飲んで酔つてふらふら歩いている）。➔よろよろ。よちよち。ぶらぶら。／ ユラユラ。不安定に揺れ動くさま。タチクラガミ シー ドゥー ユラユラ スン（立ちくらみして体がふらふらする）。➔ゆらゆら。

ぶらぶら【副】 ブラブラ。ぶらさがっているものが揺れ動くさま。ティー ブラブラシー アックン（手をぶらぶらさせて歩く）。ハジョーホヌ ウンチャーギヌ ブラブラ ウグクン（風が強くてブランコがぶらぶら動く）。／ ブラナイ。ぶらさがっているものが揺れ動くさま。ハジョーホヌ ウンチャーギヌ ブラナイ ウグクン（風が強くてブランコがぶらぶら動く）。➔ふらふら。よろよろ。よちよち。

ぶるぶる【副】 プトウプトウ。寒さ・恐怖などで身を震わせるさま。ピーハヌ プトウプトウ ワンミクン（寒くてぶるぶる震える）。プトウプトウシー クチビル カムン（ぶるぶると唇を噛む）。➔がたがた。うずうず。むずむず。／ プトウナイ。寒さ・恐怖などで身を震わせるさま。ドゥク ピーハヌ プトウナイ クチビル カムン（とても寒くてぶるぶる唇を噛む）。➔がたがた。

ふわふわ【副】 ビタビタ。ふわふわ。布などが柔らかいさま。ティッシュン ビタビタシヤパラハン（ティッシュもふわふわして柔らかい）。➔しなしな。／ ホロホロ。布・着物などが乾いているさま。ウヌ キヌヤ ハーラチ ホロホロシー キーヤッセン（その服は乾いてふわふわと着やすい）。

ぶんぶん【副】 ブーブー。羽虫が飛び回るさま。ペー ブーブー トウドゥン（蠅がぶんぶん飛んでいる）。ペー ブーブーシ カマラン（蠅がぶんぶんたかって食べられない）。ブンブンともいう。／ ブンナイ。羽虫が飛び回るさま。ウーベー ブンナイ トウダックスガ ヌー エガヤー（銀蠅がぶんぶん飛んでいるが何だろう）。

ぶんぶん【副】 クワチャクワチャ。ひどく腹を立てて機嫌の悪いさま。クサミチ クワチャクワチャ スン（腹を立ててぶんぶんしている）。➔かんかん。

べたべた【副】 ブタブタ。粘り気のあるものがくっついているさま。ドゥルー ブタブタ タックワトゥン（泥がべたべたくっついている）。ドゥルー シカティ ブタブタ ナトゥン（泥がついてべたべたになっている）。➔べつとり。／ ブタナイ。粘り気のあるものがくっついているさま。ドゥルー ブタナイ タックワトゥン（泥がべたべたくっついている）。ドゥルー シカティ ブタナイ ナトゥン（泥がついてべたべたになっ

ている)。➡べつとり。／ ブッタークワッター。粘り気のあるものがくつついているさま。アヌ クワーヤ ピング ブッタークワッター タックワトゥン (あの子は汚れがべたべた付いている)。／ ムチャムチャ。粘りつくさま。ムチ アーシネ ティー ムチャムチャ スン (餅をこねると、手がべたべたする)。ミークヌ ムチャムチャシミー アキゴロホン (目やにがねばねばして目を開けづらい)。サータティンプラ スコインチ ティー ムチャムチャ スン (砂糖てんぷらを作ろうとして、手がねばねばしている)。➡べとべと。ねとねと。／ ムチャナイ。粘りつくさま。ムチ アーシネ ティー ムチャナイ スン (餅をこねると、手がべたべたする)。➡ねばねば。べつとり。／ ムッチャクワッタイ。ムチャムチャより一層粘りつくさま。ティンラー アースヌ バーヤ ミリキングヌ ティーニ ムッチャクワッタイ タックワトゥン (天ぷらの衣をこねるとき、小麦粉が手にねばねばくつついている)。➡ねばねば。べとべと。ねとねと。

ペちゃくちゃ【副】 アーバサーバ。くだらないことをしゃべるさま。とりとめもなくしゃべるさま。アーバサーバ ムヌンカ ユムン (ペちゃくちゃおしゃべりばかりする)。／ ガーガー。おしゃべりなさま。ガーガー ムヌンカ ユムン (ペちゃくちゃおしゃべりばかりする)。➡がやがや。があがあ。／ クチパクパク。ペちゃくちゃ。べらべら。無駄なおしゃべりをすること。／ ピリンパラン。おしゃべりするさま。ピリンパラン ムヌンカ ユムン (ペちゃくちゃおしゃべりばかりする)。➡べらべら。ペらペら。／ ユンタクフィンタク。むやみにしゃべるさま。ユンタクフィンタク ユマングトゥ ハクシェー (ペちゃくちゃしゃべらずに早くしろ)。ユンタクフィンタク サングトゥ ガサナイ シェー (ペちゃくちゃしないでさっさとしろ)。➡べらべら。

べちゃべちゃ【副】 ゲエタグエタ。雨後の道などがぬかるんでいるさま。アミ プイ ジューハヌ ミチ ゲエタグエタシ アッキン ナラン (雨がひどく降って、道がべちゃべちゃして歩くこともできない)。／ ジエージェー。(1)水気が多すぎるさま。ウヌオカズヤ シル ジエージェーシ マーク ネン (そのおかげで汁がべちゃべちゃしておいしくない)。(2)よだれや汗などが垂れながれるさま。➡だらだら。だぶだぶ。／ ジタジタ。水を含んでひどく濡れているさま。道などのぬかるんでいるさま。アミープティ ミチ ジタジタシ アッキゴロホン (雨が降って道がべちゃべちゃと歩きにくい)。➡じめじめ。／ ジヤカジャカ。水を含んでひどく濡れているさま。道などのぬかるんでいるさま。➡じめじめ。

ペつ【副】 ペー。唾などを吐くさま。トゥンペー ペーディチ パクタン (唾をペっと吐いた)。

べつとり【副】 ブタナイ。粘り気のあるものがくつついているさま。ドゥルー ブタナイ タックワトゥン (泥がべつとりくつついている)。ドゥルー シカティ ブタナイ ナ

トゥン（泥がついてべたべたになっている）。➡べたべた。／ ブタブタ。粘り気のあるものがくっついているさま。ドゥルー ブタブタ タックワトゥン（泥がべつとりくついている）。➡べたべた。／ ブッタークワッター。粘り気のあるものがくっついているさま。アヌ クワーヤ ピング ブッタークワッター タックワトゥン（あの子は汚れがべつとり付いている）。➡べたべた。／ ムチャムチャ。粘りつくさま。ミークスヌムチャムチャシ ミー アキゴロホン（目やにがべつとりついて目を開けづらい）。➡べたべた。べとべと。ねばねば。ねとねと。／ ムッチャクワッタイ。ムチャムチャより一層粘りつくさま。ティンブラー アースヌ バーヤ ミリキングース ティーニムッチャクワッタイ タックワトゥン（天ぷらの衣をこねるとき、小麦粉が手にべつとりくついている）。➡ねばねば。べとべと。べたべた。ねとねと。

べとべと【副】 ムッチャクワッタイ。ムチャムチャより一層粘りつくさま。ティンブラー アースヌ バーヤ ミリキングース ティーニ ムッチャクワッタイ タックワトゥン（天ぷらの衣をこねるとき、小麦粉が手にべとべとくついている）。➡ねばねば。べたべた。ねとねと。

へなへな【副】 ビラビラ。体に力が入らず柔らかいさま。プープヤ ヨーガリティ ビラビラ アックン（祖父は痩せてへなへな歩く）。➡べろべろ。ふにやふにや。ふにやふにや。

べらべら【副】 パクパク。とりとめのないことをしゃべること。ムヌンカ パクパク アウイン（おしゃべりばかりべらべらいう）。➡ぱくぱく。ぷかぷか。／ パクナイ。とりとめのないことをしゃべること。ムヌンカ パクナイ アウイン（おしゃべりをべらべらいう）。➡ぱくぱく。／ クチパクパク。無駄なおしゃべりをすること。➡ペちゃくちゃ。／ ガクガク。立て続けによくしゃべるさま。クチ ガクガクシ アウインカスン（べらべらしゃべってばかりいる）。今はパクパクを多く使う。➡がくがく。／ ピリンパラン。おしゃべりするさま。ピリンパラン ムヌンカ ユムン（べらべらおしゃべりばかりする）。➡ペちゃくちゃ。ペラペラ。／ ユンタクフィンタク。むやみにしゃべるさま。ユンタクフィンタク ユマングトゥ ハク シェー（べらべらしゃべらずに早くしろ）。➡ペちゃくちゃ。

ぺんぺん【副】 テンテン。三味線を鳴らす音。サンシン テンテン ナラスン（三味線をぺんぺん鳴らす）。／ トウントゥンテン。ぺんぺん。三味線を鳴らす音。トウントゥンテン パジマイン（ぺんぺん（三味線が）始まる）。サンシンヌ ウトゥガ トウントゥンテン ナイン（三味線の音がぺんぺん鳴る）。サンシンヌ トウントゥンテンガ パジマトウンドーヤー（三味線のぺんぺんが始まっているよ）。

ぼうっと【副】 ヌルントゥルン。寝起きなどではうっとしているさま。気持ちが集中していないさま。ウキティチャーキヤ ミー チューラヌ ヌルントゥルン スン（起きた

ばかりは目がさえず、ぼうっとしている)。シーヨー ワカラヌ ヌルントゥルン スン (やり方がわからなくてぼうっとしている)。➡ほんやり。とろとろ。のろのろ。のそのそ。

ほうほう【副】コホコホ。フクロウ科のりゅうきゅうこのはづくとりゅうきゅうあおばづくの鳴き声。シコホガ コホコホ ナキネー ヤクー エン (シコホがこほこほ鳴いたら厄だ)。➡ほっぽう。

ぼうぼう【副】バーナイ。さかんに火の燃えるさま。ピース バーナイ メーイン (火がぼうぼう燃える)。タムヌ ハリティ バーナイ メーイン (薪が枯れてぼうぼう燃える)。／ バーバー。火が勢いよく燃えるさま。バーバー メーイン (ぼうぼう燃える)。びゅうびゅう。ぴゅうぴゅう。ひゅうひゅう。／ パンパン。火がさかんに燃えるさま。ピース パンパンシ メートウン (火がぼうぼうと燃える)。※パンパンシ メースン (ぼうっと燃やす) とは言わない。／ パンナイ。火がさかんに燃えるさま。ピー パンナイ メーイン (火がぼうぼうと燃える)。➡ぼっぽ。かっかと。むっと。とんとん。ぱちぱち。／ ボーボー。草などが乱雑に伸び繁っているさま。イッター ポロー クサガ ボーボー ミートゥトゥ タグレー (お前たちの畑は草がぼうぼう生えているから引き抜け)。／ ボーナイ。草などが乱雑に伸び繁っているさま。イッター ポロー クサガ ボーナイ ミートゥトゥ タグレー (お前たちの畑は草がぼうぼう生えているから引き抜け)。／ バーバー。草や毛が乱雑に伸び繁っているさま。ハラジ バーバーナトゥトゥ アンダー シキレー (髪がぼさぼさになっているから油をつける)。➡ぼさぼさ。

ほうほけきょ【副】ホーホケキヨ。うぐいすの鳴き声。ホーホケキヨディチ ナクン (ほうほけきょと鳴く)。

ほかほか【副】ファーファー。ものが適度な温度を有しているさま。チューガ ニンティヌ アトヤ ウードゥ ファーファースン (人が寝たあとはふとんがほかほかしている)。➡ぼっぽ。かっかと。むっと。

ぼきぼき【副】パチパチ。枯れ枝などが折れるさま。ハリギーヤ パチパチシー ウーイ ヤッشن (枯れ木はぼきぼきと折りやすい)。イービ パチパチ ナラスン (指をぼきぼき鳴らす)。➡ぱちぱち。／ パチナイ。枯れ枝などが折れるさま。キース ユダティーチ パチナイ ウータン (木の枝を手でぼきぼき折った)。➡ぱちぱち。ぱっちり。ぼきぼき。／ パチャナイ。枯れ枝などが折れるさま。テーチ パチャナイ ウータン (手でぼきぼき折った)。➡ぱちぱち。／ プチナイ。ユダダムヌ プチナイ ウーティ メーシェー (柴薪をぼきぼき折って燃やせ)。➡ぷつぷつ。

ぼこぼこ【副】ブカブカ。朽木などが柔らかくなっているさま。キース クサリティ ブカブカ ナトゥン (木が腐ってぼこぼこになっている)。ペットボトル ハラ ナティ

プカプカ スン (ペットボトルが空になってぼこぼこしている)。➔ふかふか。

ぼさぼさ 【副】 バーバー。草や毛が乱雑に伸び繁っているさま。ハラジ バーバー ナ トウトウ アンダー シキレー (髪がぼさぼさになっているから、油をつけなさい)。 ➔ぼうぼう。

ぼそぼそ 【副】 サラサラ。固めに。ご飯や麺など食物の水分が少なくておいしいさま。 クース ソーミンヤ ユゲチヤーハヌ サラサラ ナトゥン (今日のそうめんはゆで不足でぼそぼそになっている)。クース メーヤ サラサラ ニレー (今日の飯は固めに炊け)。／ サラナイ。固めに。ご飯や麺など食物の水分が少なくておいしいさま。クース メーヤ サラナイ ナティ マーハン (今日のご飯は固めでおいしい)。

ぼそぼそになる 【動】 サラミカスン。固めになる。クース メーヤ サラミカチ クパハン (今日のご飯はぼそっとなって固い)。

ぼたぼた 【副】 チョンチョン。汁やしづくがしたたるさま。涙が流れ落ちるさま。ガラン シミテラントゥ ミジヌ チョンチョンシ タリトゥン (カラムをしめてないので水がぼたぼた垂れている)。アマダイミジ チョンチョン ウティン (雨垂れの水がぼたぼた落ちる)。➔ぼたりぼたり。ぼろぼろ。／ ポトポト。ちいさな物や水滴などがつづけ ぎまに落ちるさま。ミジ ポトポト タイトゥ ガラン クラク シミレー (水がぼたぼた垂れるので、蛇口をしっかりと閉めろ)。➔ぼとぼと。

ぼたりぼたり 【副】 チョンチョン。汁やしづくがしたたるさま。涙が流れ落ちるさま。アマダイミジ チョンチョン ウティン (雨垂れの水がぼたりぼたり落ちる)。ガラン シミテラントゥ ミジヌ チョンチョンシ タリトゥン (カラムをしめてないので、水がぼたりぼたり垂れている)。➔ぼたぼた。ぼろぼろ。

ぼちゃんとおちる 【動】 ポンマカスン。石など小さなものが水に音をたてて落ちる。➔どんとたたく。どんと鳴る。ぼちゃんと落とす。／ ポンミカスン。ぼちゃんと落ちる。石など小さなものが水に音をたてて落ちる。ハーラニ イシ ナギタトゥ ポンミカス タン (川に石を投げたらぼちゃんと落ちた)。➔どんとたたく。どんと鳴る。ぼちゃんと落とす。

ぼちゃんとおとす 【動】 ポンマカスン。石など小さなものを水に音をたてて落とす。➔どんとたたく。どんと鳴る。ぼちゃんと落ちる。／ ポンミカスン。石など小さなものを水に音をたてて落とす。➔どんとたたく。どんと鳴る。ぼちゃんと落とす。

ぼっかり 【副】 ガーガー。すき間の多いさま。キャク イキラハヌ イース パラガ ガーガー アチュン (客が少なくて座るところがぼっかり空いている)。

ぼっちょり 【副】 ブテブテートウ。太っているさま。ブテブテトゥ クエートゥン (でっぷりと太っている)。ウヌ クワーヤ ブテブテトゥ クエーティ ウジラーハン (この子はぼっちょりと太ってかわいい)。➔でっぷり。／ ブテナイ。でっぷり太っている

さま。ウヌ クワーヤ ブテナイ クエーティ ウジラーハン（この子はぽっちゃりと太ってかわいい）。

ぽっぽ【副】 クークー。鳩の鳴き声。ポートウイヤ クークーシ ナクン（鳩がぽっぽと鳴く）。➡ぽっぽ。

ぽっぽ【副】 パーパー。体などが熱をもっているさま。また、暑さのために室内が蒸すさま。チラー パーパー スースガ ニチヤ ネーンシェー（顔がぽっぽとしているが、熱もあるんじゃないか）。➡かつかと。むっと。／ パンナイ。体などが熱をもっているさま。また、暑さのために室内が蒸すさま。チラ パンナイ スン（顔がぽっぽとする）。チラー アカディ ニチエ パンナイ スン（顔が赤らんで熱がぽっぽとしている）。➡かつかと。むっと。ほうほう。とんとん。ぱちぱち。どんどん。ほうほう。ぽんぽん。

ほっぽう【副】 コホコホ。フクロウ科のりゅうきゅうこのはづくとりゅうきゅうあおばづくの鳴き声。シコホガ コホコホ ナキネー ヤクー エン（シコホがこほこほ鳴いたら厄だ）。➡ほうほう。

ぽっぽつ【副】 クークー。鳩の鳴き声。ポートウイヤ クークーシ ナクン（鳩がぽっぽと鳴く）。➡ぽっぽ。

ぼとぼと【副】 ポトポト。ちいさな物や水滴などがつづけざまに落ちるさま。➡ぼたぼた。／ ポトナイ。ちいさな物や水滴などがつづけざまに落ちるさま。プクギヌ ミー ポトナイ ウティン（福木の実がぼとぼと落ちる）。➡ぼとりぼとり。／ ポトンポトン。ちいさな物や水滴などがつづけざまに落ちるさま。キース ナイス ポトンポトン ケッサン ウティタン（木の実がぼとぼとたくさん落ちた）。

ぼとり【副】 ポトン。水滴やちいさな物が落ちるさま。ヌーガラ ポトンディチ ウティタン（何かがぼとりと落ちた）。➡ぼとん。

ぼとりとおちる【動】 ポトミカスン。(1)ちいさな物や水滴などがぼとんと落ちる。ヌーガラ ポトミカチ ウティヌ ウトウ スータン（なにかぼとんと落ちる音がした）。(2)ぼんと軽く跳ぶ。ポトミカチ トゥヌゲー（ぼんと跳べ）。➡ぼとんと落ちる。ぼとりと落ちる。

ぼとりぼとり【副】 ポトンポトン。ちいさな物や水滴などがつづけざまに落ちるさま。ガラン シミヨーハヌ ミジ ポトンポトン イジトウン（蛇口の閉め方が弱くて水がぼとりぼとり出ている）。キース ナイス ポトンポトン ケッサン ウティタン（木の実がぼたぼたたくさん落ちた）。➡ぼとぼと。／ ポトナイ。ちいさな物や水滴などがつづけざまに落ちるさま。プクギヌ ミー ポトナイ ウティン（福木の実がぼとりぼとり落ちる）。➡ぼとぼと。

ぼとん【副】 ポトン。ちいさな物や水滴などが落ちるさま。ヌーガラ ポトンディチ ウ

ティタン (何かがぽとんと落ちた)。➔ ぼとり。

ぽとんとおちる【動】 ポトミカスン。ちいさな物や水滴などがぽとんと落ちる。ヌーガラ
ポトミカチ ウティヌ ウトウ スータン (なにかぽとんと落ちる音がした)。➔ ぼと
りと落ちる。

ぼろぼろ【副】 ボロボロ。ものがひどくやぶれたり壊れたりしているさま。ウヌ キヌヤ
ボロボロ ヤリティ キララン (その服はぼろぼろに破れて着られない)。ムカシヌ
チヨーメン ボロボロシー シカララン (昔の帳面がぼろぼろで使えない)。／ ボロナ
イ。ものがひどくやぶれたり壊れたりしているさま。ウヌ チヨーメンヤ ペークラ
シカティ ボロナイ ナトゥン (その帳面は以前から使ってぼろぼろになっている)。／
クワンクワン。物がひどく壊れて形がそこなわれているさま。ドーグヌ ヤンビティ
クワンクワン ナティ シカララン (道具が壊れてぼろぼろで使えない)。ドーグヌ
クワンクワン ナイヤカ ヤンビトゥン (道具がぼろぼろになるほど壊れている)。
➔ ぐしゃぐしゃ。／ ヤンビクワンクワン。物がひどく壊れて形がそこなわれているさ
ま。ドーグヌ ヤンビティ ヤンビクワンクワン ナトゥン (道具が壊れてぼろぼろに
なっている)。➔ ぐしゃぐしゃ。

ぼろぼろ【副】 ソーソー。汗や涙などがさかんに流れるさま。ウヌ パナシヤ ナチカハ
ヌ ナダー ソーソー パイン (その話は悲しくて涙がぼろぼろ出る)。➔ だくだく。
ざあざあ。／ チヨンチヨン。汁やしづくがしたたるさま。涙が流れ落ちるさま。ナダー
チヨンチヨン スン (涙がぼろぼろする)。➔ ぼたぼた。ぼたりぼたり。／ ホロホロ。
一塊のものが乾燥し容易に崩れたり碎けたりしやすいさま。マース パタキヤ ホロホ
ロシー ウチヤッセン (そこの畑はぼろぼろして耕しやすい)。➔ さくさく。／ ホロナ
イ。一塊のものが乾燥し容易に崩れたり碎けたりしやすいさま。➔ さくさく。

ぽんとおちる【動】 ポトミカスン。ちいさな物や水滴などがぽんと落ちる。ヌーガラ
ポトミカチ ウティヌ ウトウ スータン (なにかぽとんと落ちる音がした)。

ぽんととぶ【動】 ポトミカスン。ぽんと軽く跳ぶ。ポトミカチ トウヌゲー (ぽんと跳
べ)。➔ ぽんと落ちる。

ぽん【副】 ポン。太鼓をたたく音。また、そのさま。チジミヌ スケイ ポンディチ ナ
イタン (太鼓が一度ぽんと鳴った)。➔ どん。

ぼんぼん【副】 パンパン。花火が続けざまにうちあがるさま。ハナビ パンパン アガ
トゥン (花火がぼんぼんあがっている)。➔ ぼっぽ。かっかと。むっと。とんとん。ば
ちばち。／ パンナイ。花火が続けざまにうちあがるさま。ハナビ パンナイ アガトゥ
ン (花火がぼんぼんあがっている)。➔ ぼっぽ。かっかと。むっと。ぼうぼう。とんと
ん。ばちばち。

ぼんぼん【副】 ポンポン。太鼓をたたく音。チジミ ポンポン ウチュン (太鼓をぼんぼ

ん打つ)。テーク ポンポン ウッチュスガ ハク イカナ (太鼓をぽんぽん打っているが早く行こうよ)。➡どんどん。／ ポンナイ。太鼓をたたく音。チジミ ポンナイ ウッチュヌ ウトウ キカイン (太鼓をぽんぽん打つ音が聞こえる)。テーク ポンナイ ウッチュスガ ハク イカナ (太鼓をぽんぽん打っているが早く行こうよ)。➡どんどん。

ほんやり【副】ヌルントゥルン。寝起きでぼうっとしているさま。気持ちが集中していないさま。ウキティチャーキヤ ミー チューラヌ ヌルントゥルン スン (起きたばかりは目がさえず、ほんやりする)。シーヨー ワカラヌ ヌルントゥルン スン (やり方がわからなくてほんやりしている)。➡ぼうっと。とろとろ。のろのろ。のそそ。

みしみし【副】ピチピチ。木製のものに力が加わり、たわんだりきしんだりするさま。ネー ユティ ヤーガ ピチピチシ ウグケン (地震で家がみしみしうごく)。➡しなつと。

むかむか【副】ダクダク。気分が悪くて、吐き気がするさま。吐き気がするほどしゃくにさわるさま。腹立たしいさま。ヌーガ カダラ ミニ ダクダク スン (何を食べたのか、胸がむかむかする)。ヌーガラ アンマサヌ ダクダク スン (なにやらだるくてむかむかする)。ブネイシ ダクダクシ ムヌ パキブサン (船酔いでむかむかして吐きたい)。サク イジティ キム ダクダク スン (腹が立って胸がむかむかする)。➡どきどき。／ ムカムカ。気分が悪くて吐き気がするさま。むかつくさま。アシティビチ カミジユーハヌ ミニ ムカムカ スン (アシティビチを食べ過ぎて胸がむかむかする)。サキ ヌミジョーホヌ ムカムカシ キムタデハン (酒を飲みすぎてむかむかと気持ち悪い)。／ ワジワジ。腹が立つさま。怒りがこみあげてくるさま。

むずむず【副】ハガハガ。やりたくてたまらず落ち着かないさま。チューガ スース ミチ ドゥーマディ シープサヌ ハガハガ スン (人がしているのを見て自分までやりたくてむずむずする)。➡うずうず。／ プトウプトウ。(1)歯がゆく、もどかしがるさま。クワーガ スース プトウプトウシ ミッチュン (子どもがするのをむずむずして見ている)。(2)何かやりたくてたまらないさま。欲しがるさま。カミブサヌ プトウプトウスン (食べたくてむずむずしている)。➡うずうず。ぶるぶる。がたがた。／ ムジュムジュ。(1)やりたくてたまらず落ち着かないさま。チューガ スース ミチ ドゥーマディ シープサヌ ムジュムジュ スン (人がしているのを見て自分までやりたくてむずむずする)。イナグヌ シーバイ シープサヌ ムジュムジュ シー タッチュン (女が小便をしたくてもぞもぞして立っている)。(2)もぞもぞ。小さな虫が着物の下などでうごくさま。➡うずうず。もぞもぞ。／ ムサムサ。小さな虫が着物の下などでうごくさま。キヌヌ ナハニ ヌーガ イッチュラ ムサムサ イジュケン (服の中に何が入ったかむずむず動く)。➡もぞもぞ。

むだぼね【名】ミナバタバタ。ただばたばたすること。ばたばた働く割に能率があがらないさま。

むっと【副】パーパー。暑さのために室内が蒸すさま。また、体などが熱をもっているさま。ヤース ナハ パーパーシー プミクトゥ ヤードゥ シキアキレー（家の中がむっと蒸しているから、戸を開け放て）。➡ぽっぽ。かっかと。

めえ【副】ベー。めえ。山羊の鳴くさま。ピージャヤ ベーディチ ナクン（山羊はめえと鳴く）。

めえとなく【動】ベーミカスン。山羊がしりきに鳴く。ピージャ ベーミカチ ナクトゥ クサ クワーシェー（山羊がめえと鳴くから、草を食わせろ）。

めえめえ【副・名】ベーベー。(1)山羊の鳴き声。また、声をだして鳴くさま。ピージャヤ ヤーハネ ベーベー ナクン（山羊はおなかがすくと、めえめえ鳴く）。(2)山羊の小児語。／ ベーナイ。山羊の鳴くさま。また、声をだして鳴くさま。ピージャヤ ヤーハネ ベーナイ ナクン（山羊はおなかがすくと、めえめえ鳴く）。ピージャ ベーナイ ナクトゥ クサ クワーシェー（山羊がめえめえ鳴くから、草を食わせろ）。

めちゃくちゃ【副】サンジャンクンジャン。こまかくばらばらになるさま。ワライヌ カビ サンジャンクンジャン ヤイン（子どもが紙をめちゃくちゃにやぶる）。ヤーンチュガ ドーグ サンジャンクンジャン チラカチエン（家族が道具をめちゃくちゃに散らかしてある）。➡さんざん。ばらばら。

もう【副】モー。牛の鳴き声。ウシヌ ヤーハガ アイラ モーディチ ナクタン（牛が空腹なのか、もうと鳴いた）。

もうとなく【動】モーミカスン。牛がもうと鳴く。ウシヌ モーミカチ スケイ ナクタシガ ヤーハル アイガヤー（牛がもうと一回鳴いたが、腹でもすかしているのだろうか）。ウシヌ アッタニ モーミカチ ナクタン（牛が急にもうと鳴いた）。

もうもう【副】モーモー。牛の繰り返し鳴くさま。ウシー モーモー ナクトゥ クサー クワーシェー（牛がもうもう鳴くから、草を喰わせろ）。ウシヌ ヤーハガ アイラ モーモー ナクン（牛が空腹なのか、もうもう鳴いている）。／ モーナイ。牛の繰り返し鳴くさま。ウシー モーナイ ナクトゥ クサー クワーシェー（牛がもうもう鳴くから、草を喰わせろ）。トウナイス ウシヤ モーナイ ナキジャーハン（隣の牛はもうもうよく鳴く）。

もくもく【副】ブーブー。煙がさかんに立ち上るさま。ヌーガ メースラ キブシヌ ブーブー イジン（何を燃やしているのか、煙がもくもく出ている）。➡ひゅうひゅう。／ ブーナイ。煙がさかんに立ち上るさま。ヌーガ メースラ キブシヌ ブーナイ イジン（何を燃やしているのか、煙がもくもく出ている）。キボシヌ ブーナイ マカーチ アガイン（煙がもくもく立ち込めて上がっている）。➡ひゅうひゅう。

もぞもぞ【副】 ムサムサ。小さな虫が着物の下などでうごくさま。キヌヌ ナハニ ヌー
ガ イッチュラ ムサムサ イジュクン (服の中に何が入ったか、もぞもぞ動く)。

➔むずむず。／ ムジュムジュ。(1)やりたくてたまらず落ち着かないさま。イナグヌ
シーバイ シープサヌ ムジュムジュ シー タッチュン (女が小便をしたくてもぞも
ぞして立っている)。(2)小さな虫が着物の下などでうごくさま。➔むずむず。うずうず。

もたもた【副】 ムサムサ。はかどらないさま。手間どるさま。ムサムサ ハタジキラング
トゥ ガシガシ ハタジキレー (もたもた片付けないでさっさと片付けろ)。／ ムタム
タ。はかどらないさま。手間どるさま。ムタムタ ハタジキラングトゥ ガシガシ ハ
タジキレー (もたもた片付けないでさっさと片付けろ)。

ゆうゆうと【副】 ワーワートウ。ゆとりがあつて窮屈でないさま。➔。ゆったり。ひろび
ろと。

ゆがな【形】 ヨーガー。形などがゆがんださま。／ ヨーゲー。形などがゆがんださま。

ゆさゆさ【副】 ユタナイ。大きなものが揺れ動くさま。パシヌ ユタナイ ウグクトゥ
アッカラン (橋がゆさゆさ動くので歩けない)。／ ユタユタ。ゆさゆさ。大きなものが
揺れ動くさま。ゆたゆたばし (ゆれ動く橋)。ウヌ パシヤ アッキネ ユタユタ ウ
グクン (その橋は歩くと、ゆさゆさ動く)。ウヌ パシヤ ユタユタシー、アッキネ
ウトウラハン (その橋はゆさゆさして、歩くと怖い)。

ゆっくり【副】 ヨンナー。ヨンナー ミスク アッケー (ゆっくり注意深く歩け)。ヨン
ナー ヨンナー アックン (ゆっくりゆっくり歩け)。トゥシー トゥティ ヨンナール
アッカイル (年を取つてゆっくりしか歩けない)。ヨーンナーは土族語。ヨンナー ケー
レーヒー (ゆっくり帰つてね [同年の者への別れのあいさつ])。ヨンナー ケーイン
ソーレーホー (ゆっくりお帰りなさいね [目上の者への別れのあいさつ])。

ゆったり【副】 ワーワートウ。ゆとりがあつて窮屈でないさま。ヒルハヌ ワーワートウ
イッチュン (広いのでゆったりと座つてゐる)。キヌヤ ワーワートウ ノーレー (着
物はゆつたりと縫え)。➔ゆうゆうと。ひろびろと。

ゆらゆら【副】 ユラユラ。ゆっくり揺れ動くさま。ハジヌ チューハヌ サクラヌ キー
ガ ユラユラ ウグクン (風が強くて桜の木がゆらゆら動く)。ミジガ ユラユラシ
スクガ ジューニヤ マーラン (水がゆらゆらして底がはっきり見えない)。➔ふらふ
ら。／ ユラユラ。ゆっくり揺れ動くさま。ヤー ユルユル ウグク スガ ヌー エ
ガヤー (家がゆらゆら動くがなんだろう)。➔ぐらぐら。

ゆるゆる【副】 ゴロゴロ。ものに隙間があつてゆるいさま。ウヌ イービガニヤ シナラ
ヌ ゴロゴロ スン (その指輪は合わないのでゆるゆるしてゐる)。ズボンヌ ゴムガ
ヌディ ゴロゴロ スン (ズボンのゴムがのびてゆるゆるしてゐる)。➔ぶかぶか。／
ユルユル。ゆるんでいるさま。きつく締まっていないさま。ウービヌ ユルユル ヒチユ

ン（帯がゆるゆるしている）。チューク クンカンキネ ユルユル スン（強く縛らないとゆるゆるしている）。ユルユル クンチ クンキグチ アトンガティ マーシー（ゆるゆるに縛って結び目を後ろにまわせ）。ゴムヌ ヌビティ ユルユル ナットウ トゥ ケーレー（ゴムが伸びてゆるゆるになっているから取り換えろ）。

よちよち【副】 ヌクヌク。小刻みでおぼつかなく歩くさま。無意志的な動作をあらわす。

ワライヌ スクスク アックン（子どもがよちよち歩く）。プープガ アマラ ヌクスク クンドー（おじいちゃんが向こうからとここ来るよ）。➡とことこ。／ ブラブラ。幼児などがおぼつかなく歩くさま。ワライヌ アッキパジマティ ブラブラ アックン（子どもが歩きはじめてよちよち歩く）。➡ふらふら。よろよろ。ぶらぶら。／ ブラナイ。幼児などがおぼつかなく歩くさま。ワライヌ アッキパジマティ ブラナイ アックン（子どもが歩きはじめてよちよち歩く）。➡ふらふら。よろよろ。ぶらぶら。

よろよろ【副】 グーラクワッタイ。不安定で揺れ動くさま。アヌ チューヤ サキ ヌディ ミチラ グーラクワッタイ アックン（あの人は酒を飲んで道をよろよろ歩いている）。➡ぐらぐら。／ グーラバッタイ。不安定で揺れ動くさま。アヌ チューヤ サキ ヌディ ミチラ グーラバッタイ アックン（あの人は酒を飲んで道をよろよろ歩いている）。➡ぐらぐら。／ ブーラバッタイシ アックン（酒を飲んでふらふら歩いている）。➡ふらふら。よろよろ。／ ブラナイ。よろめいて歩くさま。サキ ヌディ イーティ ブラナイ アックン（酒を飲んで酔ってよろよろ歩いている）。➡ふらふら。よちよち。ぶらぶら。／ ブラブラ。よろめいて歩くさま。サキ ヌディ イーティ ブラブラ アックン（酒を飲んで酔ってよろよろ歩いている）。➡ふらふら。よろよろ。よちよち。ぶらぶら。

わあっとなく【動】 ワーミカスン。ワライヌ アッタニ ワーミカチ ナクスガ ダン ヤミル スガヤー（子どもが急にわあっと泣いているが、どこか痛むのかな）。

わあわあ【副】 ウェーウェー。声を上げて泣くさま。ウェーウェー ナチ（わあわあと泣いて）。アンマガ ウラントゥ ウェーウェーシ ナクン（母がいないのでわあわあ泣いている）。➡わんわん。／ ワーワー。大声で泣くようす。ワライヌ ワーワー ナクスガ ヤーヤ ヌー スガ（子どもがわあわあ泣いているが、お前は何をしているの）。➡わんわん。／ ワーナイ。人が大声で泣くさま。ワーワーより程度が激しい。ダーガ ヤムラ、クワース ワーナイ ナクン（どこが痛いのか、子がわあわあ泣いている）。➡わんわん。

わいわい【副】 ムタムタ。大勢でさわがしいさま。ケッサヌ チューガ ムタムタ サワジュン（大勢の人がわいわい騒いでいる）。➡がやがや。／ ムタナイ。大勢でさわがしいさま。ケッサヌ チューガ ムタナイ サワゲン（大勢の人がわいわい騒いでいる）。➡がやがや。

わんさと【副】 グワサナイ。ものがたくさんあるさま。スクー グワサナイ トウティ
ジエトゥ ハラス サーヤ (アイゴをどっさり取ったので塩辛にしよう)。➡どっさり。
がやがや。どやどや。うようよ。うじゃうじゃ。ごちゃごちゃ。

わんとほえる【動】 ワーミカスン。アマヌ イヌヤ ワーミカチ ガウイン (あそこの犬
はわんと吠える)。／ ワウミカスン。アマヌ イヌヤ ワウミカチ ガウイン (あそこ
の犬はわんと吠える)。

わんわん【副】 ウェーウェー。声を上げて泣くさま。ウェーウェー ナチ (わんわん泣いて)。
アンマガ ウラントゥ ウェーウェーシ ナクン (母がいないのでわんわん泣いて
いる)。➡わあわあ。／ ワーナイ。人が大声で泣くさま。ワーワーより程度が激しい。
ダーガ ヤムラ、クワース ワーナイ ナクン (どこが痛いのか、子がわんわん泣いて
いる)。➡わあわあ。／ ワウワウ。犬の鳴き声。ワウワウ イヌニ ガウラッタン (わ
んわん犬に吠えられた)。／ ワウナイ。犬の鳴き声。ワウナイ イヌニ ガウラッタン
(わんわん犬に吠えられた)。／ ワンワン。耳鳴りのさま。ミミヌ ワンワン ナイン
(耳がわんわん鳴る)。／ ワーナイ。耳鳴りの音。ミミヌ ワーナイ ナイン (耳がわ
んわん鳴る)。